

官報

號外

大正十五年三月十一日 木曜日

內閣印刷局

○第五十一回 帝國議會 衆議院議事速記第二十七號

大正十五年三月十日(水曜日)午後二時七分開議

議事日程 第二十六號

大正十五年三月十日

午後一時開議

第一 出版物法案(政府提出) 第一讀會

第二 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第三 土地貸賃價格調查法案(政府提出)

第四 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第五 海軍軍備制限ニ關スル條約ノ實施ニ伴フ損害ノ補償ニ關スル法律案(政府提出)

第六 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第七 暴力行為等處罰ニ關スル法律案(政府提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第九 獸醫師法案(政府提出、貴族院送付)

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第十一 民事訴訟費用法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十二 民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十三 商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十四 非訟事件手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十五 人事訴訟手續法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十六 競賣法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十七 民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十八 破產法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第十九 明治三十二年法律第五十號中改正法律案(外國人ノ署名捺印及無資力證明ニ關スル件)(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第二十 刑事訴訟法中改正法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會

第二十一 右各案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十二 大正十三年度第一豫備金支出ノ件

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件

自大正六年二月二十六日臨至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支

出ノ件

第二十三 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二十四 對支文化事業特別會計法中改正法律案(政府提出)

第二十五 教育改善及農村振興基金特別會計法中改正法律案(政府提出)

第二十六 明治三十八年法律第十七號中改正法律案(專賣局据置運轉資本補足ニ關スル件)(政府提出)

第二十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第二十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第二十九 商事調停法案(政府提出)

第三十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第三十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第三十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第三十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第三十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第三十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第三十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第三十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第三十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第三十九 商事調停法案(政府提出)

第四十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第四十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第四十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第四十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第四十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第四十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第四十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第四十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第四十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第四十九 商事調停法案(政府提出)

第五十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第五十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第五十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第五十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第五十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第五十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第五十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第五十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第五十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第五十九 商事調停法案(政府提出)

第六十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第六十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第六十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第六十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第六十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第六十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第六十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第六十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第六十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第六十九 商事調停法案(政府提出)

第七十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第七十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第七十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第七十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第七十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第七十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第七十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第七十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第七十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第七十九 商事調停法案(政府提出)

第八十 關稅定率法中改正法律案(政府提出)

第八十一 舊慣ニ依リ永小作權者カ地租額負擔ヲ約シタル田畑ノ地租免除ニ關スル法律案(大石大君提出)

第八十二 地租條例中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第八十三 所得稅法中改正法律案(床次竹二郎君外二十三名提出)

第八十四 大正九年法律第十二號中改正法律案(所得稅法ノ施行ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第八十五 明治四十二年法律第七號廢止法律案(國債ノ利子所得稅免除ニ關スル件)(床次竹二郎君外二十三名提出)

第八十六 決議案(中野正剛君ニ反省處決ヲ促ス件)(望月圭介君外一名提出)

第八十七 議院法中改正法律案(政府提出)

第八十八 東濃鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

午後二時八分休憩

午後三時四十三分開議

○議長(粕谷義三君) 休憩前ニ引續イテ會議ヲ開キマス、議事ノ進行ニ關シテ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス、猪野毛利榮君

(猪野毛利榮君登壇)

○猪野毛利榮君 重要法案ガ山積ヲサレテ居リマシテ、未ダ審議ニ至ラザルモノガ頗ル多イノデアリマス、本月へ這入りマシテカラ、考ヘテ見マスニ、此議場ニ於テ政策上ノ關ヲ見タコトハ至テ少イノデア

ル、其多クハ各政黨ノ即チ内面ノ喧嘩ヲ此議場ニ於テ現ハシタト云フコトニナリテ居

ルノデアリマス、政黨ト云フモノハ中ニ政策ハカリデモ行カヌ、色々ノ感情モアル

シ、其他ノ駈引モ經緯モアリマスカラ、多少ノ點ハ已ムヲ得ヌトシテモ、餘リニソレ

ノミニバカリ没頭シテハ困ルノデアアル、如何ニ各派ノ人間ガ内輪喧嘩ヲヤツテモ、是

等ノ喧嘩ニ何等ノ關係ノナイ吾々、無所屬ノ公平ナル立場ニ居ル者ハ、此喧嘩ノ卷添

ヲ喰、テハ迷數千萬ト考ヘテ居ルノデアアル、今日國民、此議會ヲ見ルコトガドウデア

ル、普通選舉法ガ既ニ議會ヲ通過ヲシテ居

ルノデアアルカラ、早く普通選舉ニ依ッテ議會ヘ議員ヲ送ラナクテハナラス、制限選舉

ニ依ッテ出サレテ居ル議員ヲ早く退クナク

テ

ス

ル

ル

ル

ル

ル

レバイカヌト云フ所ノ此聲ハ、今日天下ニ滿チテ居ル先デアル、是故ニ議員ノ一舉一動トニ、フモノハ餘程慎重デナクテハナラヌ、如何ニモ紳士的デナクテハナラヌノデアル、又官僚ノ方面ニ於テモサウデアル、今日政友會ト憲政會、本黨、三派ガ入亂レテ喧嘩ヲシテ居ルト彼等官僚ハ喜シクテ迎ヘテ居ルノデアル、即チ此政黨ノ内輪喧嘩ニ乘ジテ、時代遅レナガラモ、二度、三度、天下ノ政權ヲ掌握シヤウト云フ野心ヲ今日官僚方面デハ懷イテ、若々實現ニ努メツ、アル先デアル、諸君ガ此内輪喧嘩バカリヤルト云フコトハ、餘程此點ニ於テモ私ハ考ヘ物デアルト考ヘテ居ルノデアル、此所デ政黨政治ノ基礎ヲ作シテ來タニモ拘ラズ、諸君ガ今日ニ至ラマラ喧嘩ヲヤルガ爲ニ、官僚ニ乘ゼラレテ、政黨政治ノ基礎ノ上ニ惡影響ヲ來スト云フコトニナレバ、實ニ諸君ノ責任ハ重大デアルト私共ハ考ヘルノデアル、諸君ノ先輩ハドウデアアル、諸君ノ先輩加藤君ニシテモサウデアアル、原君ニシテモサウデアアル、自分ノ政黨ヲ大ニセンガ爲ニ、自分ノ政黨ヲ政黨政治ニ依テ實現センガ爲ニ、現職ニ二人共兼レタデアリマセカ、是レ位身命ヲ擲シテ自ラノ政黨ノ爲メ、又一面カラ云ヘバ國家ノ爲ニ努力シタニモ拘ラズ、諸君ガ今茲ニ内輪喧嘩ヲヤツテ、此場合ニ於テ官僚政治家ニ次ノ政權ヲ取ラレルト云フコトニナレバ、地下ニ眠リテ居ラレル加藤君デモ原君デモ、私ハ泣クデアラウト考ヘルノデアル、又諸君ノ一舉一動ト云フモノハ、實ニ此議場バカリノ問題デハナイ、國民思想ノ上ニモ大影響ガアル、國民ノ風教ノ上ニモ大影響ガアルノデアル、政黨ノ面目ノ上ニモ、政黨ノ權威ノ上ニモ、政黨ノ將來ノ發達ノ上ニモ、大影響ガアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、特ニ此與黨諸君ノ御方ニモ一言ヲ致シタイト思フ、私共ハ多數ト云フコトニハ議場ニ於テ殊ニ敬意ヲ拂フ、併ナガラ如何ニ多數ト雖モ餘リニ無茶ヲヤツテハイカヌ、相當ノ程度デヤラナクテハイカヌ、又常ニ道理ニ

立脚セニヤイカヌ、眞理トカ正義トカ重ンズル多數ノ諸君ニハ敬意ヲ拂フ積リデアアル、又多數黨ノ諸君ハ寬量ガ無クテハイカヌ、此意味ニ於キマシテ多少政友會ガ駄ヲ捏ネテモ、之ヲ或點マデハ認メテヤラナクテハ私ハイカヌト思フノデアアル、例ヘバ此中野君ノ問題ナドノ出タ時ニ於テハ雅量ヲ示シテ之ヲ一ツ容レテヤル、此大雅量ヲ發揮シテ戴キタイト考ヘテ居ルノデアアル、又此政友會ニ於テモサウデアアル、昨年マデハ諸君ガ三派ノ力ニ依テ議場ノ四分ノ三近クヲ占メテ居タ多數ノ仲間入ヲ致シテ居タ、故ニ今日ノ此憲本ヨリハマダ一橫暴ヲヤツテ居タノデアアル(拍手)然ルニ今日ノ諸君ノ立場ヲ見レバ、私共ハ此無所屬ノ席カラ見テ洵ニ昨年ヲ省ミ同情ノ念ニ堪ヘナイノデアアル(拍手)併ナガラ何ト云フテモ少數黨ノ言ハ比較的國民ノ聲ニ近イノデアアル、私共考ヘルノ此意味ニ於テ今日最モ正シイ議論ヲ吐ク者ハ吾々無所屬デアアル、ソレカラ此中正俱樂部、政友會、斯ウ云フ順序ニ私共考ヘテ居ル(拍手)政治ニ於テモサウデアアル、必ズ一黨ガ過半数ヲ占領スル時ニ於テ、必ズ暴政ガ行ハレル、昨方ノ三派内閣ヨリ只今ノ憲本ニ内閣ノ方ガ、人民ノ聲ニ耳ヲ傾ケル傾向ガアル、是ハ爭フコトガ出來ヌ、人間ノ心理ガ然ラシムルノデアアル

○議長(粕谷義三君) 議事進行ニ付テ願ヒマス

○猪野毛利榮君(續) ソコデ政友會ノ諸君ニ私ハ申シタイ、諸君ハ何ト云フテモ今日最モ力有ル野黨デアアル、諸君ハ此所信ノ前ニ勇往邁進スルコトハ、吾々ノ最モ之ニ向テ敬意且ツ同情有シテ居ルノデアアル、併ナガラ此勇往邁進タルヤ、其動機ガ純眞デナケレバナラヌ、其戦ヒタルヤ一ニ公黨ノ面目ニ愧ヌ所ノ遺方ヲシナケレバナラヌ、先日來ノ遺方ヲ見レバ吾々ノ臍ニ落チヌ點モ多クアル、例ヘバ中野君ノ問題ナドニ付テ、大分経緯ガアタガ、一中野君ノ如キハ内閣ヲ倒ス剛々序ニ之ヲ始末スルト云フ位ノ意氣ト見識ヲ有シテカラニ、諸君ハ此政

府ノ持テ居ル所ノ政策、或ハ若槻總理大臣其モノニ著眼シナケレバイカヌト思フノデアアル、善政ヲ布カセルト云フコトハ政府ヲシテ善政ヲ布カセルト云フコトニ付テハ野黨ガ與テ力ガアルノデアアル、野黨ノ鞭撻如何、野黨ノ攻撃如何ニ依テ政府ハ善政モ布キ、或ハ惡政モ布クト云フコトニナリマスカラ、諸君ノ責任ハ決シテ輕イト云フコトハ出來ヌト私ハ信ズル、最後ニ私ハ若槻總理大臣ニ向テ一言致シタイ……

(此時發言スル者多シ)

○議長(粕谷義三君) 議事進行以外ニ涉ラヌヤウニ願ヒマス

○猪野毛利榮君(續) 今日ノ此状態ヲ見ルト中ノ政府モ苦シサウニ見ヘル、此内閣モ相當ニ痛手ヲ負フテ居ルヤウニ吾々ニハ見ヘル、各派モ傷タラケデアアル、此點カラ見テモ若シ餘リニ議事ノ進行ガ出來ズ、餘リニ不當ナルコトガ現ハレタル時ニハ、寧ロ思切テ解散ヲ斷行スルノ決心ヲ執ラドウカト思フノデアアル、國民ハ今日サウ云フテ居ル、今日ハ最早解散ヨリ外ニ行ツクテ政局ニ對スル打開策ハナイト云フコトヲ言フテ居ルデハナイカ、又吾々モ斯ウ信ジマス、區々タル妥協ヲ如キモノハイカヌ、寧ロ解散ヲ斷行シテ信ヲ與論ニ問ヒ、サウシテ人心ヲ一掃シテ、再び天下ニ臨ムト云フ所ノ一大決心ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアアル、一言既成政黨及政府ニ向テ警告ト希望トヲ述ベ更ニ進ンデ反省モ求メタ次第デアリマス

○作久間耕逸君 議事日程變更ニ關スル緊急動議ヲ提出シマス、即チ日程第三十、政府提出關稅定率法中改正法律案ヲ此際特ニ線上ダテ議題トナシ、其第一讀會ノ續キヲ開カレトヲ望ミマス

(贊成「贊成」ト呼ブ者アリ)

○砂田重政君 只今ノ作問君ノ動議ニ同意致シマス同時ニ、之ニ引續キマシテ日程第三十六、決議案、中野正剛君ノ反省自決ヲ促ス件ヲ議題トナシ、其審議ヲ進メラレムコトヲ望ミマス

○松田源治君 作問耕逸君ノ緊急動議タ

ル關稅定率法中改正法律案ノ日程變更ニハ異議アリマセカ、第三十六ノ決議案、中野正剛君ニ反省自決ヲ促ス件、此緊急上程ニハ反對致シマス、簡單ニ其理由ヲ述ベマス、此中野正剛君ノ處決ヲ促スコトハ中野正剛君ガ議場ニ於テ荒唐無稽ノ言辭ヲ弄シタト云フコトヲ問題ニ致シテ居ル、ソレハ陸軍大臣ガ荒唐無稽ト考ヘマス上云フコトヲ述ベタノデアアル、陸軍大臣ハ一ノ國務大臣デアアル、吾々ハ立法府トシテ國務大臣ヲ監督シテ居ルノデアアル、且ツ宇垣君ハアノ當時ノ、此事件ノ起テ當時ノ陸軍大臣デハナイノデアリマス、然ルニ此一國務大臣ノ答辯ヲ捉ヘテ之ヲ金科玉條ト致シテ、議員ノ權利ニ重大ナル關係ヲ有スル決議案ヲ出スト云フコトハ、吾々ハ絕對ニ反對スルモノデアアル、今迄ノ先例ニ依リマシテモ議員ノ處決ヲ促ス決議案ニ付テハ、餘程慎重ニ吾々ハ取扱シテ居ルノデアアル、然ルニ中野君……

(此時發言スル者多ク議場騒然)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス

○松田源治君(續) 然ルニ中野君ノ決議案ニ對シ、何等ノ調査モセズ、一國務大臣ノ言辭ヲ捉ヘテ直ニ之ニ處決ヲ促スト云フコトハ議員ノ權利ヲ輕卒ニ取扱フモノナリト言ハナケレバナラヌノデアリマス(拍手)吾々ハ一個ノ中野正剛君ヲ保護スルノデアアリマセカ、議員全體ノ權利ヲ擁護スルノデアリマス、故ニ吾々ハ斯ル不法ナル決議案ニ向テハ、三十六ノ日程ガ到達シテ審議スル場合ハ免モ角モ、斯ル不法ナル決議案ヲ緊急上程スルト云フコトニハ反對シマス

○議長(粕谷義三君) 只今作問耕逸君ヨリ日程第三十ヲ線上ダテ、線上ダテ提スルト云フ動議デアリマス、更ニ又砂田重政君ヨリ日程第三十六、決議案ヲ關稅定率法ノ次ニ上程スルト云フ動議デアリマス、此二ツノ日程變更ノ動議ニ付テ順次採決致シマス、作問君ノ日程變更ノ動議ニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(贊成者 起立)

○議長(粕谷義三君) 全會一致デアリマ

設ケテ、銑鐵カラ鋼鐵ニ至ルマデノ製鐵業ヲ繼續シテヤルト云フ工場ニ對シテハ、相當ノ補助ヲ與ヘテ、サウシテ鐵ノ自給自足ヲ圖ルト云フ目的デアアル、斯ウ云フコトヲ說明セラレタノデアリマス、次ニハ米ノ問題デアリマスガ、米ニ對シテ關稅ヲ引上ゲタイト云フ希望モ多イノデアアルガ、併ナガラ米、粗ニ對シテハ、既ニ米穀運用法ト云フモノカ存立致シテ居テ、現ニ前ノ議會ニ於テ、量ノ修正バカリデハイケナイカラ、是非之ヲ價格ノ調節モ保ツト云フコトニシナクバハイケナイト云フノデ、量及價格ノ調節共ニ、此米穀法ニ依テ出來ルヤウニナラシメ居ルノデアアル、然ラバ一朝米ニ暴騰、暴落ガアツタ時ニハ、此運用法ニ依テ調節スルコトガ出來ルノデアアルカラ、茲ニ一般ノ主食物タル米ニ對シテ、稅ヲ引上ゲルト云フヤウナコトハ、セヌデモ宜カラウト云フ當局者ノ說明デアッタノデアリマス、以上ガ當局者ノ本案ヲ提出致シタル所ノ趣旨及說明デアリマス、之ニ對シテ只今モ申上ゲタガ如ク、二十數回ヲ重ネテ、政府ノ當局者ト吾々委員ト、質問應答ヲ重ネタノデアリマス、デ其結果、第十九回目カト思ヒマスガ、質問ヲ終了致シマシテ、如何ニシテ此案ニ修正ヲ加フベキカト云フコトガ委員會ノ問題トナツテ、此六百數十項ニ分レテ居ル所ノモノニ對シテ、二十七人ノ委員ガ全體集テ、修正案ヲ作ルト云フコトハ極メテ至難デアアル、故ニ各派カラ二名宛ノ委員ヲ出シテ、サウシテ此委員ノ申合セニ依テ、案ヲ作製致シタラ宜カラウト云フコトニ意見ガ一致致シマシテ、茲ニ九名ノ申合委員ガ出來タノデアリマス、ソレハ名前ヲ申上ゲレバ橋本喜逸君、永田善二郎君、岩切重雄君、山本条太郎君、吉津茂君、佐々木平次郎君、岡田温君、及私ガ委員長タルノ故ヲ以テ之ニ參加シタノデアリマス、ソコデ此申合委員ガ集リマシテ、サウシテ修正案ノ作製ニ掛タノデアリマスルガ、此委員等ノ作りマシタ案ガ、諸君ノ御手許ニ今日私ノ報告トシテ御廻シ申上ゲテ居リマスル此案デアリマス、即チ修正サレタル箇

條ハ諸君ノ御覽ノ通りデアリマスルガ、此小委員ノ作りマシタ所ノ案ヲ、再ビ昨日全部ノ委員會ニ掛ケマシテ、サウシテ二十七名ノ委員諸君ノ意見ヲ伺ヒマシタ、所ガ申合委員ノ作りマシタ修正案及附帶決議二項、及同日政友會ノ諸君カラ提出サレタ修正案、此四ツヲ議題ニ供シマシテ、サウシテ可否ノ意見ヲ圖ハシタル後ニ、採決致シマシタル所ガ、此申合委員ノ作製シタル所ノ案ハ、六ニ對スル二ノ多數デ以テ可決セラレタノデアリマス、サウデハアリマセヌ、ソレハ申合委員ノ時デアリマス、二十七名ノ委員會ノ時ニハ、此案ハ殆ド一名カノ反對者ガアツタカト思ヒマシタガ、其他ハ全會一致致、此小麥、小麥粉、鳥卵、此修正案ハ通過致シタノデアリマス、附帶條件モ同様デアリマス、ソレカラ政友會ノ諸君ノ提出セラレタル所ノ、其可否ヲ尋ネマシタ所ガ、少數デ遺憾ナカラ消滅致シタノデアリマス、以上ガ此委員會ノ輕過及結果デアリマスルガ、一々此案ヲ此所デ朗讀スルコトハ大變ニ時間ヲ要シマスル、既ニ諸君ノ御手許ニ廻ラテ居リマスルコトデアリマシタカ、是デ御覽ヲ下サルコトニ相願ヒマシテ、報告ハ此程度ニ止メタイト思ヒマス(拍手)

○議長(柏谷義三君) 本案ニ對シテ質疑ノ通告ガ數名デアリマス、順次之ヲ許シマス

三輪市太郎君

〔三輪市太郎君登壇〕

○三輪市太郎君 議題トナリマシタ關稅定率法中改正法律案ハ、申上迄モナク今期議會ノ稅制整理案ニ亞イデノ重大問題デアリマシテ、就中米、初ノ關稅率ニ關シマシテハ、需給者共ニ、全國民多數ニ影響ノアル問題デゴザイマシテ、此稅率ニ付キマシテハ、只今委員長ノ報告サレタル如ク、米穀法ノ運用ニ依テ調節ガ出來ルト云フ政府ノ主張デアッタヤウデゴザイマス、ソコデ其米穀法ノ運用ガ果シテ適切ニ行ハレルヤ否ヤ、是ガ最モ政府ノ所見ヲ質シテ置クベキ必要ナルコト、認メルノデゴザイマシテ、之ニ對シテ私ハ項目ヲ分テ總理大臣ノ御

答辯ヲ望ムノデゴザイマス、然ルニ此米穀法ナルモノガ實ニ自由自任ニ運用サレル法律デゴザイマシテ、米穀法ノ第二條ニ「政府ハ米穀ノ數量又ハ市價ヲ調節スル爲メ特ニ「ソシナハ八百長會問止メロ」「黙」テ聽ク」「屍子垂レ本黨ノハ聽カナイノダ」ト呼フ者アリ

○議長(柏谷義三君) 原君ニ退場ヲ命ジマス(拍手)

〔議長「議長」ト呼フ者アリ〕

○三輪市太郎君(續) 必要アリト認ムルトキハ勅令ヲ以テ期間ヲ指定シ米穀ノ輸入稅ヲ増減若ハ免除シ又ハ其ノ輸入若ハ輸出ヲ制限スルコトヲ得」トアルノデゴザイマス、斯ノ如クノ法律デアリマシテ、政府當局ノ運用方針如何ニ依テハ生産者ノ保護トモナリ、又ハ壓迫トモナルノデゴザイマス、此法律ヲ制定シタル當時ハ、農家ノ生産經濟ヲ保全スル爲メ、農家ヨリ頻ニ運動致シテ此法律ガ出來タモノデゴザイマスガ、當時衆議院ニ於テハ民意ヲ容レテ、此原案ハ通過致シタモノデアアルガ、貴族院ニ於テハ農村ノ目的トスル骨子ヲ除カレタル爲メ、或ハ此法律ハ效力ハアルマイカト云フ懸念モアツタノデゴザイマス、無イヨリハ議員有ルガ宜イ位ナ考ヲ以テ、之ニ農家ノ議員モ贊成ヲシテ成立シタノデゴザイマス、然ルニ五十議會ニ此法律中ニ價格モ調節スルト云フコトヲ追加改正ヲサレタモノガ現行法デゴザイマスガ、實ニ是ハ農家ニ於テ熱望致シテ居タ法律デゴザイマスガ、全ク期待ヲ裏切ラレテ、此法律施行以來生産者ハ此法律ニ依テ利益ヲ被リ、保護ヲ受ケタコトハナイノデゴザイマス(拍手)是ニ於テ吾々ハ政府ガ唱ヘル如ク、果シテ米穀法ニ依テ誠意ヲ以テ價格ヲ調節スルノ意思アリヤ否ヤ、具體的ニ項目ヲ擧ゲテ質問ヲセントスル者デアリマス、第一項、米穀法ノ適用ハ單リ内地産米ニ限ラマ朝鮮、臺灣ノ産米ニモ運用スルコト、此必要ヲ認ムルヤ、政府ノ所見ヲ問フデアリマス、此理由ハ米穀法ノ第三條ニ「政府ハ帝國國內ニ於テ第一條ノ規定ニ依リ米穀ノ買入又ハ賣渡

ヲ爲サムトスルトキハ」云々トアリマシテ、法文ノ上ヨリ解釋スレバ、當然朝鮮米若クハ臺灣米ニ對シテモ運用スルコトハ差支ナイコトニナラシメ居ルノデゴザイマスルガ、是ハ實際問題トシテハ、未ダ會テ朝鮮米、臺灣米ニ米穀法ヲ運用サレタル事實ハナイノデゴザイマス、又之ヲ吾々ガ望ム所以ノモノハ、朝鮮米ノ生産費ナルモノハ、内地米ノ半額ニ當ルノデゴザイマシテ、朝鮮米ノ移入ニ依テ、内地米ノ市價ト云フモノハ常ニ壓迫ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、今期議會ニ提案サレタル朝鮮産米計畫ニ依リマシテ、今後朝鮮米ヲ内地ヘ移入スルコトハ一層多量ニ上ルデアラウト思ヒマスルガ、内地ノ市價ガ下落ノ場合ニ於テ、多額ノ移入ガアツタナラバ遂ニ暴落トナツテ、内地ノ農家生産經濟ハ破壊セララル、ト云フノ結果ニ陥ルノデゴザイマス(拍手)斯ウ云フ場合ニ於テハ、政府ハ米穀法ヲ朝鮮米ニモ運用ヲ致シタナラバ、國家經濟ノ見地ヨリ見マシテモ、安キ米ヲ買入レテ、而シテ暴騰ノ豫備ニ致スコトハ洵ニ良策デアラウト思フヲ要スル地方ニ對シテ、斯ウ云フ買入米ヲ拂下ゲデモ致シタナラバ、實ニ便宜デアラウト思フガ故ニ、吾々ハ之ヲ望ムノデアアルガ、一部ノ論者ハ米穀法ヲ運用シテ臺灣米若クハ朝鮮米ヲ買入レル場合ニハ、内地生産者ガ反對ヲ致シハセヌカト云フコトノ議論モアリマスルガ、是ハ米穀法ニ依テ買上ゲル其地方ノ商人ハ、或ハ反對ノ傾向アルカモ知レマセヌガ、全國中ノ生産者ヲ眼中ニ置イテ考ヘタナラバ、サウ云フ議論ハ起ラナイノデゴザイマス、全ク是ハ一部ノ米穀商人ノ唱ヘル聲デゴザイマシテ、ドウシテモ國家經濟及生産者保護ノ見地ヨリ、臺灣米ニモ此運用ヲ及ボスコトガ良策ナリト信ジテ此點ヲ望ムノデゴザイマス、第二項米價ハ(議長々々)質問デスカ何デスカト呼フ者アリ)議長ニ御問ニナラマデモナク私ガ御答ヲ致シマス、即チ前提ニ於テ質問ノ趣旨ヲ述ベテ、而シテ之ニ對シテ說明ヲ致シタノデアツテ、質問ナル

コトハ明カデアリマス(拍手)「第二項米價
ガ生産費以下ニ下落セシ場合ハ、政府ハ速
ニ米穀法ニ依テ價格ノ引上調節ヲ圖ルコ
ト、此趣旨ノ實行ヲ望ムノデアリカ、政
府ノ所見如何、米穀法ハ數量價格ノ調節ヲ
圖ルコトハ勿論デアリマス、隨テ下落ノ時
ニモ應用スルコトハ當然デアリカ、政府ハ
常ニ生産費ト云フモノ、標準ガ取り惡イ、
即チ生産費ヨリ下落シタカ否ヤヲ認メルガ
難イト云フノ議論デアリカ、是ハ私共ヨリ見
レバ、實ニ政府ノ言フ所ハ首肯スルコトガ
出來ナイノデアリマス、多年吾々ガ希望致
シタル所ノ農林省ハ、今日獨立ヲサレテ居
リマシテ、各府縣毎ニ生産費ガ何程要スルカ
ト云フコトノ調査ノ出來得ナイ道理ハナイ、
民間ニ於テ縣農會、帝國農會等ノ機關ガア
テ、詳シク調査シテ居ルニ、官廳ニ於テ
斯ウ云フ調査、即チ生産費ノ調査ノ行届カ
ナイト云フ道理ハナイ、民間ノ調査ニ疑ガ
アルナラバ、政府ノ調査ト對照シテ、若シ
一致ヲ見ナイ場合ニハ、各府縣毎ニ適當ノ
地ヲ擇ンデ政府自ら試作シテ、果シテド
ダケノ生産費ヲ要スルモノデアルト云フコ
トヲ御試験ニナレバ、此標準ヲ採ヘルコトハ
易々タル問題デアリカ(拍手)ソレマデノ手
續ヲ履マズシテ、唯、標準ガ取レナイ、生
産費ハ到ル所デ違フカラシテ、之ヲ目標ニ
スルト云フコトハ出來ナイト云フ御議論ハ、
吾々ニハ服從スルコトハ出來ナイ、成程地
方地方ニ依テ生産費ノ異ナルコトハ論ヲ
待タヌノデゴザリマスルカ、政府トシテハ
此平均ニ依ルモ、或ハ米價モ其地方ニ依
テ値段ノ異ナルノデアリカ、常識上ヨリ見
テモ生産費ヨリ下タモノデアリカ、或ハ
生産費内ニ在ルコト云フコトハ調ベ得ラル、
モノデアリカ、爲スヘキ途ヲ爲サズシテ、
唯、政府ガサウ云フ通辭ヲ言フノハ、吾々
ハドウシテモ服從ガ出來ナイノデゴザリマ
ス、殊ニ私ハ此生産費ト云フコトニ付テ、
今期議會ニ痛切ニ感ジマシタルコトハ、過
日ノ税制整理ノ委員會ニ於テ、濱口大藏大
臣ハ土地ノ法定地價百圓ニ付純益金ハ一
公課ヲ差引イタル所ノ純益金ハ一百圓アル

ト云フコトヲ唱ヘラレテ、而シテ商工業ノ純
益金四百圓ヲ免稅點ト致シマシテ、土地ニ對
シテハ其半額、即チ二百圓ヲ免稅點ノ基準
トサレタノデアリマスルカ、是ハ既ニ其免
稅點ノ比例ニ於テモ不權衡ナルノミナラ
ズ、實際ノ土地ノ收益ヨリ算定ヲ致シタナ
ラバ、商工業ノ免稅點ノ三分ノ一ニモ當ラ
ナイ免稅點ニナリテ居ルノデゴザリマス(拍
手)斯ル結果ヲ招キマシタルモノハ、大藏
大臣固ヨリ偏頗ノ御扱ノアル御方トハ思ヒ
マセヌガ、全ク當該官衙ガ十分ナル調ヲ爲
サヌ爲ニ、遂ニ農家ノミカスウ云フ不幸ニ
陷レテ居ルノデゴザリマス、此故ニ私共ハ
價格ニ付テモ調節ヲ望ム所以デアリマス
〔議長——議長——三輪君ノ言論ハ本
案ニ關係ノ無イコトヲ嘆テ居ルノデ
呼フ者アリ〕
○議長(粕谷義三君) 三輪君、質疑ノ要旨
ヲ御述ベテ願ヒマス
○三輪市太郎君(續) 議長ノ御注意デゴザ
イマスルガ、私ノ述ベルコトハ此米、穀ノ關
稅率ニ關係スル事ノミデゴザリマス(拍手)
決シテ他事ニ涉テ居リマセヌ、(第三項米
穀委員會ノ委員ハ半數ヲ農業ノ知識經驗
アル者ヲ民間ヨリ任命スルコト)、此點ハ政
府ハ實行シ得ルヤ否ヤト云フコトヲ御問
スルト共ニ、政府ガ之ヲ行ハントスレバ、現
任ノ委員ヲ更迭スルカ若クハ増員スルヨリ
外ニ途ハナイノデアリマスガ、其點ニ於テ
ハ吾々ハ何レデモ異論ノナイ所デゴザリマ
ス、斯カル事ヲ望ム所以ノモノハ、米穀法
ノ委員會ヲ設置サレテ以來、其任命ヲ蒙リ
シ人ハ官吏カ華族、若クハ商工業ニ關係
ノ深キ人々ガ多數デアリマシテ、農村ノ生
産經濟ニ精通シテ居ラレル方々ハ實ニ稀レ
デアリマス、此事ハ現任ノ委員諸氏ヲ御調
ベニナリテモ能ク分、テ居ルコトデゴザリマ
スガ、人格、地位、學歷等ニ於テハ、實ニ
尊敬スベキ人々ノ御面捕ヒデアリカ、實際
問題ヲ理解シテ居ル人ハ少イカノ如キ感ヲ
持ツノデゴザリマス(發言スル者アリ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○三輪市太郎君(續) 故ニ吾々ハ農家ノ生
産經濟ヲ心得テ居ラレル所ノ民間ヨリ任命
ヲ望ムノハ、此意味ヨリ起クノデアリマ
ス、(第四項、米穀法委員會ハ委員ノ三分
ノ一以上ノ要求アル時ハ何時ニテモ開會ス
ルコト)、此希望ニ對シテハ政府ノ意見ハ
如何、此項ニ對シテハ多ク言フヲ要シマセ
ヌガ、是マデハ政府ノ都合ノミデ開カレタ
モノデアリカ、民間カラ必要ト認メテ要求
スル場合ニハ開催セラレンコトヲ望ムノデ
アリマス、(第五項、米穀法ノ運用ニ付テ
ハ委員會ノ意見ヲ尊重スヘシ)、政府ハ此
趣旨ニ同感ナリヤ如何、米穀法ノ委員會ハ
諮問機關デアツテ、其決定ヲ採否スルノ權
能ハ固ヨリ政府ニ在ルノデゴザリマスル
ガ、立憲政治ノ常義トシ、又政黨内閣ノ下
ニ在リテハ、此機關ヲ設ケタル以上ハ、委
員會ノ決定ニ從ハルガ當然ノ事デアラウ
ト思フノデアリマスルガ、若シ政府ガ米穀
法委員會ノ意見ト云フモノヲ輕視スルナラ
バ、恰モ官僚政治、藩閥專制政治ト何等異
ラナイデアラウト思ヒマス(拍手)吾々ハ政
府ノ立場、責任ヲ思考スレバ、諮問機關ニ
對シテ其決定ニ從フベシト云フコトヲ要求
希望スルコト云フコトハ、多少無理カモ知
レマセヌカラシテ、是ハ穩カニ尊重サレル
ヤ否ヤト云フコトノ御問ヲスルノデアリマ
スルガ、其意味ハ全ク決定ニ基イテ運用セ
ラレルコトヲ望ムノデゴザリマス(拍手)以
上ノ質問ニ對シテハ、政府ハ項目ヲ別ケテ
御答辯ヲ願ヒタイノデゴザリマスルガ、一
部ノ諸君ハ先程ヨリ色々ノ御批評ガアリマ
スルガ、吾々ハ若シ政府ノ聲明ニシテ、吾
吾ノ會得シ得ザル程度ノ聲明ナラバ、或ハ
如何ナル態度ニ出ルカモ分リマセヌ(發言
スル者アリ)

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス
○三輪市太郎君(續) 又吾々ハ全ク米穀法
ノ運用ニハ不安ノ念ヲ抱イテ居ル者デア
リマスルガ、御答辯如何ニ依テハ其不安
ノ念ヲ一掃致シマシテ、生産經濟ヲ破壞セ
ザル所ノ保障ヲ得タトモ見ルノデゴザリマ
ス、ノミナラズ米穀法ノ制定セラレタル當

時ノ貴族院ノ態度ヲ、先刻申スガ如キコト
ヲ願ミ、或ハ今期議會ニ於ケル此米、穀ノ
關稅率ニ對スル貴族院ノ空氣等ヲ冷靜ニ考
ヘテ見タナラバ、如何ナル結果ヲ招クデア
リマセウカ、實ニ是ハ考慮ヲ要スル場合デ
ゴザリマス、假ニ輸入外米ノ關稅ニ僅カノ
増加修正ヲ致シテモ、是ガ果シテ内地米ノ
市價ニ影響スルヤ否ヤト云フコトモ未知數
デアアルノデゴザリマシテ、全ク農家ノ安全
策ヲ考ヘタナラバ、茲ニ政府ガ眞ニ誠意ヲ
以テ米穀法ノ運用ヲ圖ルナラバ、是レ恰モ
花ヲ見テ悲シムヨリモ、實ヲ結バシテ收穫
スルト同様ナ結果ニナルノデゴザリマス、
(拍手)全ク吾々ハ衷心ヨリ暴落ノ場合ノ生
産者ノ事モ考ヘ、又一面ニハ消費者中外米
ヲ常ニ食糧トスル人々、比較的低級ノ人々
デアアルカラシテ、社會政策ノ意味ヨリシテ
モ、是ハ一考スベキ問題デアゴザリマシテ、
此質問ニ對シテ政府ノ聲明如何ハ、即チ生
産者ノ安堵スルカ否ヤノ分岐點デアゴザリマ
スルカラシテ、ドウカ政府ガ關稅ノ委員會
ニ於テ述ベラレタル如ク、眞ニ誠意ヲ以テ
米穀法ヲ運用スルト云フコトヲ聲明サレタ
ナラバ、縱令一部ノ諸君ガ如何ナル批評ヲ
スルト雖モ、私ハ眞ニ農民ニ對スル深切、
眞ニ生産者ヲ保護スルニ執ルベキ途ナリ
ト、固ク信ズルノデゴザリマス(拍手)之ヲ
以テ私ノ質問ハ了リマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 若槻總理大臣
(國務大臣若槻禮次郎君登壇)
○國務大臣(若槻禮次郎君) 三輪君ノ御質
問ハ極メテ重要ナル御質問デアリマス、故
ニ私ハ明確ニ箇條ヲ逐ウテ御答辯ヲ申上ゲ
マス、第一ハ、米穀法ノ運用ニ關シマシテ
ハ、單リ内地米ニ限ラナイコトニ致スノデ
デアリマス、第二ハ、米價ガ著シク騰貴若
クハ下落致シマシタ場合ニ於テハ、生産者
ト消費者トノ利害ヲ調和スルガ爲ニ、米穀
法ノ運用ニ依テ之ヲ調節スルノ方針ヲ執
ル考デアリマス(拍手)第三ハ、米穀委員
會ノ委員ハ、半數以上ハ民間委員ヲ以テ之
ニ充クマシテ、民間委員ノ中農業ニ關シテ

時ノ貴族院ノ態度ヲ、先刻申スガ如キコト
ヲ願ミ、或ハ今期議會ニ於ケル此米、穀ノ
關稅率ニ對スル貴族院ノ空氣等ヲ冷靜ニ考
ヘテ見タナラバ、如何ナル結果ヲ招クデア
リマセウカ、實ニ是ハ考慮ヲ要スル場合デ
ゴザリマス、假ニ輸入外米ノ關稅ニ僅カノ
増加修正ヲ致シテモ、是ガ果シテ内地米ノ
市價ニ影響スルヤ否ヤト云フコトモ未知數
デアアルノデゴザリマシテ、全ク農家ノ安全
策ヲ考ヘタナラバ、茲ニ政府ガ眞ニ誠意ヲ
以テ米穀法ノ運用ヲ圖ルナラバ、是レ恰モ
花ヲ見テ悲シムヨリモ、實ヲ結バシテ收穫
スルト同様ナ結果ニナルノデゴザリマス、
(拍手)全ク吾々ハ衷心ヨリ暴落ノ場合ノ生
産者ノ事モ考ヘ、又一面ニハ消費者中外米
ヲ常ニ食糧トスル人々、比較的低級ノ人々
デアアルカラシテ、社會政策ノ意味ヨリシテ
モ、是ハ一考スベキ問題デアゴザリマシテ、
此質問ニ對シテ政府ノ聲明如何ハ、即チ生
産者ノ安堵スルカ否ヤノ分岐點デアゴザリマ
スルカラシテ、ドウカ政府ガ關稅ノ委員會
ニ於テ述ベラレタル如ク、眞ニ誠意ヲ以テ
米穀法ヲ運用スルト云フコトヲ聲明サレタ
ナラバ、縱令一部ノ諸君ガ如何ナル批評ヲ
スルト雖モ、私ハ眞ニ農民ニ對スル深切、
眞ニ生産者ヲ保護スルニ執ルベキ途ナリ
ト、固ク信ズルノデゴザリマス(拍手)之ヲ
以テ私ノ質問ハ了リマス(拍手)

時ノ貴族院ノ態度ヲ、先刻申スガ如キコト
ヲ願ミ、或ハ今期議會ニ於ケル此米、穀ノ
關稅率ニ對スル貴族院ノ空氣等ヲ冷靜ニ考
ヘテ見タナラバ、如何ナル結果ヲ招クデア
リマセウカ、實ニ是ハ考慮ヲ要スル場合デ
ゴザリマス、假ニ輸入外米ノ關稅ニ僅カノ
増加修正ヲ致シテモ、是ガ果シテ内地米ノ
市價ニ影響スルヤ否ヤト云フコトモ未知數
デアアルノデゴザリマシテ、全ク農家ノ安全
策ヲ考ヘタナラバ、茲ニ政府ガ眞ニ誠意ヲ
以テ米穀法ノ運用ヲ圖ルナラバ、是レ恰モ
花ヲ見テ悲シムヨリモ、實ヲ結バシテ收穫
スルト同様ナ結果ニナルノデゴザリマス、
(拍手)全ク吾々ハ衷心ヨリ暴落ノ場合ノ生
産者ノ事モ考ヘ、又一面ニハ消費者中外米
ヲ常ニ食糧トスル人々、比較的低級ノ人々
デアアルカラシテ、社會政策ノ意味ヨリシテ
モ、是ハ一考スベキ問題デアゴザリマシテ、
此質問ニ對シテ政府ノ聲明如何ハ、即チ生
産者ノ安堵スルカ否ヤノ分岐點デアゴザリマ
スルカラシテ、ドウカ政府ガ關稅ノ委員會
ニ於テ述ベラレタル如ク、眞ニ誠意ヲ以テ
米穀法ヲ運用スルト云フコトヲ聲明サレタ
ナラバ、縱令一部ノ諸君ガ如何ナル批評ヲ
スルト雖モ、私ハ眞ニ農民ニ對スル深切、
眞ニ生産者ヲ保護スルニ執ルベキ途ナリ
ト、固ク信ズルノデゴザリマス(拍手)之ヲ
以テ私ノ質問ハ了リマス(拍手)

知識經驗ヲ有スル者ノ數ヲ多クスル考デア
リマス(拍手)第四ハ、米穀委員會ハ委員三
分ノ一以上ノ要求ガアリマシタナラバ、之
ヲ開會スルコトニ致シマス(拍手)最後ノ御
質問ノ米穀委員會ノ意見ハ、之ヲ尊重スル
ヤウニト云フ事柄ハ、政府モ固ヨリ其通り
ニ致ス考デアリマス(拍手)三輪君ノ御質問
ハ極メテ重要デアリマス故ニ、私モ亦明
確ニ御答辯ヲ申上ゲテ置キマス(拍手)
○三輪市太郎君 只今ノ總理大臣ノ御答辯
ハ満足ヲ致シマス、全ク農家ノ爲ニ感謝ス
ル所デアリマス(拍手)

〔此時發言スル者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス—
諸君、先刻原總兵衛君ハ屢、議長ヨリ御注
意ヲ致シマシタガ、ソレヲ聴カレマセヌ、
已ムヲ得ズ一時退場ヲ命ジマシタガ、只今
重要法案ノ會議デアリマスカラ、同君ノ靜
肅ヲ希望致シマシテ、此際入場ヲ許シマス
〔條件附デハイカヌ〕ト呼ヒ其他發言スル
者アリ) 次ハ加藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

○加藤知正君 只今議題ニナリテ居リマス
ル所ノ、此關稅定率法中改正法律案ニ付キ
マシテ、私ハ委員長ノ報告ヲ伺ヒマシテ、
二ツノ大ナル遺憾ヲ禁ジ得ザル者デアリマ
ス、而シテ其一ツハ、米ノ關稅ガ其儘ニ據
置カレタコト云フ事デアリマス、今一ツハ、
染料ノ關稅ガ其儘ニ據置カレタコト云フ事
ノ、此二ツデアリマシテ、而シテ此
米ノ關稅ニ付キマシテハ、吾黨ヨリ此修正
案ガ出テ居リマスカラ、必ズ其修正案ニ
付キマシテ、同僚諸君ヨリソレノ御説明
ノアルコト、存ジマスルカラ、私ハ此點ニ
於キマシテ、自分ノ政府當局ニ對シマシテ
質問セント欲スルコトハ控ヘテ置キマス、
而シテ此第二ノ染料ニ付キマシテ、政府當
局ニ御尋テ致シ、委員長ニモ御尋テ申上ゲ
タイト考ヘル者デアリマス、前者ハ吾々食
糧問題ノ上ニ重大ノ關係ヲ持ツノナラズ、
農村振興、農家經濟ニ重大ノ關係ヲ持テ
居ルモノデアリマスカラ、是非此點ニ於
テモ質問ヲ致シタイトハ考ヘマスケレド

モ、前述ノ如キ次第ニ依リテ之ヲ略シテ置
キマスルガ、後者ト雖モ、吾々國民トシテ
決シテ之ヲ看過スルコトノ出來ナイ重大ノ
問題デアルト私ハ信ズル者デアリ、何トナ
レバデス、此染料ハ吾々國民ノ日常著用致
シテ居ル所ノ、此衣服ノ上ニ重大ノ關係ヲ
有シ、而シテ我國ガ現在ニ於テ五億圓以上
ノ織物ヲ海外ニ輸出致シテ居リマスルガ、
其内ノ一億五千萬圓ハ著色加工品デアリマ
スカラ、此染料ニハ重大ナル密接ナ關係
ヲ持テ居ルモノデアリマスカラ故ニ、吾々
國民ガ著テ居ル所ノ衣服ノ上カラ考ヘマシ
テモ、輸出ノ上カラ之ヲ考ヘマシテモ、決
シテ之ヲ看過スルコトノ出來ナイ問題デア
ルト私ハ信ズル者デアリマス、而シテ此染
料ニ付キマシテハ、諸君モ既ニ御承知ノ通
リ去ル大正十三年ノ六月ニ、時ノ農商務
省ハ染料ノ輸入制限令ヲ設ケタノデアリマ
ス、此制限令ガ施行セラレテ以來今日ニ
至ル迄ノ実績ヲ見マスカラ、時ニハ
有害無益ニシテ不徹底ナル點アルヲ吾々
ハ遺憾ヲ致シテ居ル者デアリ、此點ニ付キ
マシテ政府當局ニ御尋テ致シマシタ所ガ
當局ノ御答ニハ、我國ニ於テ品質ノ上カラ
見テモ、數量ノ上カラ見テモ、又價格ノ上
カラ之ヲ見マシテモ、優ニ自給シ得ル所ノ
見込ノアルモノ、ミニ付テ、是ガ輸入制限
ヲ致シタノデアリ、又當業者ノ方カラシテ
之ヲ輸入致シタイ、此染料ヲ外國カラ取入
レタイト云フ希望ガアルナラバ、當局ハ簡
單敏捷ヲ旨トシテ之ヲ取扱ヒ來、タノデア
ルカラシテ、決シテ當業者ニ不便ト迷惑ト
ヲ與ヘタ事ガ無イト言ハル、ノデアリマ
ス、併ナガラ事實ハ之ニ反スルモノアルヲ
如何セン、此輸入制限令ハ施行セラレマシ
テ以來茲ニ三回、染料ノ禁止ヲセラレタコ
トデアリマスルガ、其中直接染料ニ屬スル
モノハ、全部硫化染料ニ屬スルモノ、中、
青、黑、黃、綠、茶、此各種、鹽基性染料
ニ屬シマスルモノハ茶、綠、青、赤、紫
ノ各種、其他各屬染料中ノ主ナルモノハ、
悉ク此輸入禁止ノ中ニ網羅セラレテアルノ
デアリマス、故ニ今日輸入制限ヲセラレマ

シタル所ノ染料中ニ於キマシテハ、未ダ以
テ満足ニ我ガ内地ニ於テ出來ナイモノモ此
中ニ含まレテ居ルト云フコトハ明カナル所
ノ事實デアリ、而シテ此直接染料中、我國
ニ於キマシテ從來使用セラレテ居リマスル
所ノモノハ二百六十種ノ多キヲ算シテ居リ
マス、此中單色染料ニ屬シマスルモノガ約
百種類アルノデアリ、而シテ現在我國ニ於
テ出來マスルモノハ、ドノ位デアルカト云
フコトヲ調べテ見マスカラ、約七種
類デアリ、即チ輸入單色染料中ノ約一割ニ
モ満たナイ所ノ僅カノ種類ガ出來ル、製造
セラレルニ過ギナイノデアリマス、然ルニ
此直接染料ニ屬シマスルモノヲ全部其輸入
禁止ヲセラレマシタカラシテ、當業者ノ受
タル所ノ不便不利益ハ實ニ少カラザルモノ
ガアルノデアリマス、故ニ當業者ハ其不便
不利益ノ事情ヲソレノ具申致シマシテ、
政府當局ニ輸入許可ノ事ヲ請願致シマシテ
モ、中ニ容易ニハ應ジテ呉レナカッタノデ
アル、現ニ大阪府下ノ泉南郡「タオール」組合
ノ如キハ、此事ニ付キマシテ陳情ヲ致シテ
其筋ヘ出サレテアル、又桐生、足利、伊勢
崎、濱松、八王子、或ハ京都等ニ於ケル所
ノ染織業者、或ハ織物業者ガソレノ府縣
廳ノ手ヲ輕マシテ、當局ヘ陳情ヲ致サレテ
居ルト云フコトハ、諸君既ニ御承知ノ事デ
アラウト考ヘルノデアリマス(簡單)簡
單ト呼フ者アリ)就中最近ニ於テ最モ吾々
共ガ不審ニ堪ヘナイノハ、斯様ナ事實デアリ
マス、遠江ノ織物同業組合ガ、獨逸製ノ「カ
チゲン」レツドブル「三」アル」一萬キロ
ノ輸入許可ヲ出願シタノデアリ、所ガ商工
省デハ日本製ノ「ブリーユー」オプスベシヤル」
ヲ代用セイト云フコトデアッタノデアリ、是
ニ於テカ同組合ハ二日間ニテ試驗ヲ致シテ
見タ、所ガ獨逸製ノ染料ハ一回ノ水洗テ硫
黃分ガ立派ニ取レルニモ拘ラズ、此内地製
ノ染料ハ二回以上ノ水洗ヲ致サナケレバ其
硫黃分ガ取レナイ、而モ其色澤ガ惡イノデ
アル、サウシテ其價が一玉ニ付テ二十錢以
上モ高價ニ付イテ居ルト云フコトデアッタ
ノデアリマス、斯様ナ次第デアリマスル、

斯ウ云フヤウナ次第デアリマシテ、此當局
ハ内地染料保護ノ關係カラ、マダ十分ニ出
來ナイモノガアツテモ、成ベク之ヲ當業者ニ
使用セシメヤウト致シテ居ル、僅カバカリ
ノ試驗研究ヲ致シテ見テ、少シ是ガ出來ル
ト思ヘバ直ニソレ等ノ品物ニ對シテハ輸入
制限ヲ加ヘント致シテ居ルノデアリマス、
斯ウ云フヤウナ事實ハ、枚擧ニ違アラザル
コトデアリマス、少カラザル所ノ迷惑ヲ
感ズルト云フコトハ、言フ迄モナイ話デア
ルノデゴザイマスル、政府ハ此内地ノ染料
ガ八割以上モ出來ルヤウニナリタコト言ハ
マスルケレドモ、是等ノ事實カラ考ヘテ見
マスルコトガ出來ナイノデアリマスルガ、寧
ろ政府當局ハ此際實際ニ於キマシテ、我ガ
内地ニ於テ出來ル所ノ染料ハ何ニデ、出來
ナイモノハ何ニト云フコトヲバ有體ニ之ヲ
告示致シマシテ、サウシテ其出來ナイ所ノ
染料ニ對シマシテハ、自由自在ニ海外カラ
其輸入ノ出來ルヤウナ途ヲ開カレテハドウ
デアルカ、此點ニ於テ私ハ特ニ農林大臣ノ
御意見ヲ伺ヒテ置キタイノデアリマス、第
二ニ於キマシテハ、此輸入制限令ニ依リマ
シテ獨逸カラ來ル所ノ染料ヲ防止致シマシ
タ所ガ、外ノ方ノ國カラシテ(ソレノ)獨逸
ノ染料ガ這入、テ來ルヤウデハ何ニモナラ
ナイト思フガ、此點ニ於テハドウデアアルカ
ト云フコトヲ政府當局ニ御尋テ致シタノデ
アル、所ガ當局ノ御答ハ、左様ノ事實ヲ認
メナイト云フコトデアッタノデアリマス、
併ナガラ實際市場ノ光景ヲ見マスカラ、此
點ニ於テハ當局ニ於キマシテモ、十分ナル
所ノ御調査ヲ願ヒタイト思フノデアリ、又
假令輸入制限令ニ依リマシテ、獨逸カラ來
ル所ノ染料ノ輸入ヲ禁止致シマシタ所ガ、
或ハ瑞西カラ這入、テ來ルモノモアリマセ
ウ、或ハ米國カラ這入、テ來ルモノモアリ
マセウ、是デハ獨逸カラ這入、テ來ル所ノ
染料ヲ防ギマシテモ、何ニモナラナイノデ
アル、而モ其品質ガ獨逸ノモノヨリモ惡イト

タル所ノ此輸入制限ナルモノハ、我國ノ織物業ノ關係カラ考ヘマシテモ、是ハ寧ろ撤廢スル方ガ私ハ相當ナリト思フノデアリマス、此點ニ付テ農林當局ノ御考ハ如何デアリマセウカ、尙ホ此點ニ於キマシテ御伺ヲ致シテ置カテレバナラヌコトガアリマス、私共ガ斯様ニ申上ゲマスト云フト、是ハ内地ノ染料ガ多少デモ出來ルヤウナ結果ハ、即チ海外ノ染料ガ安ク這入ッテ來ルノデアル、現ニ四百萬圓前後モ出來ルヤウニナツタ、是ガ爲ニ海外ノ染料ガ安ク這入ッテ來ルヤウニナツタノデアルカラ、此點カラ云フト輸入制限令ヲ撤廢スルコトガ出來ナイ、相當ノ保護ヲスルコトガ必要ダト云フ御話ガアルカモ知レマセウカ、然ラバ彼ノ人造藍ハ如何デアルカ、膽脂ハ如何デアルカ、是ハ内地ニ於テハ絕對ニ出來ナイモノデアアル、出來ナイケレドモ併ナカラ(簡單カ々)下呼フ者アリ)會テハ五十「キロ」ニ圓カラ致シテ居ラヌモノガ、近來ニ於テハ僅ニ百七八十圓シカシナイヤウナ狀態デアリマス、此實例ニ徴シマシテモ、内地ニ於テ出來ナイト云フ所ガ、必シモ外國ノモノガ高ク這入ッテ來ルハ限ラヌ(簡單カ々)「モウ止セ」ト呼フ者アリ)諸君ハ簡單カ々ニ當テ、ソナナ不眞面目デナクテ宜シイ(拍手)又國防上内地ノ染料ヲ保護シナケレバナラヌト云フコトヲ仰シヤルノデアアルガ、國防上必要デアラナラバ、何故ニ彼ノ東洋窒素株式會社ヲシテ、空中窒素ヲ取ル所ノ仕事ヲサセナイノデアアルカ、空中窒素ヲ採取ト同時ニ、國防上必要ナル所ノ火藥ハ十分ニ之ヲ補フコトガ出來ルノデアアル、然ルニ唯、此會社ヲシテ、何モ仕事ヲサセナイデ置イテ、サウシテ單ニ特許狀ノミヲ取ラシテ置クト云フヤウナコトヲ、何故ニヤラシテ居ルノデアアルカ、甚ダ矛盾ナルヤリ方ヲシテ居ルト謂ハナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フヤウナ見地カラシテ、私ハ今日我國ノ國民ヲシテ、成ベク安イ所ノ着物ヲ着サセル意味ニ於キマシテモ、此染料ノ輸入制限令ヲ撤廢スル必要ガアラウト思

フ、又輸出スル織物ノ關係カラ考ヘマシテモ、之ヲ撤廢スルノ必要ガアルト思フノデアアルガ、此點ニ於テ農林當局ハドウ御考ニナルカ、又併セテ委員諸君ノ此關係ニ付テ、如何ナル所ノ審議ヲセラレマシタカ、委員長ノ之ニ對スル所ノ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス(ソレハ討論ダ)答辯ノ必要ナシト呼フ者アリ)討論ダハナイ質問ダ、答ヘラレマナラ答ヘヌデモ宜イ

○議長(粕谷義三君) 片岡商工大臣

○加藤政之助君 議長——發言ハ許セヌノデスカ

○議長(粕谷義三君) 加藤政之助君

○加藤政之助君 簡單デアリマスカラ自席カラ御答ヲ致シマス、只今加藤君ノ御質問ハ、染料ノ關稅ガ高過ギルヤウデアアルガ、委員長ハ之ニ對シテ如何ナル考ヲ持ッテ居ルノデアアルカト云フ御尋デアリマス、所ガ此染料ノ關稅ニ付テハ、委員會ニ於テ一向手ヲ觸レテ居ラヌノデアリマス、若シ手ヲ觸レテ引上ゲタト云フナラバ、私ガ御答ヲスル責任ガアリマスガ、委員會デハ一向手ヲ觸レテ居ラヌノデアリマスカラ、若シ稅率ガ高イト云フ御考デアリマシタナラバ、政府當局ニ御尋ニナルガ然ルベキデアラウト思ヒマス(拍手)

○議長(粕谷義三君) 片岡商工大臣

(國務大臣片岡直溫君登壇)

○國務大臣(片岡直溫君) 只今加藤君ノ御質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマスガ、加藤君ハ農林大臣ニ答辯ヲ求メラレタノデアリマスカラ、私ヨリ御答ヲ申上ゲマス(拍手)加藤君ノ御尋ハ、最初ニ於テ輸入制限ガアルガ爲ニ、染色業者ノ不便ヲ述ベラレマシテ、之ニ成タケ便利ヲ與ヘルヤウニト云フ御希望ノ下ニ述ベラレタヤウデアリマシタガ、段々質問ヲ進メラレルニ從ッテ、其制限ヲ撤廢スル方ガ宜シイデヤナイカト云フ所ニ結バレタヤウデアリマス、ソレ故ニ御質問ノ順序ヲ逐ウテ御答ヲ致シマスヨリ、一番最終ノ所ヲ土臺トシテ御答ヲシタ方ガ、御希望ニ副フノデアアラウカト存ジマ

ス、此染料輸入ノ制限ヲヤルコトニ付キマシテハ、曩ニ本會ニ於テ御質問ノ起リマシタ當時ニ於テモ御答ヲ致シマシタ、又豫算ノ分科會ニ於キマシテモ、確カ加藤君デアタカト思ヒマス、又質問書ガ提出サレマシテ、之ニ依ッテ答辯書モ差出シテアルト思ヒマス、ソレ故ニ私ハ、此切迫シタ時間ニ際會シテ、諄ミシク申上ゲルコトハ省略シマス、要スルニ染料製造ノ事柄ハ、單ニ染料ト云フコトニ止マラズシテ、此染料ヲ拵ヘルマデノ間ノ徑路ニ付テ、所謂化學工業ノ中樞ヲ成ヌモノデアリマシテ、是ガ我國ニ於テ完全ニ出來ルヤウニナルト否トハ、國運ノ消長ニ大關係ヲ有スル事柄デアアルノデアリマス、ソレ故ニ是ハ相當ノ保護ヲ加ヘテ、成功スルヤウニセシメナケレバナラナイノデアリマス、即チ保護ヲ加ヘマシタ徑路ニ付テモ、最早申上ゲナクテモ分、テ居ルト存ジマス、只今ノ所ニ於テハ約四五年ヲ期シテ、今日マデ出來ラヌテ居リマスモノ、外ニ對シテ、約二十種位ナモノヲ成功セシメヤウトシテ、既ニ當議會ニ於テハ獎勵ノ金額ニ對シテ協賛ヲ經テ居ルコトモ、加藤君ハ御承知デゴザイマス、内ニ於テ之ヲ成功セシメヤウトスレバ、外ヨリ壓倒ヲ受ケルコトヲ避ケナケレバナラヌト云フコトハ已ムヲ得ヌノデアリマス、即チ茲ニ制限ヲ行ッテ居ル次第デアリマス、ソレ故ニ今此制限ヲ撤廢スルト云フコトハ、其時期ニ到達致シテ居ラヌノデアリマス、併ナガラ之ヲ制限致シマシタ爲ニ、染色業者ノ被ル所ノ不便不利ナルコトヲ願ハナイノデアリマス、即チ其不便不利ニ對シテハ、不便不利ノ無イヤウニ十分ニ便宜ヲ與ヘル考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、若シ既往ニ於テ其不便ノ事實ガゴザイマシタナラバ、是ハ取調ヘマシテ其不便不利ヲ解除スル事ニカメヤウト考ヘテ居リマス、又之ニ關シテ各國ノ事例ヲ舉ゲテ色々御話ガゴザイマシタガ、是ハ我國ニ於ケル事業トシテハ、ソレ程御答辯ノ必要ハ無イト存ジマスカラ、此場合ニ於テ時間切迫ノ爲ニ

省略致シマス(拍手)而シテ之ニ對スル關稅ノ御話ガゴザイマシタ、此關稅ハ所謂從價稅ナルモノハ、稅關ヲ通過致シマスルトキニ於テ、多少ノ不便ガアルト存ジマシテ、從價稅ヲ從量稅ニ引直シタト云フコトニ過ギナイノデアリマス、即チ是ハ畢竟我國ニ於テ出來ナイモノヲ、海外カラ求メルモノニ對シテノ便利ヲ圖ツタ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、若シ夫レ從前ノ稅關ノ手續ニ對シテ、色々御話モアツタヤウデアリマスルガ、之ニ對シテ尙ホ御不滿ガゴザイマセウカ、是ハ私ノ主管内デハゴザイマセウカ、大藏當局ヨリ御答ヲ致シマスデゴザイマセウカ、今日ノ關稅問題ニ對シテハ、私ガ今申上ゲタ所デ相當デナイカト存ジマス(拍手)

○加藤知正君 議長——議長

○議長(粕谷義三君) 簡單ニ願ヒマス、加藤知正君

○加藤知正君 委員長ハ私ガ委員長ノ考ヲ聞イタヤウニ言ハレマスケレドモ、私ハ委員長ノ考ナドハ聞カヌノデス、委員長ノ考ヲ聞イテ何ノ役ニ立チマスカ、即チ委員長ニ御尋シタノハ、此問題ニ付テ如何ニ審議セラレタカト云フコトヲ聞イタノデアリマス、的違ヒデアリマス、又商工大臣ガ云々ト云フコトヲ言ハレマシタ、私ハ此商工省ガ農商務省カラ分家ヲ致シタバカリデアッテ、實ハ一時眼中ニナカッタカラ農林省ト言ツタノデアアルガ、併ナガラ商工大臣ノ答辯ハ、分家ハ分家相當ノ答辯デアッテ、吾々ハ之ニ満足スルコトガ出來マセウカ、何故満足スルコトガ出來ナイカ、其一ツハ今日吾々ニ示サレタ所ノ關稅ハ、是ハ算出ノ方法ヲ誤ッテ居ル、非常ニ高イ所ノ稅金ヲ課スルコトニナルガ、是ハドウナサルカト云フコトヲ御質問申上ゲタノデアリマス、併ナガラ此上ニ御尋ヲ致シマシテモ、私ハ此事ニ付テハ御答辯ハ得ラレナイト思ヒマスカラ、敢テ追窮致シマセウ

(松山兼三郎君登壇)

○松山兼三郎君 私ハ只今上程ニナツテ居リマス關稅定率法中改正法律案ニ對シマシ

テ、私ノ贊否ヲ決シマスル前ニ、二三政府ニ對シテ御尋ガ致シタイ事柄ガアルノデゴザイマス、ソレハ米及粃ノ關稅ニ關聯致シタ問題デアアルノデアリマス、第一ニ御尋ヲ致シタイコトハ、政府ハ米ノ増收ニ付キ、如何ナル目標ノ下ニ其計畫ヲ進メラレツ、アルカト云フコトデアアルノデアリマス、デ過般來本議場ニ於テ質問應答、並ニ委員會等ニ於キマシテ此食糧問題、就中米ノ増殖ノ問題ニ付キマシテ、屢、質問應答ガ重ネラレテ居ルノデアリマシテ、其速記録等ニ就キ見マスルノニ、總理大臣ハ米ニ向テハ自給自足ト云フコトヲ希望スルト云フコトヲ仰シヤッテ居ルノデアリマス、然ルニ農林大臣ハ此米ノ増殖ト云フコトニ付テハ、政府ハ出來得ル限リノ施設ヲシテ居ルノデアアルト、斯ウ仰シヤッテ居ルノデアリマス、ソレデ今日ノ此米ノ増殖ト云フコトニ付キマシテ、政府ガ其政策ヲ樹立致ス上ニ於キマシハ、必ズ一定ノ目標ト云フモノヲ定メテ、ソレニ到達スルト云フ所ノ計畫ヲ樹テナケレバ、政策ノ意義ヲ爲サナイモノデアルト信ズルノデアリマス、其意義カラ申シマスト云フト、目下我國ニ於テ内地米ヲ以テ内地ノ人口ヲ養フニハ足リナイ所ノ數量ハ、年ニ依テ多少ノ異動ハゴザイマスケレドモ、先ツ平均三百万石以上純外國米ノ輸入ニ俟タナケレバナラヌト云フ状態デアアルノデアリマスガ、政府ガ此米ノ自給自足ト云フコトヲ目標ト致シテ進マレルナラバ、此三百万石以上ノ收穫ニ對シテハ、計畫ニ依テハドレダケノ收穫、ドノ計畫ニ依テハドレダケノ收穫、ソノ具體的ノ政策ガナクテハナラナイト私ハ信ズルノデアリマス、例ヘバ耕地反別ノ面積ノ增加ニ依テドレダケ、土地ノ利用増進ニ依テテ増收ガドレダケ、或ハ耕地栽培ノ改良ニ方面カラ寄セテ以テ此自給自足ヲ圖ルト云フ所ノ計畫ガナケラネバ、唯、漫然ト出來ルダケ餘計取リタイト云フダケデハ、此米ノ増殖ト云フモノハ、政策ト云フ名ハ附カナイイラウト私ハ思フ、之ニ向テ政府

ハ目下米ノ増殖ノ計畫ニ付テ持テ居ラルル所ノ政策ヲ、具體的ニ數字の二一ツ御尋シガ願ヒタイト思フノデアリマス、第二ノ問題ハ、政府ハ米ノ市價ガ其生産費ヲモ償フニ足ラザルノ状態ニ在リテモ、尙ホ其増收計畫ヲ遂行シ得ルト御考ニナルカドウデアアルカ、斯ウ云フ質問デアアルノデアリマス、今日ノ米ハ言フ迄デモナク收穫セララル所ノ約半數ハ外へ賣ラレ、所ノモノデアアル、即チ一般ノ經濟貨物ト同ジモノデアアルノデアリマス、デ經濟貨物ト同ジモノト致シマシタナラバ、其價格ノ最低限度ト云フモノハ、少クとも其限界ハ生産費ニ置カナケレバナラナイモノデアアルト信ズルノデアリマス、然ルニ是迄ノ米價ノ状態ヲ考ヘテ見マシテモ、又今日ノ米價ヲ調ベテ見マシテモ、私共ノ調査スル所ニ依リマス、農家ノ生産費ヲ償フニ足ラナイト云フノガ事實デアアルノデアリマス、是ハ大正十一年カラ十三年マデノ米價ノ平均ハ三十五圓七十三錢ニナッテ居ルノデアリマス、然ルニ吾々が調査シタル所ノ生産費ニ依リマス、ト云フト、其生産費ハ三十七圓五十八錢程度ヲ往來シテ居ルノデアリマス、是ハ米價ガ生産費ヲ償フニ足ラナイト云フ状態デアアル、斯ウ云フヤウナ状態ニ在ッテモ、尙ホ政府ハ米ノ増殖ト云フコトノ計畫ヲ遂行シ得ル見込ガアルカドウカト云フコトニ付テ、御意見ガ承リタイノデアリマス、第三ニハ政府ガ米ノ關稅ト云フモノヲ、現行法ノ率ヲ以テ至當トセラル、所ノ理由ハ何所ニアアルカ、私共ガ調ベ、マス所ニ依リマス、ト云フト、少クとも此内地米ト云フモノ、價格ガ、優ニ外米ノ價格ニ壓迫ヲ受ケナイト云フ程度ニ致シマスルニハ、保護關稅ト致シマシテ、現行ノ相場ニ於テ百斤二圓ト云フモノヲ以テ至當トスルノデアリマス、其數字ヲ申シマスレバ、今日ノ外米ノ價格ハ西貢米、蘭貢米ニ於キマシテ、大抵似寄テ居リマスガ、沖相場ト云フモノガ百斤西貢米デハ八圓九十錢ニナッテ居ル、ソレヲ一石ニ換算致シマスト二十二圓二十五錢デアリマス、ソレニ内地米トノ品質ノ相違ノ價格、値開キ

ヲ八圓ト見マシテ、ソレカラ又ソレニ加フルニ百斤二圓ノ關稅ヲ一石ニ直シマシテ五圓ヲ加ヘマスルト云フト、其總計ガ丁度一石當リ三十五圓二十五錢トナルノデアリマス、サウスルト云フト大正十一年カラ十三年マデノ我が内地米ノ平均相場ノ三十五圓七十五錢ト丁度合致スルノデアアル、外米ノ相場ニハ内地米トノ品質ノ差ニ依ル備開キト、ソレカラ百斤二圓ノ關稅一石五圓ト、ソレカラ沖相場ト加ヘルト云フト、丁度此内地米トノ平均價格ト云フモノガ維持ガ出來ルノデアアル、是レ以下ニ關稅ヲ下ゲタナラバ、内地米ト云フモノハ外國米ニ依ッテ其價格ガ壓迫サレルト云フコトハ數字ニ依テ明カデアアル、此程度ニ於キマシテ政府ガ現行ノ關稅率ヲ百斤ニ付テ一圓ト云フコトガ至當デアアルト常ニ委員會ニ於テ辯明ニナッテ居リマス、其理由ハ何レニ在ルノデアリマセウ、其數字ノ根據ハ何レニ在ルデアラウカト云フコトヲ承リタイノデアリマス、其次ニハ政府ハ米ノ關稅ノ定率ト云フコトニハ重キヲ置カレズシテ、サウシテ米穀法ノ運用ニ專ラ俟タウト云フノデアアル、米價ノ維持ト云フヤウナコトハ關稅率ニ依ラズシテ、米穀法ニ俟タウトセラル、所ノ理由ガ何處ニ在ルノデアリマセウ、私共ハ關稅ト云フモノハ内地産業ヲ保護スル所ノ常時不斷ノ是ハ障壁デアアルト思フノデアリマス、米穀法ノ運用ト云フモノハ、是ハ臨時のモノデアアル、米穀法ニ規定シテアル所ハ、關稅ヲ増シタリ、減ジタリ、撤廢ヲスルト云フコトガ規定ヲシテアルノデアリマス、サウスルト此關稅ト云フモノガ土臺ニナラナクテハナラヌ、其土臺ニナル所ノ關稅ト云フモノヲ常ニ此米穀法ノ運用ニ依ッテ、臨時の法律ニ依ッテソレヲ補ハ見出スコトガ出來ナイト思フノデアリマセウ、關稅定率ハドウデモ宜イ、唯、ソレヲ補フニハ米穀法ノ運用ニ俟テヤレバ宜イト云フコトヲ言ハレル理由ハ何處ニ在ルデアリマセウ、先刻三輪君ノ質問ニ對シマシテ、總理大臣ガ米穀法ノ運用ニ付テ言明

ヲ致サレマシタノデアリマスガ、アノ米穀法ノ運用ハ、只總理大臣ノ言明ヲ俟ツマデモナク、サウナクテハナラヌモノデアアルト私共ハ信ジテ居ル、今更ノ言明デハナイト私ハ思フノデアリマス、ソレニ付キマシテ政府ガ此米ト云フモノ、關稅ダケニ付テハ、定率法ト云フモノヲ輕々シク見テ、サウシテ專ラ重キヲ米穀法ノ運用ニ置カレルト云フ理由ハ何處ニ在ルデアリマセウカ、此點ニ付キマシテ御答ヲ願ヒタイノデアリマス、ソレカラ今一ツハ、是ハ只今委員長ノ御報告ニアリマシタ所ノ修正ノ希望條件ノ一ツニ、將來此「タビオカ」マニオカ等ノ外二十五種類ノモノハ、將ニ設置サレルトスル所ノ常設ノ關稅委員會ト云フモノニ其裁量ヲ一任スル、斯ウ云フヤウナコトニナッテ居ルノデアリマスガ、此中ニ米ハナイ、サウスルト假ニ此希望條件ガ本會デ議決セラレタト假定致シマシタ上ニ於テ、政府ハ此希望條件ニ依ッテ立ツ所ノ關稅委員會ト云フモノニ於テハ、將來トモ此米ト云フモノハ全ク其關稅ヲ弄クラズニ、此米穀法ニ讓ッテ、關稅委員會ガ出來上リマシタ曉ニ於テモ、此關稅委員會ハ米ノ關稅ト云フモノニ對シテ、其委員會ニ於テモ何等考慮シナイト云フ意思デアアルカドウカ、之ヲ一ツ承ッテ置キタイト思フ、以上五點ニ付テ願ハクハ明快ナル御答辯ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

(國務大臣早速整頓君登壇)

○國務大臣(早速整頓君) 米ノ關稅ニ關シテ御尋ニナッテ居ルノデアリマス、大體私カラ御答ヲ致サウト思フノデアリマス、第一點ハ此米ノ増收計畫、之ニ就テ正確ニ其増收計畫ヲ詳シイ所ノ話ヲセヨト云フ御尋デアッタノデアリマス、是ハ食糧ノ自給策ヲ講ズルト云フ上カラ云フテ、其自給策ヲ講ズルト云フ計畫ガ十分ニ立ッテ居ルカドウカト云フコトニ就テノ御尋デアアルノデアリマス、屢、申述ヘマシタル如ク、政府ト致シマシテハ此食糧ノ自給ト云フコトノ計畫ヲ立テタイ、無論之ヲ目的トシテ進ミタイノデアリマスケレドモ、此自給ノ計畫ト云フ

モノハ頗ル困難デアルト云フコトヲ私ハ申シテ居ルノデアリマス、日本ノ内地ノ耕地ガ洵ニ狭イ、段々耕地ノ擴張ヲ行フテ居リマス、土地ノ利用ノ計畫ハ之ヲ進メテ行フテ居ルノデアルケレドモ、一方ニ於テハ人口ノ増殖ト云フコトガ頗ル非常ナ勢ヲ以テ進んで行フテ居ルノデアリマス、丁度此人口ノ増加ヲスル率ト、ソレカラ食糧増殖ノ計畫ト云フモノガ、正比例ヲシテ進ムト云フ按排ニナラズテ居ラスノデアリマス、今日ノ計畫、政府ガ現ニヤツテ居ル計畫ニ依リ、是カラ將來施設シナケレバナラヌト云フ計畫ヲ併セテ考ヘマシテモ、人口ガ非常ニ増加スルモノニ對シテハ、尙ホ食糧ノ自給ヲ完全ニ行フト云フ見込ハ、今日デハ十分ニ立タナイノデアル、故ニ政府ハ矢張出來ルダケノ力ヲ盡シ、即チ耕地ノ擴張、土地利用ノ計畫ニ付テハ出來得ルダケノ力ヲ盡シテ、サウシテ食糧ノ自給策ニ進んで行キタイ、斯ウ云フコトヲ御答スルヨリ外ニハ仕方ガナイノデアリマス、此點ハ唯、獨リ當局者ガ之ヲ努メルノミナラズ、國民ト共ニ此食糧ノ自給ト云フコトニ向テハ、大ニ努力シナケレバナラヌト云フコトハ分リ切ク話デアリマスケレドモ、現在ニ於テ自給ノ計畫ハ成テ居ル、斯様ニ御答スルコトハ今日ノ當局者トシテ出來ナイ、將來ニ於テ段々進んで其計畫ヲ進メタイ、唯、此事ヲ申上ダレニ付テ、前日來私ノ申シタノハ、朝鮮ニ於ケル産米増殖計畫アル、朝鮮ニ於ケル産米増殖計畫ノ如キハ、八百万石ノ増殖ヲ圖ル爲ニ今回計畫ヲ立テ居ルノデアリマスガ、内地ニ於テハ十分ノ計畫ガ立タナイニ致シマシテモ、此朝鮮ノ産米増殖計畫ヲ以テ之ヲ補フト云フコトニ致シマスレバ、將來ニ向テハ食糧ノ自給策ヲ講ズル上ニ於テ、非常ナル助ケニナルト云フコトハ、私屢々繰返シテ申シタ通りデアリマス、併シ朝鮮ノ産米増殖計畫ハ、御承知ノ通り十二年度ニ於テ完成ヲ致スノデアリマスカラ、今日ニ於テ直ニ此増殖計畫ガ日本ノ内地ニ非常ナ影響ヲ及ボスト云フマデニハナラズ、將來ノ事デアリマスカラ、

是ハ將來ノ食糧政策トシテ之ヲ參考ニスルト云フコトヨリ外ニハ仕方ガナイノデアリマス、ソレカラ第二御尋ノ今日ノ如キ生産費デアツテモ、此米ノ増殖ヲ圖ルコトガ出來ルト考ヘルカト云フ御尋デアアルノデアリマス、是ハ私ハ現在ノ如キ生産費デアツテモ、出來得ルダケノ増殖計畫ヲスルト云フコトハ、矢張爲シ得ルト考ヘテ居ルノデアリマス、唯、御説ニハゴザイマシタガ、此米ノ生産費ト云フモノガ果シテ幾ラデアアルカト云フコトニ付テハ、頗ル正確ナル調ベヲ缺イテ居ル、土地ニ依リテ生産費ノ計算ハ違フテ居ル、色々ニ計算ヲセラレテ居ルノデアリマスカラ、果シテ幾ラガ此生産費ノ標準ト爲スコトガ出來ルカト云フ點ニ於キマシテハ、政府ト致シマシテモ是ガ即チ生産費ノ標準デアアルト云フコトヲ正確ニ申上ダレトモ、併シ要スルニ米ノ價ガ如何様デアアルカト云フコトガ矢張考ヘ物デアアル、餘リニ米ガ安クナツテ、非常ニ安クナツテ來ルト云フコトニナリマスレバ、或ハ米ノ増殖計畫ト云フモノニ對シテ、多少ノ障礙ヲ與ヘルト云フ虞ガアルノデアリマスケレドモ、現在ノ狀態ニ於キマシテハ、此増殖計畫ヲ立テル上ニ於テ餘リニ邪魔ニナラナイ、此儘デ進んで行クコトガ出來ルデアラウト當局者ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ現在ノ關稅定率法ノ稅率デ、是ガ當然デアアルト考ヘテ居ルノハドウ云フ譯カト云フ御尋デアツタノデアリマス、是迄現ニ遣リ來ツテ居ル此現行法ノ稅率ニ依リマシテ、先ツ此稅率ガ行ハレ來タ所ノ狀況ニ於テ當然デアツタ、餘リニ此稅率ト云フモノガ低イト云フ感ジラ起スト云フ程度ノモノデハナカッタ、長イ間行ハレテ來テ居ルノデアリマス、此程度ノモノガ先ツ通念トシテ考ヘテ當リ前ノ程度ノモノデアラウ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、殊更ニ之ヲ引上ゲル必要ハナイ、斯ウ云フ風ニ政府ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレニ付キマシテ第四段ニ御尋ノ米穀法ノ運用ガアルカト云フコトハ、ドウ云フ意味カト云フ御尋デアツタノ

デアリマスカケレドモ、是ハ即チ米穀法ヲ巧ニ運用致シマスレバ、米價ノ暴騰、暴落ノ際ニ相當ニ此米價ノ調節ヲ圖ルコトガ出來得ルノデアリマスカラ、獨リ關稅ニ依リテ米價ノ調節ヲ圖ルト云フコトハ出來ル譯ノモノデハナイガ、米穀法ノ運用如何ニ依リマスレバ暴騰、暴落ノ際ニハ相當ニ此調節ヲ圖ルコトガ出來ルガ故ニ、殊更ニ此稅率ノ改正ヲ致サナクテモ、米穀法ノ運用ニ依リテ相當ノ結果ヲ收メルコトガ出來ルト信スルガ爲メノデアリマス(ソレガ間違ヒダ)ト呼フ者アリ)尙ホ委員會ノ事ニ付キマシテハ、是ハ前刻委員長カラ報告ガアリマシタル如ク、各種ノ品目ニ付テ、此常設ノ委員會ニ於テ相當調査ヲ遂ゲタル上ニ、改正スベキモノガアレバ之ヲ改正スルト云フ、其希望ノ下ニ——其目的ノ下ニ此委員會ヲ設置スルト云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマスカラ、其作用ニ付テハ左様御承知ヲ願ヒタイノデアリマス(拍手)

○作問耕逸君 第一讀會ニ於ケル質疑ハ之ヲ以テ結局セラレンコトヲ望ミマス

〔贊成ニ贊成ト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ質疑結局ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認マラス、仍テ質疑ハ結局致シマス、反對演説ノ通告ガアリマスカラ之ヲ許シマス——畔田明君

〔畔田明君登壇〕

○畔田明君 諸君、本案程重大ナル法律案ハ今期議會ヲ通ジテ又ト無イノデゴザイマス、本案ハ政黨政派ヲ超越致シマシテ、國家的見地ヨリ審議スルノ必要ノアリマスカラコトハ申スマデモナイコトデアアル、私ハ本案竝ニ委員長報告ノ修正案ニ反對ヲ致シマシテ、其理由ヲ以下簡明ニ申上ダタイト思ヒマス、尤モ私ノ所屬シテ居リマスル新正俱樂部ノ多數ノ諸君ハ、委員長報告ノ修正案ニハ賛成デアリマス、併シ私ハ此機會ニ於テ私ノ信念ヲ述ベサセテ戴キタイト思フノデアリマス、本會議及委員會ニ於テ演説口

大藏大臣ガ本案ニ對シテ御説明ナサル所ヲ要約致シマスルト、本案ノ目的ハ我國産業ノ保護デアアル、斯ウ云フコトニ歸著致スノデアリマス、果シテ本案ニ依リマシテ我國産業ガ保護セラレルデアアルカドウカト云フコトヲ先ツ第一ニ考ヘナケレバナラヌ、御承知ノ通り我國ニ於テハ明治維新ノ當初ヨリ、近代産業ニ對シマシテハ特殊ノ保護ヲ執リテ參リマシタ徑路ニアルノデアリマス、明治維新ノ際ハマダ草創ノ際デアリマシテ、内治外交極メテ多端デアツタニ拘ラズ、時ノ政府ハ歐米ノ近代産業ヲ我國ニ移植シタノデアリマス、サウシテ非常ナル力ヲ入レテ此産業ノ伸ビルヤウニ舵ヲ取ツテ參リマシテ、一旦民間ノ事業ニ移サレタノデアリマス、明治十五年頃ニ至リマシテ、政府ノ直接事業ニ關係致シマスルコトハ打切ラレマシテ、一旦民間ノ事業ニ移サレタノデアリマス、併ナガラ其近代産業ニ對シマスル所ノ保護ヲ努力ト云フモノハ變ラナイノミナラズ、一層強クアツタノデアリマス、更ニ商工業偏重ノ政策ヲ極端ニ執リマシタル所ノ政策ヲ執リマシテ、地租條例ノ設定デアリマス、此地租條例ニ依リマシテ、今マデ價值ノナカッタ所ノ土地ト云フモノハ急ニ價值ヲ生ジ、御承知ノ如クニ舊幕時代ニ於テハ其土地ノ收穫ノ半分、其半分以上ハ之ヲ上納トシテ取ラレタノデアリマス、所ガ此地租條例ノ改正ニ依リマシテ、ズト其公課ハ減ツタ、サウシテ地主ハ非常ナ有利ノ立場ニ立ツタノデアリマス、併ナガラ小作人、中以下ノ農民ニ於テハ依然トシテ舊幕時代ノ狀態ヲ續ケテ參ツタ、此狀態ハ我が近代産業ニ非常ニ低廉ナル勞力ヲ供給致シマス所ノ源泉トナツタノデアリマス、是ガ我が産業ノ上ニ非常ナル助ケトナリマシテ、御承知ノ如クニ歐洲戰前ニ於テハ、我國ハ勞力ノ低廉ト云フコトヲ以テ世界ノ經濟市場ニ驅馳スルコトガ出來タノデアリマス、更ニ私ハ明治三十二年條約改正ニ依リマシテハ、關稅自主權ヲ回復シテカラ後ニ付テ考ヘテ見ナケレバナラヌ、三十二年ノ國定

ス、是ガ世界ノ現狀デアル、併ナガラ世界ノ現狀トシテハ此儘看過シ得ルノデアリマ

スガ、我が日本ノ立場カラ考ヘマズルナラバ、決シテ安閑トシテ居レナイノデアリマ

ス、我國ハ年々七十五万ツソ人口ガ殖エテ行ク、是ハ當議場ニ於テ度々問題ニナリタ

コトデアリマスルカラ私ハ繰返シマセヌ、人口ノ點、又今申上ダテ産業ノ點カラ顧ミ

マシテモ、吾々ハ行詰リデ、ドウカシテ之ヲ打開シナケレバナラヌ立場ニ立テ居ル

ノデアリマス、隨テ吾々ノ増加シタル所ノ人口ノ持テ行キ場所、又吾々ガ努力シテ

生産シタル所ノ品物ヲ持テ行キ場所ニ付テ考ヘナケレバナラヌ、言換ヘレバ吾々日

本國民ノ生存權、ソレヲ世界ニ向テ正シク主張致シマスル爲ニ、吾々ハ其前提ニ於

テ注意ヲ致サナケレバナラヌノデアリマス、斯ウ云フコトニ問題ハ歸着致スノデア

リマス、此點カラ考ヘマシテ、私ハ本案ニ非常ナ不滿ノ感ズル者デアリマス、今申上

○議長(粕谷義三君) 是ニテ討論ハ終局致シマシタ、仍テ直ニ採決ヲ致シマス、本案

ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕 ○議長(粕谷義三君) 起立多數デアリマス、仍テ第二讀會ヲ開クニ決シマス

○作問辨逸君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(粕谷義三君) 作問君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕 異議ナシト呼フ者アリ ○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ

議題ト致シマス、山本太郎君外九名ヨリ本案ニ對スル修正案ヲ提出セラレマシタ、其趣旨聲明ヲ許シマス、堀切善兵衛君

關稅定率法中改正法律案 第二讀會

〔堀切善兵衛君登壇〕 ○堀切善兵衛君 諸君、關稅定率法中改正法律案ニ關シマシテハ、本黨ノ諸君ヨリ修正案ガ出テ居リ、又我黨ヨリ修正案ヲ提出

致シテアルノデアリマス、而シテ本黨ヨリ出マシタ先程委員長ノ報告ノ修正ノ中デア

様ニ申サル、只今モ御論ジニナリタ通り前後四十日以上委員會ヲ開イテ此問題ヲ議

シ、政府委員ヨリモ屢々詳細ナル説明ヲ承リ、當業者ヨリ贊否兩様ノ意見ヲ承タ、

之ヲ判斷スルニ於テ何ノ苦シイコトガアリマセウ、然ルニ八分通り分タガ二分分ラ

スト云フ(拍手)本黨諸君ハ恰モ是デハ世ノ中ニ天保錢ト云フモノガアル(拍手)八分ガ

宜シイ、二分ダケハ通用シナイト云フヤウナ感ジヲ起サミルヲ得ナイ(拍手)私ハ併ナ

ガラ箇々ノ問題ニ付テハ茲デ一々説明ハ申上ゲナイノデアリマス、四十幾箇ノ點ニ互

テ修正ヲ試ミタル中、大體ノ觀念ニ付テ私ソレダケヲ御説明申上ゲテ置キタイト思フ

ノデアリマス、吾々ハ常設委員會ニ移シテ、來年モ之ヲ提出スベシ、左様ニ吞氣ニ

日本ノ現今ノ經濟狀態ヲ考ヘル譯ニハ參ラヌノデアリマス(ヒヤ)「拍手」經濟上今

日我國ハ非常ナル難關ニ遭遇致シテ居ル、少シク深刻ニ之ヲ考フル者ハ、我國ハ申ス

ヲ懐ク者ガ餘計アリマシタガ爲ニ日本ノ圓ノ價ハ暴落ヲ告ゲテ、爲替ハ非常ニ下落致

シマシタ、其結果遂ニ今日ニ至ルマデ我國ハ、事實上ノ兌換停止ノ有様ニ在ルト申シ

テ差支ナイノデアアル(ヒヤ)「拍手」加フルニ一面ニ於キマシテハ、諸外國ノ競争ヲ

受ケテ、折角戰爭中ニ勃興致シマシタル産業モ、倒産ニ陥タルモノガ少クナイ、不

景氣ノ結果徒ニ失業者ガ増加致シ、是ガ爲ニ思想ノ惡化ヲ導キ、種々忌ムベキ所ノ社

會の罪惡ノ甚シク近年増加致シテ居ルコトハ、統計ノ上ニ明カナル所デアリマス(拍

手)即チ外ヲ見テモ内ヲ顧ミテモ、我國ノ經濟狀態ハ、正ニ非常ナル困難ノ狀況ニ遭

遇シテ居ルコトハ明カデアリマス、之ニ對シマシテハ種々手段ヲ考ヘテ、此經濟的

難局ヲ打開スルノ途ヲ講ジナケレバナラヌト思フ(ヒヤ)「拍手」政府ニ於キマシテ

モソレレ「手段方法ヲ御執リニナリタ居ルト考ヘマスケレドモ、吾々ハ就中此關稅ノ運用ヲ巧ミニ致スト云フコトガ、最も有力

吾々ノ希望ニ副ハザル點ハ決シテ少クナイノデアリマス、大蔵大臣ハ今回改正ノ主タル目的ハ、重要産業ノ保護ニ在リ、斯様ニ申サレタ、然ルニ政府ノ所謂重要産業ノ中カラ、政府當局ハ農産物ダケハ之ヲ除外セラレタノデハナイカト私共ハ考ヘル(拍手)其證據ハ今回ノ改正ニハ、政府ハ十五年度ニ於キマシテ、農産物以外ノモノヨリ約八百二十三萬圓ノ増收ヲ見込シテ居ル、然ル間ニ農産物ニ對シテハ、十五年度ニ於テ却テ七十一萬二千圓ノ減收ヲ現シテ居ルノデアリマス、是ハ何ガ爲デアルカ、農産物以外ノモノニ對シマシテハ、從來ヨリ税率ヲ高ク致シタル爲ニ、八百餘萬圓ノ増收デアリ、然ルニ農産物ニ對シマシテハ、從來ノ稅ヲ其儘ニ據置タカ、然ラズシテハ、低減致シタルガ爲ニ、此方ハ却テ七十餘萬圓ノ減收ヲ示シテ居ルノデアリマス、斯ノ如キハ農業ニ對シ、或ハ商工業、製造業ニ對シ、政府ガ一視同仁ノ御考ヲ有セラレザルモノト、判斷致スノ外ハナイノデアアル(拍手)吾々ハ農業タルト商工業タルト問ハズ、有ユル産業ニ對シテ一視同仁ニ、國民ガ全力ヲ擧ゲテ之ニ努力ムベシト云フノガ、吾々ノ精神デアリマス(拍手)尤モ是ハ考ヘ様ニ依テ只今畔田君ガ申サレタ如ク、自由貿易ヲ理想トスル所ノ彼ノ英吉利ノ國民ノ如キハ、違タ考ヲ持テ居ル、農産物ノ如キハ、何モ獎勵スル必要ハナイ、世界中何處カラデモ一番安イ食物ヲ買テ來テ使ヘバ、ソレデ宜イデヤナイカ、國民ハ商工業ニ専心從事シテ金儲ケヲスレバ宜シイ、其儲ケタ金ヲ以テ食糧品ヲ買テ來テ食ヘレバ宜シイデヤナイカ、斯様ナル議論モ立ツノデアアル、併ナガラハ英吉利ノヤウナ國ニ於テ、初メテ徹底ノ二實行スルコトガ出來ルノデアアル、日本ナドハ其眞似モスルコトハ困難デアリマス(拍手)御承知ノ如ク英吉利ハ最近ニ至ルマデ製造工業ニ於テハ、何ト云テモ世界デ一番進ンデ居タノデアアル、ノミナラス世界到處ニ植民地ヲ澤山持テ居ル、亞米利加合衆國ト雖モ、其ノ他南米ノ諸國ト雖モ、今日世界中デ英

吉利人ヲ排斥スル國ナドハ一ツモナイノデアアル、顧ミテ日本人ハドウデアルカ、世界到處、日本人ニ對シテ門戸ヲ閉鎖シテ居ルノデアアル、七十五萬ノ人口ガ増加スル、何處ヘ其人口ヲ吐出スコトガ出來ルカ、唯、滿洲ノ一角ニ於テ吾々ノ這入ッテ行ク所ノ途ガアルダケデアアル、斯ノ如キ國柄ニ於テ、英吉利ノ眞似ナドハ到底出來ナイノデアアル、我國ト事情ヲ稍、同ジクスルモノハ、私ハ寧ロ獨逸或ハ佛蘭西ノ如キ、歐洲ノ大陸諸國デアアルト考ヘル、是等ノ國ハ、五十年前ニ、否モ、十年前、七八十年前ニ、鐵道或ハ運輸交通業、船舶等ガ發達シタル結果、亞米利加大陸ヨリ非常ナル勢ヲ以テ、農産物ガ輸入シテ居ラタノデアリマス、此儘ニ致シテ置ケバ、大陸諸國ノ農業者ハ、非常ニ悲惨ナル狀態ニ立至ラナケレバナラヌコトニ鑑ミ、斷然茲ニ農業保護ノ國策ヲ立テテデアリマス、商業ニモ、工業ニモ、獨逸、佛蘭西等ハ全力ヲ盡シテ獎勵シタケレドモ、是ト同時ニ、農業ノ保護ト云フコトハ、之ヲ一日モ忘レナクッタノデアリマス、固ヨリ是等ノ點ハ、吾々ハ學バナケレバナラヌト思フ、農産物ヲ保護シテ價ヲ高クスレバ、生活費ガ高クナッテ、商工業ノ發達ヲ阻害スルト云フ議論モアリマスケレドモ、彼ノ獨逸ノ如キハドウデアリマスカ、農業ノ保護ヲ徹底ノニヤッタニ拘ラズ、其國ガ商工業ノ過去五六十年間發達ノ成績ハ、先輩國ノ英吉利ト同様ノ有様デアリマス、要スルニ其國民ガ農業ニ對シテモ、商工業ニ對シテモ、全カヲ傾注スルカドウカト云フコトガ、是ガ根本問題ニナッテ參ルノデアリマス、之ヲ我ガ農業ヲ今日ノ儘ニ致シテ置ケバ、一面ニ於テハ亞米利加大陸ヨリ、一面ニ於テハ亞細亞大陸ヨリ、諸大陸ヨリ非常ニ安イ生産費ヲ出來ル農産物ヲ輸入サレテ、農村ハ一日ト衰亡シテ、外ハナイノデアリマス、農村衰亡スレバ、即チ地方ノ農民ハ地方ヲ離レテ都會ニ集中スル、都會ニ集中シテ、職業ニ有リ附クコトガ出來レバ幸デアアルガ、左様ニ中々參ラヌノデアアル、失業者トシテ生活ニ困リ、途

ニ種々困難ナル社會問題ガ起リ、階級鬭爭モ之ニ依テ始マル、有ユル社會的罪惡モ此間カラ發生シテ參ルノデアリマス、然ラバ日本ニ於テ、將來耕地整理ニ依リ、開墾ノ拓等ノ進捗ニ依リ、農産物ガモット増加ノ望ガナイカト申セバ、決シテ左様ニ申ス譯ニハ參リマセヌノデアリマス、今日農林省アタリノ根本方針ハ、將來ノコトハ率知ラズ、十年二十年ノ間位ハ、我國ニ於テ食糧品ノ自給自足ハ可能ナリト云フ前提ノ下ニ、有ユル農業政策ヲ實行シテ居ルノデアリマス、即チ十分ニ食糧品ヲ増加スル可能性ハアルノデアリマス、併ナガラ私共ハ此農業保護ノ問題ハ、決シテ獨リハ通俗卑近ナル經濟論カラバカリ之ヲ論ジ去ル譯ニハ參ラヌト思フノデアリマス、種々ナル點ニ付テ吾々ハ考ヘテ見ナケレバナラヌ、先ヅ第一ニハ、全國民ノ六割ノ多數ヲ占ムルノガ農民デアアル、日本ノ國民性ヲ維持スルモノハ、如何ナル職業ニ從事スル者ガ一番理想ト致シマシテ、毎日金儲ケニ没頭シテ居ルノガ、果シテソレガ人間ノ目的デアアルカ、目ノ前ノ金儲ケハ致サナクテモ宜シイガ、長イ間ノ期間ニ於テモト幸福ナル、安全ナル、健全ナル生活ヲ國民ヲシテ送ラシムルコトガ、果シテ必要デアアルカドウカ、斯様ナル政治上、社會上、倫理上、總テノ問題ニ對シ吾々ハ深く考慮シテ、而シテ後農村ヲ此儘放任スル譯ニハ參ラヌト云フノガ吾々ノ考デアリマス、又全國民ノ六割ヲ占ムルノ農民デアアル、亞米利加ナドノ景氣、不景氣ノ有様ヲ見マシテモ、農村ノ景氣ガ好クナレバ、必ズ商工業ノ景氣ガ好クナルノデアアル、農村ガ不景氣ニナレバ、商工業ノ景氣ガ惡クナル、即チ農村ト商工業トノ共存共榮、是ハ最モ明ニ亞米利加ノ經濟市場ニ現ハレテ居ル事實デアリマス、吾々政友會ハ社會ノ有ユル階級トの間ニ共存共榮ノ實ヲ舉ゲシメ、相互扶助ノ精神ニ基イテ、西洋人ノ所謂「ソシアリズム」ヲ「テ」ノ爲ニモ、今日ノ場合他ノ商工業ノ稅率ヲ高クシヤウ、十數年ニ一回關稅ノ改

正ヲ實行セントスル際ニ、獨リ商工業ニ厚クシテ、農民階級ヲ忘レ去ルガ如キハ、吾々ノ精神ニ非ズト斯様ニ考ヘルノデアリマス、尙ホ此點ニ付キマシテハ、長田君其他ヨリモ御話ノアルコト、思ヒマスカラ、農産物ニ對シテハ是ダケニ止メテ置キマス、次ニ製造工業品ニ對シ、如何ナル趣旨ヲ以テ修正ヲ試ミタカト申シマス、是ハ政府ニ於カレマシテモ相當考慮セラレタ、相當ノ事ハ出來テ居ルノデアリマス、唯、種々ノ點ニ付テ少シク不滿ノ點ガアリマスルカラ、或ハ之ヲ高クシ、或ハ之ヲ低ク致シテ修正ヲ試ミタカトデアリマス、二三ノ例ヲ申上ゲルナラバ、例ヘバ酸化「コバルト」ノ如キ、吾々ハ之ヲ無稅ニ致シタノデアアル、是ハ憲政會諸君ノ委員ノ方ニモ、大分無稅論ヲ主張ナサル御方モアツタガ、其御議論ヲ吾々ハ適當ト認メテ是ハ無稅ニ致シマシタ、詰リ是ハ未ダ日本ニ成立シテ居ナイノデアリマス、一度興ツタケレドモ、到底經營困難デアツテ今日ハ止メテ居ル、苟モ吾々ハ保護ヲヤラントスルニハ、幼稚ナ産業デアアルカラ保護ヲスルカ、或ハ他日稚イモノニナルダラウガ、今日ハ甚ダ幼稚デアアルカラト云フ、即チ教育ノ考ヲ以テ保護ヲ致スノデアリマス、未ダ生レヌ先カラ保護制度ヲ設ケテ置イテ、サア出テ來イト云フハ保護ノ境ヲ超越シタモノト認メ、吾々ハ酸化「コバルト」ノ如キハ、之ヲ無稅ニ致シタノデアリマス、次デハ綿絲デアリマス、綿絲ハ今日ニ於テハ我國デハ最早十分立派ナル産業トシテ成立致シテ居ルノデアアル、前議會ニ於キマシテモ憲政會ノ諸君、吾々及ビ革新俱樂部ノ諸君ト一緒ニナッテ、綿絲ニ對シテ關稅ヲ免除スベシト云フ法律案ヲ通過致シテ居ルノデアアル、此精神ニ鑑ミテ、吾々ハ此際此關稅ヲ全廢スベシト云フ修正ヲ加ヘタノデアリマス、次ハ毛織物デアリマス、毛織物ハ日本ノ産業トシテ、又軍事上ノ必要カラ申シマシテモ、其發達ヲ期セナケレバナラヌ、政府ハ之ニ對シ餘程保證ノ度ヲ高メラレタノデアリマス、其精神ハ贊成致シマスケレドモ、此中デ地ノ

極メテ厚イモノ、即チ一平方メートルニ付キ五百グラム以下ノ、極メテ地ノ厚イ洋服地ハ、所謂庶民階級ノ洋服地ニナルノデアリマスカラ、斯様ナル點ハ、吾々ハ政府ノ社會政策ノ意味如何ト云フコトモ考慮致シ、斯ノ如キ厚地ノ値ノ非常ニ安イモノ、斯様ナル洋服地ニ對シマシテハ、稅率ヲ著シク低減シタノデアリマス、次ハ新聞雜誌用ノ紙ノ原料「パルプ」デアル「パルプ」ノ中ノ新聞雜誌ノ原料ニ使フモノ、文化事業ノ上ニモ大ナル影響アリト認メテ、其原料「パルプ」ニ對シテハ、之ヲ無稅ニ致シタノデアリマス、印刷用紙ノ如キ、殊ニ筆記用紙、圖書用紙、包裝用紙、斯ノ如キ物モ亦皆社會政策ノ趣意、文化事業ニ相關係アリト認メテ、總テ是等ノ物ニ對シテ吾々ハ等シク稅率ヲ減ジタノデアリマス、次ハ木材デアリマス、木材ノ我國ニ一年ニ輸入サレル額ハ實ニ一億三千萬圓、之ニ對シテ從來政府ハ非常ニ安イ五分ノ稅ヲ課シ、然ラズンバ之ヲ無稅ニ致シテ居ル、其木材ノ中ニハ隨分高價ナルモノモ多イ「マホガニー」或ハ「ホウエイシダー」等ハ、寧ろ替澤品トシテ用キラレルモノデアリマス、一面ニ替澤品關稅ニ於テ、紫檀、黑檀ノ如キモノニ對シテ居ル、斯ウ云フ例ニモ鑑ミ、之ニ近イモノデアリマスカラ、斯ノ如キモノ、稅率ヲ高ク致シタノデアリマス、又非常ニ大キナ材木ハ、日本ニ於テハ到底出來ナイ大キナ材木ハ、之ヲ無稅ト致シマシタケレドモ、所謂小丸太其他小サナ材木、斯様ナモノハ十年、十五年、二十年ノ歲月ヲ經レバ日本ニ於テモ之ヲ生産スルコト困難ナラズト認メ、植林業獎勵ノ趣意ヲ以テ、斯様ナモノハ無稅ニ致シ、然ラザルモノハ其稅率ヲ高ク致シタノデアリマス、先ヅ大體製造工業品ニ付テハ左様ナル次第デアリマスカ、特ニ一言致サザルヲ得ナイノハ即チ鐵ノ問題デアル、製鐵事業ハ有ル産業ノ根本ヲ成ス、或ハ造船事業、鐵道事業、船舶事業、或ハ建築事業、有ル工業ノ基礎ヲ成スモノハ實ニ製鐵事業デアリマス、一國ニ於ケル産業ノ發達シテ居ルカドウカト云

フコトハ、實ニ其國ノ製鐵事業ニ依テ之ヲト知スルコト出來ル如キ有様デアアル、況ヤ一旦緩急アレバ一國ノ運命ハ實ニ此製鐵事業ニ依テテ左右セラレルト申シテモ差支ナイノデアリマス(拍手)此間ノ歐羅巴ノ大戰争ノ有様ヲ見マスト、トウデアアルカ、アノ大戰争ニ參加シタ英、米、獨、佛、諸國ノ兵隊ハ、一年間ニ約四噸ノ鋼鐵ヲ使ヒタト云フコトヲ、日本ノ或ル學者ガ計算致シタノデアリマスガ、實際ハ日本ノ兵器ハ左様ニ進ンデ居リマセヌカラ、左様ニ多額ノ鋼鐵ヲ使用スルコトハ出來ナイカモ知レマセヌ、免ニ角、アノ大戰争ノ關係等ヲ考ヘテ見テモ、製鐵事業ノ一番盛ンデアツタ國ガ、一番強イノデアリマス、獨逸ガ歐羅巴ノ一番製鐵事業ガ盛ン強カク、此獨逸ヲ佛蘭西モ、伊太利モ、英吉利モ、抑ヘ付ケルコト出來マセヌケレドモ、最後ニ亞米利加合衆國ガ出テ行シテ、獨逸ニ對シテ止メヲ刺シタ、止メヲ刺シテ亞米利加ハ獨逸以上ニ、全ク世界第一ニ鐵ノ生産ガ進ンデ居ツタデアアル、斯様ニ重要ナ産業デアリマスカラ、官民共ニ注意ヲ拂ツタノデアリマシテハ、我國ニ於テモ昔ヨリ此業ニ對シマス、日清戰爭後間モナク其價金ノ一部分ヲ以テ、政府ハ例ノ八幡ノ製鐵所ヲ始メ漸次擴張致シテ、今日ニ於キマシテハ政府ニ於テ投ジタル金ハ、一億數千萬圓ニ達シテ居ル、又戰爭中ニ鐵ノ需要ガ非常ニ多クカタ爲ニ、鐵ノ事業ガ國內ニ勃興シ、大正十二三年頃ニハ製鐵事業ノ爲ニ日本ノ國內ニ投セラレタ官民兩方ノ資本額ハ、四億六千萬圓ヲ越シテ居ルノデアリマス、所ガ是ガ歐洲戰爭後、歐洲ノ一歐米ノ競争ニ遇テ、或ハ破産ニ傾スルモノアリ、然ラザルモノハ經營頗ル困難デアアル、何トカシテ此問題ヲ解決シナケレバイカヌト云フノ出來マシタモノガ、今日マデニツアル、即チ原内閣時代ニ出來タ財政經濟調査會ノ一部分トシテ、鐵ノ事業ヲ調査セシメタモノ、ソレカラニ派立内閣ノ當時高橋農務大臣ガ主トナツテ此問題ヲ研究セラレ、朝野ノ斯界ノ「オーソリテイ」ヲ

集メテ製鐵鋼調査會ト云フモノヲ組織セシメタノデアリマス、其答申ハドウデアアルカ、色々ノ點ノ意見モアリマシタガ歸スル所ハ我國ニ於テハ製鐵事業ノ更ニ基礎ニナリマスル所ノ鐵鋼ニ對シテ、約一割ノ稅ヲ掛ケテ賣ハナケレバナラヌト云フノガ原内閣時代、財政經濟調査會ノ議論ノ一致シタル所デアアル、又高橋農務大臣時代ニ出來マシタ製鐵鋼調査會ニ於キマシテモ、輸入ナラヌト云フ答申ヲ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ答申ニ鑑ミラレテ、鐵鋼ニ對シテ相當ノ關稅ヲ掛ケナケレバナラヌト云フコトハ、我國ノ朝野ノ輿論ナリト申シテ差支ナイノデアリマス(拍手)サレバ今回片岡商工大臣ニ於ケラマシテモ、此關稅ノ審議ニ際シ、鐵鋼ニ課稅スル案ヲ立テラレテ、鐵鋼一噸ニ付キ七圓ノ稅ヲ掛ケラレテ、鋼鐵其他ノモノノ付テハ之ヲ標準トシテ稅率ヲ盛ラレテ、調査會ノ議ニ付セラレタノデアリマス、所ガ其研究ノ最中ニ印度方面ヨリノ反對運動ガアツタガ爲ニ、即チ今日日本ニ輸入セラル、鐵鋼ハ印度カラ大分這入テ來ル、其鐵鋼ニ日本ガ課稅スレバ、印度デハ日本カラ送ル綿絲ニ對シテ稅ヲ掛ケルト云フ運動ヲシテ騒イデ居ルト云フノガ元トナツテ、先ヅ外務大臣ノ腰ガ碎ケ、續イテ商工大臣モ折角ノ案ヲ抛テ、之ニ屈服シテシマウタト云フコトハ、返ヘス返ヘスモ殘念千萬ナリト申スヨリ外ナインデアアル、此鐵鋼課稅ノ初メノ案ヲ抛テ、商工大臣ハ關稅ヲ掛ケル代リニ其對案トシテ所謂製鐵事業ノ獎勵法ヲ改正シヤウ、其案ヲ提出セラレルト云フコトデアリマスカラ、吾々ハ商工大臣ガ鐵鋼ニ關稅ヲ掛ケナカク代リニ、製鐵獎勵案ヲ御出シナルト云フカラ、今日御出シニナルカ、明日御出シニナルカト、其獎勵法ノ出ルノヲ鶴首シテ待テ居タノデアリマスカ、遂ニ今日マデ御出シニナラナカク、是ニハ色々御都合モアリマセウ、今調査中ダ、隨テ案ヲ示スコト出來ナイカラ大體ノ趣旨ダケ御話申ス、斯様ニ趣意デ大體ノ趣意ハ吾々モ

承ツタノデアリマス、初メ是ハ秘密會デ御話ニナツタ、秘密會ニ關シタ問題ヲ私ハ此處ニ申上ダルトコトヲ好ミマセヌ、加藤委員長カラ先程之ニ御觸レニナツタコトモドウ云フモノデアラウカト考ヘルガ、委員長ガ既ニ範ヲ御示シニナツタ以上ハ、差支ナイダケハ宜カラウト思ヒマセヌ、此獎勵法ニ依ルト、鐵鋼ニ對シテ僅ニ三圓ノ保護ヲ與ヘル、政府デ關稅ヲ幾ラカ掛ケヤウト云フテ、七圓ノ案ヲ御出シニナツテ置キナガラ、今回獎勵法ヲ御出シニナツテ僅カ三圓ト云フコトデアツテハ、ドウ云フモノカ、左様ニ僅ナ獎勵金ニ依テ日本ノ製鐵ガ果シテ豫期ノ如ク發達スルコト出來ルカ、鋼鐵ニハモツト餘計ニ選ル、左様ナ精神デアリマスケレドモ、鐵鋼ニシテ特種物用其他ニ日本デ使ツテシマフ鐵鋼ハ約四十萬噸アリ、此四十萬噸ノ鐵鋼ニ對シテ僅ニ三圓ノ獎勵金デ果シテ其目的ヲ達シ得ルヤ否ヤ、甚ダ吾々ハ之ヲ危マナケレバナラヌデアリマス(拍手)又獎勵金デアレバ此獎勵金ノ利益ヲ受ケル者ハ僅ニ二三ノ大會社ニ止ルノデアリマス(拍手)規模ノ上ニモ相當ノ制限ガアリ、產出能力ノ上ニ相當ノ制限ガアリマス爲ニ、到底一般製鐵業者ガ此恩惠ニ浴スルコトハ不可能デアリマス、又諸外國デ關稅ニ依テ保護シテ居ル國ト、斯ノ如キ獎勵法ニ依テ獎勵シテ居ル國ト比較ベテ見マスト云フト、何處ノ國デモ關稅ノ上ニ自主權ヲ持テ居ルモノハ關稅ニ依テ之ヲ保護シテ居ル(拍年)獎勵法ナドニ依テ胡麻化シテ居ル所ハ、彼ノ英吉利ノ植民地加奈陀ガ、歐羅巴本國其他ニ對スル氣象カラ關稅ヲ高ク掛ケルコトハ出來ナイカラ、已ムヲ得ズ此様ナコトヲヤツテ居ル、何ヲ苦ンデ斯様ナ眞似ヲスル必要ガアリマセウ、又私共ハ只今申上ダマシタ關稅自主權ノ確立、斯様ナ點カラ申シマシテモ、今回此案ヲ抛ラレタト云フコトヲ甚ダ遺憾ニ思ハザルヲ得ナイノデアリマス、即チ日本ノ關稅權ハ明治初年ニ於テハ恰モ今日ノ支那同様、歐米先進國ヨリ關稅權ノ上ニ束縛ヲ加ヘラレテ、最初ハ僅ニ五分以上掛ケテハイ

ケナイ、ソレガ其後一割ニナリテ、ソレ以上掛ケルコトハ出來ナカッタデアリマス、漸ク日清戰爭、日露戰爭ヲ經テ茲ニ始メテ相務對等ノ通商條約ヲ締結スルコトガ出來ルヤウニナリ、併ナガラ四十二年、アノ當時ノ關稅改正ニ際シマシテモ、我が政府ハ英吉利方面ノ交渉ニ依リ、英吉利カラ入ッテ來ル鐵及ビ綿製品ニ對シテ若シク片務的ノ稅率ヲ協定シ、其代リ日本ヨリ英吉利ニ參リマス絹物等ニ關シ、今日マデノ如ク將來ニ於テモ英吉利ハ課稅セザルベシト云フ公約ヲ取リ、茲ニ再ビ片務的協定ヲ致シタノデアル、其當時今日關稅ノ委員長ヲシテ居ラレタ所ノ片岡君ノ如キハ大ニ憤慨シ、外務省ノ軟弱外交ヲ攻撃シ、外務大臣小村侯ハ英吉利ノ人氣ヲ恐レ、大金ヲ拂テ買取ッタモノノ氣ヲ云フ演說ヲシテ居ルコトハ、私共ノ尙ホ記憶ニ新ナル所デアリ、片岡君當年ノ意氣アリヤ否ヤ疑ハザルベシ、ナイノデアル、殊ニアノ當年今日トナリ比較スレバドウデアリマス、今回ハ英吉利カラ交渉ガアッタノデモ何デモナイ、又印度政府ハ我國ガ印度カラ輸入スル鐵鐵ニ稅ヲ課ケナケレバ、印度方面ニ日本カラ輸出スル綿製品ニ稅ヲ課ケナイト云フ言質ガアッタ譯デモ何デモナイ、唯、印度ガ騒イデ居ル、厄介デアル、オンカナイト云フノデ外務大臣ハ先ヅ逃足ヲ張ラレタト云フコトハ、何タル醜態デアルト謂ハナケレバナラス、支那ハ今日デモ關稅ノ自主權ノ上ニ束縛ヲ加ヘラレ、之ニ憤慨シ、最近關稅ノ改正ヲ企テラレタ、近キ將來ニ或程度マデ成功ヲ見ルニ至ラント云フコトハ、私共新聞デ承知スル所デアル、其支那ノ外交家ニ對シ、日本ノ外務當局ハ遜色ナキヤ否ヤ、疑ハザルヲ得ナイノデアリマス(拍手)支那ノ外交家ノ方ハ遙ニ腕ガ優テ居ルノデハナイカト吾々ハ疑ハザルヲ得ナイ、又今日既ニ此關稅ヲ擲ッテ獎勵法ヲ設ケルト云フコトハ、議會デモ討論セラレテ居ルガ、印度及英吉利ノ新聞雜誌等ハ慥ニ之ヲ轉載スルデアラウ、然ラバ日本ノ商工大臣ガ關稅ヲ課スルコトノ出來ナカッタ代リニ其獎勵法ヲ出シ、

事實ニ於テハ矢張或程度マデ印度ノ鐵鐵ヲ阻害スル考デアル、サウスレバ印度ナリ英吉利ノ政府ハ日本ノ遣方ハ所謂隱微シテ尻隱サズト謂フデアリマセウ、斯様ナコトヲヤルカラシテ、日本人ノ信用ガ世界ニ失墜スル原因ニモナルト吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)何ヲ苦シク左様ナ姑息ノ手段ヲ取ルカ、鐵鐵或ハ鋼鐵ノ課稅ニ對シテハ英米獨佛ノ先進國モ、實ニ眼ノ球ノ飛出ル程高イ關稅ヲ掛ケテ今日マデ保護シ來、タノデアル、亞米利加ハ七割五分ノ高イ稅ヲ鋼鐵ニ掛ケテ居ルノデアリマス、此際四割五割ハ普通ダ、斯ウ云フ高イ稅ヲ掛ケテ保護シテ、立派ナ一人前ノ男ニナレバ段々之ヲ下ゲテ來ルノデアリマス、關稅ニ依リテ鋼鐵事業ヲ保護スルト云フコトハ、世界ノ列強何處ノ國モ之ヲヤッテ來タノデアル、況ヤ鐵鐵ニ對シ僅カ一割前後ノ關稅ハ何デアリマス、之ヲ掛ケテ困ルト騒イデ居ル印度サヘ、最近ニ至ルマデ一割ノ關稅ヲ掛ケテ居タルノデアル、我國デモ此程度ノ關稅ヲ掛ケタルト云フニ何ノ憚ル所ガ、吾々ハ將ニ世界ノ公道ノ眞シ中ヲ正々堂々ト歩マナケレバナラスト云フコトヲ主張スルノデアアル(拍手)頭隱シテ尻隱サズ、左様ナコトハ吾々ハ甚ダ好マザル所、英人ノ言葉ニモ正直ハ最善ノ政策ナリト云フ、吾々ハ正直ニ大膽ニ、國家産業ノ發達ノ爲ニ、此關稅ノ常道ヲ進ムベシト云フコトヲ提唱シ、此意味ニ於テ鐵鐵ノ關稅ヲ初メ商工省デオ出しニナッタ一噸七圓ノ稅ヲ鐵鐵ニ對シ課稅スベク、之ヲ標準トシテ其他ノ鋼鐵ニ對シシノレ(稅率)上ゲタト云フヤウナ次第デアリマス(拍手)次ニ私ハ我黨ガ是ダケノ修正ヲ致シ、之ガ通過致シマスレバ、政府ノ收入ノ上ニドレ程増額ヲ見ルニ至ルカト云フコトヲ、簡單ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、ソレデ先ヅ政府ノ關稅改正ノ結果、増率ノ見積リヲナサレテ置ル、ソレニ對シテ果シテ當ヲ得テ居ルカドウカト云フコトヲ、簡單ニ御批評申サ、ルヲ得ナイノデアアル、政府ハ十五年度ニ於テ此改正ノ結果、七百五十萬圓、平年

度、即チ十六年度以後ニ於テハ千九百三十萬圓ノ增收、此計算ヲ立テ、居ラル、ノデアリマス、何ヲ基礎トシテ此計算ヲ御立テニナッタカト云ヘバ、其計算ノ基礎ハ大正十三年ノ輸入額デアリマス、之ヲ押ヘテ此所カラ出發致シテ居ルノデアリマス、而シテ政府ノ計算ニ依レバ、大正十三年度ハ震災ノ次ノ年デ、震災關係ノ品物デ無稅ニシタ物ガ大部這入シテ來テ居ルカラト云フノデ、其震災關係ノ無稅デ這入シテ來タ物ノ中デ、先ヅ三分ノ一ヲ差引イテ居ルノデアリマス、次ニハ大正十三年ハ特ニ一般ニ輸入ガ多イ年デアッタカラト云フノデ、其輸入ノ總額ノ中ヨリ一割五分ヲ差引イテ居ルノデアアル、私ハ十五年度ハ中途デアリマスカラ、十六年度ノ話ヲスルガ宜シイト思フ、又吾々ノ地租委員ニ件ヲ財源ハ十六年度以後ニ生ズル、先ヅ三分ノ一ヲ差引イテ、續イテ十六年度ノ地租カラ一割五分ヲ差引キ、サウシテ出來タ金額ノ中カラ更ニ增稅ヲヤッタカラ消費減ガアルダラウト云フノデ、消費減一割一分ヲ差引イテ、サウシテ其稅額、即チ一億九百九十六萬圓ニナル、是ニ對シテ現行稅其儘ニ課稅シテ居ッテ、十六年度ハ幾ラニナルカト云フト九千六百五十萬圓ニナル、其差引勘定ヲシテ、千九百三十餘萬圓ト云フノハ平年度ニ於ケル增收ナリト斯様ニ申レルノデアリマス、所デ果シテ當ヲ得テ居ルカ、之ヲ吟味致シテ見マスルト、十三年ヲ基礎ニ御取リニナッタノハ是ハ正シイ、相當デアルト考ヘテ居ル、其中ヨリ震災關係ノ三分ノ一ヲ御引キニナッタノモ、是亦宜シイ、然ルニ十三年度ノ輸入ハ特ニ輸入ノ多イ年デアッタカラト云フノデ、一割五分ヲ御引キニナッタノハ甚シイ御間違デアル、何故カト申セバ、政府ハ此稅收入ノ御計算ヲ爲サレテ居ルノハ十四年度、即チ昨年ノ輸入ノ總額ガマダ分ラヌ中デアリマシタカラ、十三年度ノ輸入額ヲ以テ特ニ輸入ノ多イ年ト御認メニナッタノハ無理モナイノデアアル、併ナガラ其十四年度ノ實績ガ舉ッテ見マスルト、輸入總額ハ實ニ十三年ニ比シテ一億二千萬圓

モ輸入ガ餘計ニ這入ッテ居ルノデアアル(拍手)然ラバ十三年ガ特ニ輸入ノ多ク、併ト、左様ニ申ス譯ニハ參ラヌノデアアル、併ナガラ確實性ヲ強クスル爲ニ一割五分ヲ御引キニナッタノハ無益デアルケレドモ、一割位引イテ居ルノハ寧ろ確實ヲ期スルニ當然カト思フ、更ニ政府ハ稅率ヲ増シタガ爲ニ、消費減ヲ一割一分ト見積ラレタノハ如何ナル基礎ニ據ルカ、此質問委員會ニ於テ致シテ見タノデアリマス、然ルニ政府ノ御答辯ハ稅率上ゲタカラ一割一分位ノ消費減ガアルダラウト云フ推測デアアル、斯様ナコトデアッテ何等基礎ガ無イノデアアル、ソレデ私ハ然ラバ四十二年ノ一般的改正ノ際ニ消費減ガドレ程アツカ、之ヲ調べテ見マスルト云フト、四十三年ニアレダケノ大改正ヲヤッタニ拘ラズ、輸入ハ少シモ減ジテ居ナイ、寧ろ年々増加致シテ居ル、數字ヲ以テ簡單ニ申上ゲレバ四十二年ノ輸入總額ハ四億六千四百萬圓、改正ヲヤッタ後ノ四十四年ハ五億一千三百萬圓、大正元年ハ六億一千八百萬圓、大正二年ハ七億二千九百萬圓、稅率上ゲテ改正シタニモ拘ラズ、年々歲々輸入額ガ却テ増加シテ居ル、國家ノ經濟ハ年々進歩致シマスルカラ、輸入モ或ル一定ノ歩合ヲ以テ年々増加スルコトハ、寧ろ是ハ當然ノ歸結ト申サ、ルヲ得ナイノデアアル(拍手)然ラバ今回ノ改正ニ依テ一割一分ナドニ消費減ヲ見タノハ、又甚ダ過大ナリト申サ、ルヲ得ナイノデアリマス、斯ノ如クニシテ、先ヅ十三年ガ多イト云フノデ一割五分ヲ減ジ、次デ消費減ヲ一割一分更ニ減ジタ、斯ウ減ジテシマヘバ一體全體政府ノ執ッテ基礎輸入額ハドノ位ニナルカト見マスルト云フト、二十億圓ヲ下ルコトニナル、ドウデス、昨年ニ於テ我國ノ輸入二十五億、本年再來年、政府ノ所謂平年度ニ於テ日本ノ輸入ガ激減シテ、二十億以下ヲ割ラウナド、云フコトハ、常識ヲ以テ判斷スルコトガ出來ナイ事實デアアル(拍手)斯様ナル計算ヲシテ居レバ、政府ノ歲入ハ千九百三十萬圓ナド、云フコトニ現ハレテ來ルノデアリマスケレドモ、吾々ハ相

當ノ計算——常識ヲ以テ合理的ニ計算ヲシテ見テ、即チ十三年ヲ基礎ニ押ヘテ震災關係ノ三分ノ一ヲ減ジ、其中ヨリ一割ヲ減ジ、更ニ消費減トシテ五分位ヲ減ズルトドウナル、五分ヲ減ジテ出來タモノカラ政府ノ所謂基礎數字、改正ノナイ時ノ數字ヲ引イテ見マスルト云フト、實ニ政府ノ原案ノ儘デ三千三百三十五萬圓ト云フ増收ニナルノデアル、五分デハ一寸消費減ガ少ナイカラト思ヒマシテ、更ニ之ヲ八分ニ消費減ヲ見積ッテ計算致シマス、其結果ハドウデアルカ、八分ノ消費減ヲ見テ計算致シマス、實ニ二千九百九十九萬圓ニナル、政府ガ是ダケノ増收デアルト申シ居ルモノヨリ、ドウシテモ是ハ千萬元位餘計ニナルノデア

僅カ一億内外ノ關稅シカ舉ゲテ居ナイノデア、英吉利ハ輸入額ニ於テ日本ノ四倍デア、ルケレドモ、其關稅額ニ於テハ日本ノ十二三倍餘計英吉利ハ之ヲ舉ゲテ居ル、而モ英吉利ハ世界中有名ナル自由貿易國デ、何人モ英吉利ハ關稅ニ依リテ國民ノ生活ヲ脅威スルナド、云フモノハ世界中ニ誰モナイノデア、何故ニ斯ノ如キ大ナル違ヒガ生ジテ來ルカ、是ハ日本國民ガ關稅ト云フモノノ運用ガ拙劣デア、政府當局ノ關稅率ニ對スル此配合配分ガ甚ダ拙劣デア、其結果ナリト私ハ申サザルヲ得ナイノデア、(拍手)又先年英吉利ノ議會ニ於テ有名ナル「グラドストーン」ガ關稅ノ改正案ヲ提出致シタル時ニ、上下兩院ニ於テ議員ノ質問ニ對シ、起テ自ラ答ヘタルコト實ニ六百八十餘回、斯様ナル記錄ガ殘テ居ル、今回改正案ヲ御出シニナッテ、今日初メ總理大臣ガ此處ニ來テ一回御答辯ニナッテ、濱口大藏大臣ハ三日或ハ四日御答辯ニナッテ、デアリマスルケレドモ、關稅委員會ハ前後十日間許リ休ンデ、唯一人床次總裁ノ跡バカリ大藏大臣ハ追駈ケテ(拍手)此英吉利ノ政治家ト日本ノ政治家トノ間ニ斯バカリノ違ヒアルコトヲ感ゼザルヲ得ナイノデア、

程ノ後ニ於テ重要ナル決議案ノ上程モアルヤウデアリマスカラ、特ニ御遠慮申上ゲテ、唯、特ニ政府ニ對シテ二質疑ノ機會ヲ與ヘラレシコトヲ御願申シマス、(質問)カ「下呼フ者アリ」質問デアリマス、私ハ特ニ此機會ニ陸軍大臣及外務大臣ニ御尋致シタイト存ジマス、染料ニ關係ノ事デアリマス、私ガ聞ク所ニ依リマスルト、日獨通商條約ノ改訂ノ交渉ガ染料輸入制限ノ爲ニ非常ニ惱ヲ來シテ居ルト云フコトデアリマスルカ、獨逸ノ主張スル所ハ關稅ニ依リテ日本ノ染料ヲ保護スルト云フコトニ付テ、獨逸ガ不利益ヲ招クノハ一般ノ事デア、ノダカラ、敢テ異議ハナイケレドモ、農商務省令第八號ニ依リテ獨逸染料ノ輸入ヲ制限セラレルト云フコトハ、獨逸ニ對シテ日本ガ差別待遇ヲスルト云フ事デア、此點ニ於テ日甚ダ不満足デア、ノダカラ、此點ニ於テ日本ノ考慮ヲ求メルト云フコトニ付テ大ニ交渉ガアルサウデアリマスルカ、果シテ左様ナリ獨逸ノ交渉ノ行儀ガアルノデア、若シウカ、其點ヲ伺ヒタイノデア、若シ又外務當局ハ此點ニ於テ日本ト獨逸ノ間ニ何カノ交渉ガアルトシテ如何ニ御考ニナッテ居ラレルカ、其點ヲ伺ヒタイノデア、

爲ニ染料ノ輸入制限ヲヤッテ居ルカ、併ナガラ人造絹絲工場及「セルロイド」工場ニ於テ、軍需動員令ヲ下シタナラバ、其目的ガ達スルト云フヤウナ、軍部當局ハ此制限解除ニ付テ御考ヘ爲サル所ノ御見解デアリマセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデア、

豆類、木材、鐵、斯様ナ我黨主張ノ如キ修正ヲ致シテ稅額ヲ計算致シテ見マス、ト云フト、ドウシテモ政府ガ計算致シマシタモノ、上ニ、千四百萬圓前後ノ増收ハ可能ナル計算ガ生ジテ參ル、大ニ確實ニ見積ッテモ千三四百萬圓ノ増收ヲ得ルコトハ疑ナ

其政黨ガ黨議ニ依リテ決シタル所ノモノヲ政府ヨリ一度之ヲ睨ミ付ケラレバ忽チ之ヲ撤回シ、首ヲ垂レ尾ヲ振りテ政府ノ前ニ如クニシテ國民ノ期待ニ副フテ居ルト諸君ハ御考ニナルコトウカ、此改正案等ノ討論ニ對シ、私ハ感慨ノ深キモノナカラザルヲ得ナイノデア、一言諸君ノ反省ヲ促ス次第デアリマス、(拍手)

日本ノ染料工業ノ保護ノ主ナル點ハ一朝有事ノ際ニ毒瓦斯及爆藥ノ製出スル爲ニ、染料工業ノ工場ヲ保護スル必要ノ爲ニ、特ニ日本ノ染料工業ノ保護スル必要ノ爲ニ、ニ必要ト云フコトカラ考ヘマスルナラバ、「セルロイド」工場又ハ人造絹絲工場ニ於テモ、此目的ヲ十分ニ達スルコトガ出來ルサウデアリマス、殊ニ人造絹絲工場及「セルロイド」工場ハ、此目的ノ達成ノ爲ニハ、ヨリ以上好都合デアルト云フコトデアリマス、工場ノ設備ニ於キマシテモ、其技術者ヲ利用スル點カラ云ヒマシテモ、遠ニ染料工場ヲ使用スルヨリモ、ヨリ以上デアルト云フコトデアリマス、單ニ國防上ノ點ダケハテナイトハ存ジマスルケレドモ、國防上ノ重要ナル見地カラ、染料工業ノ保護ノ

日獨兩國ノ通商關係ガ多少偏務ノニナッテ居リマシタ、雙務ノニスル精神デ今改締ノ途中ニアル次第デゴザイマス、此度ノ改締ニ於キマシテハ、從來ノ日獨兩國ノ通商關係全般ニ互フテ、常ニ條約關係ヲ改良シテ居ル次第デゴザイマス、總テノ問題ニ付キマシテハ、マダ兩國ノ交渉ガ完了シテ居リマセウカ、今箇々ノ商品ニ付テ如何ナル經過ニアルカト云フコトヲ楚ニ申上ゲル自由ヲ持タナイノデア、併ナガラ何處マデモ雙務ノノ精神デ、兩國ノ利益ヲ十分ニ尊重シテ、兩國ニ取テ有利ナル條約ヲ締結シタイト思ヒマシテ、今日最善ノ努力ヲ致シテ居ル次第デゴザイマス、是デ御諒水ヲ願ヒタイト思ヒマス

トハ是ハドウシテモナイノデア、(拍手)即チ我黨ガ前ニ地租委議ノ財源ハ關稅ノ増收ニ依リテ、此額ハ四千萬圓ト計算シタモノ、最モ正確ノ數字デアルト云フコトヲ申シテ差支ナイノデア、(拍手)此關稅ノ收入ヲ申上ゲタ機會ニ私ハ英吉利ノ關稅收入ノコトヲ一寸一言御參考ニ申シテ置キタイ、英吉利ハ近年約百億ノ輸入ガアリマス、百億ノ輸入ニ對シテ英吉利ハハ程ノ關稅ヲ舉ゲテ居ルカト云フト、近年ニ於テ十二億乃至十三億ノ關稅ヲ舉ゲテ居ル、日本ハ昨年ノ輸入額二十五億、二十五億ノ輸入ニ對シテ

○副議長(小泉又次郎君) 本案ニ對シ質疑ノ通告ガアリマス、鷺野米太郎君

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ質疑ハ終局セラレマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、通告ノ順序ニ依リ其發言ヲ許シマス——紫安新九郎君

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ質疑ハ終局セラレマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、通告ノ順序ニ依リ其發言ヲ許シマス——紫安新九郎君

○副議長(小泉又次郎君) 作問君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ質疑ハ終局セラレマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、通告ノ順序ニ依リ其發言ヲ許シマス——紫安新九郎君

○副議長(小泉又次郎君) 御異議ナイト認メマス、仍テ質疑ハ終局セラレマシタ、是ヨリ討論ニ移リマス、通告ノ順序ニ依リ其發言ヲ許シマス——紫安新九郎君

輕蔑スル(拍手)全國三千有餘方ノ農民ヲ侮辱スルヤウナ言葉ハ、私ハ斷ジテ聽捨テニ相成ラヌト信ズルノデアアル、斯ノ如ク農民、農村ト云フモノガ、如何ニ國家ニ大ナル關係ガアリ、重要性ヲ帯ビテ居ルカト云フコトハ、私ノ申迄モナイ所デアアル、我國ノ貿易關係ニ於テモ、農民ナカリセバ——農村ナカリセバ如何ニシテ此「バランス」ヲ保ツコトガ出來ルカ、而シテ一旦緩急アレバ、義勇公ニ奉ジ、以テ國家ヲ一身ニ荷テ戰フモノハ多數ノ農民デハナイカ、大阪アタリノ一部分ノ贅六ニ何ガ働キガ出來ルカト、斯ウ私ハ考ヘテ居ル、況ヤ斯ル農民ヲ侮辱スルヤウナ言辭ヲ弄シテ、恬トシテ恥ヂナイ、而モ憲政會ノ大部分ノ人ガソレヲ是認スルヤウナ態度ヲ以テ、如何ニシテ俺ハ農村ノ味方ナリト云フコトガ何處ニ出來ルカ(拍手)ソノノ考ヲ持ッテ居ルカ、諸君ノ言フ所ノモノハ支離滅裂ヲ極メテ居ル、或ハ農村振興ノ爲メ地租ノ一分減ヲヤルコトカ、或ハ在野時代ニハ多年地租ノ二分減ヲヤルコトカ唱ヘテ居タ、ソレヲ忽チ弊履ノ如ク棄テ去ッテ一向平氣デ居ル……

〔ソレハ議事ノ妨害ダ〕ト呼ヒ其他發言スル者多シ

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス ○高橋熊次郎君(續) 而シテ是ガ政局ノ圓滿ヲ圖ル爲デアアル、斯様ナコトヲ言フテ胡麻化シ去ッテ居ル、要スルニ諸君ハ農村ト云フモノヲ侮蔑シテ居ル、頭カラ諸君ハ都會中心主義デアリ、商工偏重主義テアッテ、農村ノ利害ナド眼中ニ無イト云フコトガ、之ニ依ッテモ證明出來ルヂヤナイカ(拍手) 斯ル演壇ニ立テ國民ノ前デ臆面モナク、斯カル暴言ヲ吐カレ、而モ諸君ハ常ニ議場ノ神聖ヲ口ニセラレ、本員ガ唯、當然許スベカラザルコト、吾々ハ是ハ不正ナル事デアアル、忌ムベキ事デアアルト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル、ソレニモ拘ラズ其言辭ヲ擱ヘマシテ、議會ノ神聖ヲ瀆スナド、懲罰委員ナドニ付シテ居ル、而シテ諸君ガ全國ノ三千有餘萬ノ此農民ヲ侮辱サレテ、恬トシテ顧ミザルハ何事デアアルカ、斯ル如キ論議ヲ爲

スハ、即チ農民ヲ侮辱シ、隨テ此議會ノ言論ヲ瀆スモノデヤナイカ、即チ此議會ノ神聖ヲ瀆スモノナリト私ハ認メル、ソレデ吾吾ハ徒ニ同士ヲ懲罰ニ附スルノ何ノト云フヤウナ、ソノナ大人氣ナイコトハ言ハヌケレドモ、ソレハ紫安君ノ如キ賢明ナル人デ、憲政會總務ノ重職ニアリ、而シテ政治ニモ慣レテ居ラレル方デアアル、同氏ガ此ノ舉ニ出デラレタルハ是ハ千慮ノ一失デアアルト私ハ考ヘルノデアアル、即チソレハ全國農民ノ名譽ヲ重シテ、而シテ諸君ガ眞ニ農民ヲ重シ農氏ノ爲ニ圖ル所ガアルト云フコトヲ思ウテ居ラレルナラバ、速ニ此言葉ヲ御取消アラシムコトヲ望ムデ此壇ヲ降ルノデアリマス——腹ガ空イテルカラ、此位ニシテ此壇ヲ降ル次第デアリマス

○副議長(小泉又次郎君) 長田桃藏君

〔此時紫安新九郎君發言ヲ求ム〕

○副議長(小泉又次郎君) 紫安君何デスカ

○副議長(小泉又次郎君) 簡單ナラバ自席デ許可致シマス

○紫安新九郎君 只今私ノ演說中ニ、色々彌次ヲ飛バサレタ方ガアリマシタガ、高橋君モ少々穩カナラヌ彌次ヲ飛バサレタト思、タモノデアアルカラ、私ハ圖ラズモ高橋君ニ對シテ或ハ失禮ニ涉ルガ如キ言辭ヲ發シタカモ分リマセヌ、ソレハ茲ニ私ハ取消シマス(拍手)

〔此時高橋熊次郎君發言ヲ求ム〕

○副議長(小泉又次郎君) 高橋君何デスカ

○高橋熊次郎君 只今紫安君ガ御取消ニナタト云フコトハ、洵ニ紳士ノ立派ナ政治家ノ態度デアリマス、併ナガラ私ハ、私ヲ侮辱シタト申上ゲタノデアリ、農民ヲ侮辱シタト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、其點ヲ申上ゲテ全國農民ノ名譽ノ爲ニ多ト致シマス

○副議長(小泉又次郎君) 長田桃藏君

〔長田桃藏君發言〕

○長田桃藏君 諸君私ハ委員長報告ノ中デ、其主タル稅目改正ノ三點ニ對シテハ同意ヲ致スノデアリマス、即チ我黨ノ修正案

ノ、其三點ト同一ノ稅盛ニナッテ居ルノデアリマス、而シテ其附帶條件ニ關係スル委員長ノ報告ニ對シテモ、私共ノ頭ハ直ニ之ニ反對スルト云フ意味ニハナラナイノデアリマス、唯、原案ノ中デ、此三者ヲ選ンデ修正ヲシテ、殘餘ハ希望條件附デ、此原案ニ贊成ヲスルト云フ、其全般ニ對シテ反對ノ意ヲ申上ゲルノデアリマス、就中、私共ハ政友會ノ提案中デ、特ニ私ノ分擔トナッテ居リマスル部分ハ、農産物ニ關係致ス部分デアリマス、此部分ニ對シマシテハ特ニ御了解ヲ願フテ置カネバナナイコトハ、吾等ガ過去數年ニ涉ッテ農産物ノ研究ヲシテ參リマシタルハ、嘗ニ政友會ノ同僚ノミデハナイノデアリマス、所謂農産物即チ日本國民ノ主要食糧品ニ對シテ、將來此食糧政策ヲ如何ニスルカ、又比年衰微シ行ク農村ノ狀態ニ鑑ミテ、之ヲ振興セシムル途ハ如何ニスベキカ、此二點ニ對シマシテハ政黨派ヲ離レテ、同憂ノ士相集ッテ實ハ協議シテ參ッタルデアリマス、隨テ私ガ茲ニ申上ゲンタル農産物ノ關稅引上ノ問題ニ對シマシテハ、假令茲ニ憲政會、或ハ本黨、其他ノ委員長ノ修正案ニ御贊成ノ方ト雖モ、農産物ノ關稅引上ニ對スル私共ノ意見ト必ズヤ同一ノ御感想、御意見ヲ御持チニナッテ居ルコトヲ信ジテ疑ヒマセヌノデアリマス、唯、政治ハ議論ヲ以テ進ム譯ニハ參ラナイ、洵ニ實際ノ問題デアリマスルガ爲ニ、其政治上ノ實際ニ當ッテハ、動、モスレバ吾々ノ考フル所ガ直ニ之ヲ政治ノ上ニ實際ニ行フコトノ出來ナイ種々ノ關係ガアル、其關係カラテ遂ニ今日ハ變ジテ希望條件附ノ所謂修正案トナリ、又吾々ハ理想一偏ニ、茲ニ全部ニ對シテ修正案ヲ提出スルヤウナコトニナッタルデアリマスルカラ、當ニ諸君ニ於カレテモ、此吾々ノ感想ヲ御聽取リ下サルノミナラズ、此演壇ヨリ消費者階級、生産者階級ノ有ユル國民ニ對シテ、農産物關稅引上ニ對スル觀念ハ、所謂議會ニ於ケル最大多數ノ希望デアッタト云フコトダケハ申上ゲタイノデアリマス、特ニ私共ノ考ヘテ居リマスルコトハ、此關稅引上

ニ臨ンデ農産物、即チ國民ノ生活ニ對シテ最モ必要ナル生活必需品、之ニ對シマシテハ關稅ヲ引上ゲラレルコトガ、即チ直ニ物價ノ騰貴ヲ來スト云フ考カラ、多クノ消費者階級ノ人々、或ハ上院ノ紳士諸君ノ間ニモ、反對ノ御考ヲ持ッテオキデニナルト云フコトヲ聞イテ居リマス、故ニ私共ハ少クトモ衆議院ニ於テハ政黨派ヲ超越シタ同憂ノ士相集ッテ、諸君ニ御諮リヲ申上ゲテ、吾々ノ立ッテ居ル所ノ其理論ニ誤リナシトスレバ、願クハ衆議院ハ一致ヲシテ上院ニ之ヲ差送ッテ、上院ト意見ヲ戰ハシテ、其歸趨ヲ定メルコトガ適當デアアルトマデ考ヘテ居ッタルデアリマス、其爲ニ私共ハ前段申上ゲタヤウナ、假令形ハ變ルトモ、農産物ノ關稅引上ニ對シテハ、吾々ノ同憂ノ士ノ間ニハ同一ノ觀念ヲ持ッテ居ルト云フコトヲ強ク茲ニ申上ゲテ置キタイ所以デアリマス、私共ハ此案ヲ委員會ニ於テ審議致シマシタルハ、前同僚ヨリ申上ゲマシタ如ク、又委員長ノ御報告ニナリマシタ如ク、四十餘日ヲ費シ、二十一回ノ委員會ヲ開キマシテ、洵ニ慎重審議ヲ致シタルデアリマス、其間常ニ委員ノ間ニモ、政黨觀念ヲ離レテ國民ノ利害、ソレヲ思フテ相一致シテ意見ノ歸趨ヲ定メヤウト云フコトデ、實ニ此委員會ハ、議會ノ氣分ガ洵ニ荒ビテ居ルニモ拘ラズ、關稅委員會ハ和氣洋々トシテ、各々其信ジ、各々其分擔スル點ニ向ッテ、十二分ニ意見ヲ交換サレタルデアリマス、而シテ私共ガ常ニ其委員會ニ臨ンデ感謝措ク能ハザル所ノモノハ、憲政會ノ諸君中ニモ、綿絲關稅或ハ染料、或ハ「コバルト」金液、其他特ニ專門ノ問題ニ對シテ政府委員ト間ニ論難數回ヲ重ネラレテ、親切丁寧ニ意見ノ交換ヲ爲サレ、國民ノ代表トシテ洵ニ吾々ガ何ッテ感謝措ク能ハザル程度マデ審議ヲ御進メニナッタルデアリマシタ、又本黨ノ諸君ニ於カセラレテモ、此點ニ對シテハ同一ニ非常ナル綿密ノ御審議ヲ下サイマシテ、私等ノ頭ニ於テモ非常ニ此點ニ對シテ感謝ヲ致シテ居ッタルヤウナ次第デアリマス、隨テ一度小委員會ガ始リマシテ、其小

委員會審議ニナル、前二何卒黨派ヲ超越シタ、國民ノ利害ニ立脚シタ一ノ成案ヲ得タイト云フ考カラ、大ニ御研究ニナリ、遂ニ私的會合トナツテ、黨派ヲ超越シテ各團體ノ委員カラ小委員ガ出テ、私的ニ一案ヲ作ラレタ、所謂意見ノ纏ル所デ一案ヲ作ラレタノガ大體ニ於テ我黨ノ修正案トナツテ居ル點デアリマシタ、私共之ヲ聞キマシテ必ズヤ此問題ニ對シテハ相當進歩シテ居ルコトヲ期待シ、深ク國民ノ爲ニモ喜ンデ居タノデアリマス、然ルニ吾々ガ此委員會ニ於テ當初ヨリ協議ヲ致シ、御互ノ委員ノ心中ニ於テハ、必ズ黨派ヲ超越シテ審議ヲ進メヤウト申シテ居タ氣分ガ、一朝ニシテ破壊サレマシテ遂ニ議決ニナリマス其利那ニハ、此處ニ現レマシタヤウニ、政友會ノ案ト他ノ委員長御報告ノ案トノ分難ヲ見ルニ至ツテ、當初期待シタコトヲ裏切タト云フコトハ、如何ニモ私ハ残念ニ存ズルノデアリマス、私共ハ委員會ニ於テモ大略私共ノ感想ヲ申上デテ置イタノデアリマスガ、私共ハ第一ニ於キマシテ數日ニ互テ御審議ニナリマシテ、吾々ガ満足致シテ居リ、又國民モ新聞紙ヲ通ジテ大ニ満足ヲ表シテ居タト云フ、所謂審議ガ十分ニ出來テ居ルト云フ點ニ對シテマデ、之ヲ衆議院以外ノ所謂行政機關ノ關係ニ於テ常設委員會ヲ設ケテ、ソレニ附シテ再調サセル、サウシテ更ニ來ルベキ議會ニ之ヲ審議サセルト云フガ如キ、如何ニモ吾々ノ審議權ガ侮辱サレテ居ル、吾々ガ數日ニ互テ慎重審議ヲシテ、而モ心中デハ、是々ノ問題ニ對シテハ明ニ稅盛リノ改正ヲシヤウト期待シ、良心ノ發動トシテハ決シテ不詮議テハナイ、十分ニ審議ガ出來テ居ルト信ジテ居タ、我人共ニ左様ニ感ジテ居タモノヲ、其決定ヲスル時、討議ニ入ル刺那ニ於テ、自己ノ良心ヲ裏切ルガ如キ意味ヲ以テ（拍手）各黨派ノ間ニ互ニ違、夕案ヲ作成セナケレバナラヌト云フコトニナツタ、其心情ヲ有ノ儘ニ國民ノ前ニ披露シテ——斯ノ如クニナツト云フ、其真相ヲ有ノ儘ニ示スト云フコトガ、切メテ私ハ國民ニ對スル義務デ

ハナイカトマデ考ヘタノデアリマス（拍手）而モ委員會ノ其點ニ於ケル質問應答ハ、何等事ノ真相ニ觸レナイ、唯、願ミテ他ヲ言フノミ、或ハ議會政治ハ形式政治デアリマスルカラ、實際裏面ニ於ケル真相ハ國民ニ秘シテ置イテ、現ハレタル表面ノ事ノミヲ述ベテ置イタナラバ足レリトシタカモ知レマセヌガ、私ハ今日ノ衆議院ニ對スル國民ノ希望、待望スル所ヲ見マス、左様ナモノデアリナイ、議會ニ臨ンデ眞ニ眞劍味ヲ以テ議會ノ成行ヲ見テ居ルト私ハ考ヘマス（拍手）況ヤ關稅問題ノ如キ、直ニ自己ノ頭上ニ加ハル所ノ重大ナル利害問題ニ接シマシテハ、國民ハ吾々以上ニ眞劍ヲ以テ此問題ヲ見テ居ルコトハ明カナコトデアリマス（拍手）然ルニモ拘ラズ、最後ノ五分ニ臨ンデ、吾々ノ眞ニ考ヘテ居ル事柄ヲ高閣ニ束ネテ置イテ、唯、表面ニ現レタル事柄ヲ捉ヘテ、漫然トシテ國民ヲ瞞過シ去ラウト云フコトハ、私ハ是ハ衆議院ノ權威ニ對シテ國民ニ其信ヲ失フコトニナリハセスカト考ヘルノデアリマス（拍手）彼等ハ言ヒマセウ、議會ニ於ケル四十日ノ審査ハ、遂ニ一箇年ノ間ノ議會ヲ離レタル行政上ノ力ニ依テ現レタ所ノ關稅審議會ノ力ニ及バナインノデアラダラウ、議會ト云フモノハ遂ニ彼等同僚ノ間ニ自己ノ力ヲ捨テ、シマツテ、寧ロ立法院以外ノ行政機關ニ依テ委員會ヲ造ツテ、ソレニ調ベテ貰ヒタイト云フコトヲ委託シタ事ソレ自身ガ、衆議院其モノ、權威ヲ失フト云フコトヲ明白スルモノデハナイカト國民ハ言ヒハセヌカト思フ（拍手）斯ノ如クニシテ進ンデ參ツタナラバ、遂ニ恐ルベキ思想ガ國民ノ間ニ起リ、聽テハ議會否認ノ聲ヲ大ナラシメハセヌカト云フコトヲ俱レルノデアリマス（拍手）私ハ此點ニ對シテ痛切ニ此眞劍ナル問題ノ前ニ、斯ル一夜作リノ案ヲ作ラレタト云フコトヲ頗ル残念ニ考ヘルノデアリマス、就中私共ノ擔當致シテ居リマス問題トシテ、同僚同愛ノ諸君ト共ニ年來考ヘテ參リマシタ所ノ、此農産物中米ノ問題——此米及粉ノ問題ニ對シテ此委員會長ノ御報告、本黨ノ諸君及憲政會ノ吾

々ト同愛ノ先輩諸君ハ、之ヲ關稅ノ引上ニ待タズトモ、米穀法ノ運用ニ依テ價格ノ調節ハ出來、吾々ノ希望ヲ達成スルコトガ出來ルト云フ御考ニナラセラレタト云フコトデアリマスガ、私共ハ茲ニ斷言致シマス今日マデ過去數年ノ間、此同愛先輩諸君ト共ニ研究致シテ參、タノミ、吾々ハ未ダ會テ米穀法ノ運用ナルモノヲ忘レテ參、タノデハゴザイマセヌ、米穀法ノ運用ハ——吾々ノ希望ニ依テ、吾々同僚ノ努力ニ依テ、米穀法ハ生レタノデアリマス、生レル時カラ此米穀法ノ運用ト云フコトハ當然アリ得ルコトナリト云フコトハ計算ニ入レテ居ル——計算ニ入レテ、ソレノ上ニ尙ホ足ラズトシテ、米穀ノ問題ニ對シテハ關稅引上ヲシナケレバナラヌト云フコトヲ協議シタ、而モ決定致シタノデアリマス、然ルニ一夜ニシテ何者ノ説得デアリマス、關稅引上ト云フモノニ依テ、早速大臣ノ説明ノ通り、暴騰暴落ヲ防グコトガ出來ルノデアルカラ、之ニ任シ宜シイ、斯様ナ水臭イ淡キコト水ノ如キ言葉ノ下ニ説服セラレテ、然ラバ關稅稅率ノ引上ハ止メセウト云フガ如キ、簡單ナル考ヲ以テ出發シタノデアラゴザイマセヌ（拍手）私ハ斯様ナコトヲ國民ガ聽キ、又農村ノ方ニガ聽カレタ時ニ、吾々農村問題ニ對シテ多年研究シテ居ル者ノ頭ガ、ドウカシタノデハナイカト云フコトヲ笑フダラウト考ヘテ居リマス（拍手）私共ハ斷言致シマス、私共ハ此米穀法ノ運用ト云フコトハ、所謂其市價ノ暴騰暴落ヲ防イデ、消費者階級ハ勿論、延イテ生産階級ニマデ所謂時價ノ平調ヲ保タシメヤウト云フ爲ニ起タモノデアリマス、併ナガラ米穀法ノ中ニ最初ノ出發點ヲ見ルト、所謂市價ノ標準ニスルコトニナツテ居タノヲ、ソレヲ除カレテ、遂ニ貴族院ヨリ衆議院ニ廻リ、市價ノ調節ナルモノハ省カレテシマツタノデ、數年ノ經驗ニ依テ遂ニ昨年市價ノ調節ナルモノヲ入レタ時ニ、サナキダニ強カリシ上院ノ反對モ、遂ニ時ノ經過ト共ニ滅ビテ、之ニ贊成セラレタノデアリマス、然レドモ尙ホ吾々ガ毎年農林當局ニ迫、テ居リマス

所ノ米穀生産費ノ公表、大キク言ハバ農産物ノ價格——農産物ノ價格ヲ定メル爲ニ其生産費ヲ公表シロ、毎年其時々ニ於ケル所生産費ヲ公表シロト云フコトヲ迫、テ居ルケレドモ、今日ニ於テ尙ホ不可能ト爲シテ、是ガ公表ノ域ニ達シマセヌ、即チ生産費ト云フモノヲ土臺ニ置イテ、ソレカラ上ニ騰ル、非常ニ騰レバ暴騰トナリ、ソレヨリ非常ニ下レバ暴落ニナルノデアリマス、暴騰、暴落ト云フ言葉ヲ口ノ上カラ發シマスナラバ、早速大臣ノ説明ノ如何デモナイコトデアアル、暴騰暴落ニ對シテ米穀法ヲ運用シテ、物ノ平調ヲ圖ルコトハ容易ナ事デアリマス、併ナガラ其暴騰暴落ノ基準ハ何ニ據、テ見ルカ、眞逆早速農林大臣ト雖モ堂島ノ定期相場トカ、或ハ蠟殼町ノ定期相場ヲ以テ爲サラウトハ仰シヤリマスマイ、或ハ深川ノ正米相場、或ハ大阪ニ於ケル堂島ノ正米相場ト云フガ如キ、正米相場ヲ楯ニ暴騰暴落ト云フコトヲ御考ニナルモノ思ヒマスケレドモ、其正米相場ナルモノハ、定期ヲ離レテ正米相場ハ立タナイノデアリマス、正米相場ノ自身ハ定期ノ假定需要ニ依ツテ、常ニ相場ガ左右セラレルノデアリマス、故ニ米穀法ノ當時ニ於テモ、例ヘバ正米相場ガ立、テモ、定期ニ於ケル觀念ヲ離レテ立タナイカラ、是非共其年々ノ生産費ヲ公表セネバイカヌト云フコトヲ迫、タラウト考ヘテ居リマス、歷代ノ政府之ヲ實行スルコト能ハズ、遂ニ今日ニ至ツテ、尙且ツ生産費ヲ公表スルコトガ出來ナイノデアアル、私ハ此生産費ノ公表ト云フコトヲ考ヘズニ置イテ、只今先輩三輪君ノ御質問ニ對シテ政府ガ御答ニナツタ、其御答ニ依、テ三輪君ノ問ハント欲セラル、所ノ御言葉ノ中ノ真理ヲ、吾々ハ同ジヤウナ感ヲ以テ迎ヘテ來テ居ルノデ、其考カラ見ルト満足スルコトガ出來ナイノデアリマス、生産費其モノヲ土臺ニ置カズシテ、暴騰暴落ト云フ此言葉ヲ使、テ見テモ、私ハ無意味デアルト思フ、吾々吾々ガ無意味デアルト思フノミナラズ、國民ノ六割ヲ占メテ居ル所ノ農民ハ、必ズヤ此早速大臣ノ御言葉ヲ嘲笑ヲ以

テ迎ヘテ居ルグラウト私ハ考ヘテ居リマス
 (拍手)而モ此米穀法ヲ特ニ吾々ガ吟味致シ
 マシタ結果、其第二條ニ於テ、政府ハ必要
 ト見テ場合ニ於テハ勅令ヲ以テ期限ヲ定メ
 テ、其關稅ヲ増減又ハ免除スルコトヲ得ト
 規定シテ居ルノデアリマス、故ニ増減スル
 コトハ勿論出來ルノデアアルガ、増ト云ヒ減
 ト云ヒ、一定ノ基準ナクシテ増減ガ出來ル
 モノデハナイノデアリマス、故ニ米穀法ガ
 制定セラレテ數年ニナリ、歷代ノ政府ハ其
 法律ノ運用ヲ巧ニシヤウト考ヘテ居ラセモ、
 其基準トスル所ノモノガアリマセヌカラ、
 米穀會ア増ト云フコトヲシタコトガナイ、
 況ヤ所謂凶作ト見タ場合ニ、常ニ之ヲ減少
 若クハ免除スル歴史ガアルノミデアラセ、
 彼ノ米穀法ニ依テ關稅稅率ヲ増加シタト
 云フコトノ歴史ガ無イ、歴史ノ無イノハ何
 ノ爲カト云フト、所謂基準ガ無イカラデア
 リマス、私共ハ此法律ノ一部分ニ如何ナル
 改正ヲ施スベキカト云ヘバ、如何ニシテモ
 アノ法ヲ消カテ運用スルニハ、ドウシテモ
 生産費ヲ其年々公表スルノ外ハナイト私ハ
 考ヘテ居ルノデアリマス、而シテ更ニアノ
 米穀法ニ依テ米ノ關稅引上ノ目ノ為達シ、
 同一ノ效力ヲ發生シ得ルモノト云フ考ノ
 誤テ居ルコトハ、是亦本黨憲政會ノ吾々
 ノ同憂ノ先輩ト均シク考慮シテ居リマス通
 リ、所謂外米ノ問題ト同時ニ殖民地ノ産米
 増殖ノ問題ニ關係スルノデアリマス、ソレ
 ハ朝鮮ニ於キマシテモ大正九年ニ増殖計畫
 ガ行ハレ、其實行中、今又増殖増收計畫ガ
 發表セラレタノデアリマシテ、此御計畫ニ依
 ルト目的達成ノ時期ハ十五年先デアルト云
 フコトデアリマスケレドモ、徐々ニ其效果
 ヲ現ハスモノデアリマシテ、最後達成時期
 ニ於キマシテハ、八百萬石ノ増加ヲ圖ルト
 云フノデアリマス、而モ其目的トスル所ハ
 内地ノ食糧ヲ緩和スル爲ニ、内地ニ其朝鮮
 米ヲ送ルト云フコト、或ハ朝鮮民族ノ増殖
 ニ隨テ其食糧ヲ充實スル爲ニ之ヲスルノ
 デアル、又土木工事ヲ起スガ爲ニ土工ガ起
 ルカラ夫ヲ要スル、隨テ失業業者ニ對スル
 緩和ニモナル、或ハ朝鮮ノ經濟ヲ之ニ依テ

向上セシムルト云フガ如キ、種々ノ目的ガ
 アリマスケレドモ、要スルニ朝鮮民族ノ殖
 エテ參ルニ對抗スル所ノ其食糧ノ充實ト、
 内地ノ食糧不足ヲ補ハントスル所ノ二大目
 的ノ達成ニ外ナラヌト考ヘテ居リマス、而
 シテ私共ガ先輩ノ調査ヲシテ居リマス所ヲ
 拜見致シテ見マス、大正九年ニ朝鮮産米
 増殖ノ計畫ガアリマシタカラ、今日ニ至リ
 マス迄朝鮮民族ノ殖エルコトハ恰モ我が内
 地國民ノ年々七十萬以上ノ人ノ殖エルガ如
 キ率ヲ以テ矢張殖エテ居ルノデアリマス、
 而シテ米穀ノ増收モ之ニ依テ殖エテ居リマ
 スケレドモ、而モ尙ホ其朝鮮ノ民族ガ此朝
 鮮米ヲ食ベテ居ル所ノ一人當リノ率ハ、米
 穀増收ニ反對シテ減シテ居ルト云フ現象デ
 アリマス、即チ最近ノ例デ申シマス、
 大正十年ニハ朝鮮人ハ一年ニ一人當リ六斗
 六升ヲ食ベテ居リマシタモノガ、大正十一
 年ニハ六斗五升トナリ、大正十二年ニハ六
 斗二升、斯ウナツテ居リ、斯ノ如キ
 率ヲ以テ朝鮮民族ノ一箇年ノ消費率ガ
 減シテ居ルト云フコトハ、何ノ意味スルカ
 ト云ヘバ、是ハ朝鮮民族ガ殖エテ參ル、朝
 鮮米ヲ食糧トセシメテ雜穀ヲ食ベル數ガ殖
 エテ參ラ、或ハ其他ニ現ハレテ居ル所ノ外
 米、其他ノ力ニ依テ消費ヲ助ケテ居ルト云
 フ事實ガ明瞭ニ現ハレテ居ルノデアリマ
 ス、而モ朝鮮内地ノ人ノ食ベル消費率ガ減
 テ居ルノニ、朝鮮デ出來ル所ノ米ノ増率ハ
 非常ナカクテ殖エテ參ラ、十二年ニ於
 テハ千五百萬石、十三年ニ於テハ一、二、三、
 マシテ千三百萬石ト云フ數ヲ表シテ居リマ
 ス、サウスルト同時ニ恐ルベキ事ハ朝鮮ノ
 人ハ食ベル量ガ減タタケ食ヒ延シヨシテ
 居ルノデアリマスカラ、此殖エテ率ハ皆我
 ガ内地ニ入テ參ラテ居ルコトヲ語テ居リ
 マス、我々ハ四五年前ハ先ヅ朝鮮米ハ先ヅ
 我國ニ入ルノガ年額二百五十萬石ト云フ
 居ラノガ、昨年ニ於テハ約五百萬石ニ近
 イ米ガ入テ居ル、臺灣朝鮮ヲ通ジテ反對
 ニ外米ガ約百四十萬石入ラ、斯様ナ状態
 デ又反對ニ粟ノ滿洲ヨリ入ラテ居ル額ガ非
 常ニ殖エテ居リマス、ソレデ吾々ガ考ヘナ

ケレバナラヌ問題ガ到達シタ、朝鮮ノ米穀
 ノ増收、即チ内地米ノ品種ヲ朝鮮ニ移シテ
 作ラタハ殆ド内地米ト同一ニ改良サレテ
 居ル、此米ガ非常ナカクテ我が内地ニ
 入ラタ場合ニ於テハ、内地ノ米穀ノ市價ガ
 之ニ依テ壓迫ヲサレラグラウト云フ問題
 デアリマス、私ハ此問題ガ政府ガ説明セラ
 レタ増殖計畫ノ如ク、十五年先ニ行ヘテ八
 萬石位ノ増收シカ無イカラ、左程憂ヘルニ
 足ラヌト云フコトデアレバ、サウ神經ヲ惱
 ムル必要ガナイト考ヘマスケレドモ、而モ
 朝鮮人ガ一人當リ消費量ガ益減テ參ラ、
 彼等ハ雜穀ヲ食ヘルコトニナル、又一部ノ
 大キナ資本家、或ハ大キナ地主、又ハ商人
 等ガ朝鮮ニ參ラテ、外米ヲ左ノ手ニ持テ右
 ノ手ニ直ニ朝鮮ノ内地米ヲ引上テ、サウシテ
 之ヲ日本内地ヘ持テ參ル、若クハ大資本家
 ガ直ニ金ヲ朝鮮人ニ握ラセテ、直ニ朝鮮人
 ノ有スル所ノ米ヲ内地ニ引張ラセテ來ルト云
 フコトガアル得ルコトデアルト云フコトヲ
 想像シタ場合ニ、之ハ諸君何トシタラ宜イ
 ノデアリマセウカ、若シ關稅ヲ此儘ニシテ
 置イテ、或ハ粟、雜穀等ノ食糧ヲ朝鮮民族
 ニ強イテ置イテ、朝鮮ニ出來上ル米ノ大部
 分ヲ内地ニ齎シ來ス、紳士、大地主、或ハ
 相場師ガアツタ場合ニ、之ヲ此儘ニスルコト
 ハ穩當デアリマセウカ、私共ハ少クトモ此
 朝鮮米ノ壓迫ヲ考ヘテ見ル場合ニ、何トカ
 ノ決定ニ到ラズルノデアリマス(拍手)即チ
 私ノ考ヲ以テスルト、只今ノ臺灣ニ於テ内
 地ノ種米ヲ獎勵シテ作ラシテ居ル、其關係
 等カラ見テモ朝鮮、臺灣兩方面ヲ通ジテ一
 千萬石ノ米ガ内地ニ流入シテ參ル、移入シ
 テ參ルコトガ三年經タナイト考ヘル、恐ラ
 クハ三年經タズ一千万石ノ米ガ内地ニ入ラ
 平年作五千七百萬石位ノ收穫ノアル場合ニ
 於テ、一千万石入ラ、タナラバ直ニ生産過剩トナ
 ルノデアリマス、内地ノ消費量ハ六千六百九十
 萬石アレバ宜シイノデアリマス、直ニ之ニ依
 テ生産過剩ヲ來シ、内地ノ米價ノ壓迫サレ
 ルコトハ當然デアリマス、然ラバ吾々ガ何
 トカシナケレバナラヌト云フコトハ、政府ノ

言ハル、米穀法ノ實力デアリマス、此米穀
 法ノ實力ガ朝鮮内地ニモ、或ハ臺灣ニモ使
 ハレルト云フ效力ガアルナラバ、尙ホ吾々ハ
 我慢スルコトガ出來マスケレドモ、不幸ニ
 シテ米穀法ハ内地ニノミ其效力ヲ有スルモ
 ノデアラセ、決シテ朝鮮若クハ臺灣ノ如キ
 殖民地ニ其效力ヲ及シテ居ラヌノデアリマ
 ス、故ニ朝鮮ニ於テ外米ヲ引入レテ、所謂
 朝鮮ノ米ガ豐作デアル、豐作ノ場合ニ於テ
 紳士諸君ガ臺灣ニ、若クハ朝鮮ニ熱帯米ヲ
 安イ代價ヲ以テ引入レテ、此關稅ヲ以テ
 引入レテ、サウシテ朝鮮ノ安イ米ヲ買テ
 内地ニ入レルコトガ容易ニ出來ル、故ニ何
 トカ之ヲ保護シナケレバナラヌ、ソレノ力
 ガ無イノデアリマス、或ハ小山農林次官ハ
 此點ニ對シテ相當ノ保護スル途ガアルト云
 フコトヲ委員會デ御説明シタ、
 マス、私共ハソレニ多少ノ尊敬ヲ拂テ居
 リマシタノデアリマス、唯、法律ガ無イ
 ノミナラズ、朝鮮ニ存在スル所ノ法律ハ、
 丁度米穀法ノ第二條ニアリマス通りノ必
 要ナル場合ニ於ケル増減ト云フ「増」ノ字ガ
 除カレテ凶作ノ場合ニ於ケル所ノ減稅又ハ
 免除ト云フ意味ニ外ナラヌノデアリマス、
 少シモ此關係ニ於ケル救済ノ途ガ法律ニ
 依テ開カレテ居ラナイノデアリマス、先程
 三輪先輩ヨリ御質問ニナリマシタ第一點
 ハ、此點ニ對スル御質問デアリマシテ、政
 府ノ御答辯ヲ傾聽致シマシタ所ガ、總理大
 臣ノ御答ニ依リマス、第一ノ三輪君ノ
 御問ニ對シテハ、米穀法ノ運用ニ關シマシ
 テハ、單リ内地米ノミニ限ラナイコトニナ
 ルノデアリマシテ、此點ハ申上ダレ迄モナ
 イコトデアリマシテ、御答辯デアリマ
 ス、洵ニ是ハ總理大臣ノ御説明ノ如ク、申
 上ダレ迄モナイコトデアリマス、私共ハ斯
 様ニ御答辯ヲ以テ満足スルコトガ出來ナイ
 ノデ、ドウシテモ朝鮮ニ於テモ關稅ノ引上
 ガ當然出來ルヤウニ、何トカ法律ヲ以テ救
 濟スルノデナケレバ満足ガ出來ナイ、即チ
 此點ダケデモ朝鮮ニ效力ヲ及ボス所ノ此關
 稅定率法ヲ改正シテ、米穀ノ關稅ヲ一分引

上ゲテ置ク必要ガアルト認メタ點デアリマス、又此外米ノ問題ニ對シテ考ヘテ見マスト、申迄モナク同僚諸君ノ御承知ノ通り、熱帯米ニ對シテハマダ吾々ハ左程ニ感シナイ、熱帯米ノ需要先、若クハ熱帯米ノ價格等ヲ考ヘテ見ルト、熱帯米ハ如何ニシテモ其間ニ大ナル等差ヲ生ズルノハ、嗜好ノ上カラ當然起ルノデアリマスカラ、左程ニ考ヘナイ、併ナガラ温帯米ノ事ヲ一タビ考ヘルト、是ハ唯、幸ニシテ圓價ノ爲替相場ノ暴落ニ依リテ、温帯米即チ加州米ノ如キモノヲ買入レルニハ、相當高キ代價ヲ支拂ハナケレバナラヌト云フ結果ト相成リマスガ故ニ、今日迄ノ輸入關係ニ於テハ、サウ大ナル成績ヲ現シテ居ラナイ、即チ北米合衆國ヨリ十三年ニ這入タ米ハ、三百七十九萬圓位ニ止マルノデアリマスカラ、大ナル心配ハ無クシテモ、大藏大臣ノ御説明ノ如ク、近時非常ナル御盡力ノ結果、圓價ガ段々回復シテ參リ、免ニ角圓價ガ回復シテ參ルト云フコトヲ前提ニ置イテ考ヘマスト、所謂加州米ノ代價ノ前途ハ、ソレダケ安クナルト云フ結果ニナリマスカラ、必ズヤ圓價ガ理想ノ價格、即チ四十八圓乃至五十圓ト云フ程度迄回復スルコトヲ考ヘマスト、加州米モ適々トシテ輸入サレテ參ルコトハ明瞭ナル事實デアリマス、又昨年圓價ラズモ這入リマシタ所ノ「ニートン」米ハ如何デアリノヤウ、日本ノ内地米ト少シモ其質ニ於テ變テ居ラナイ「ニートン」米ハ、吾々が政府委員ニ御尋致シマス、其收穫ハ相當多額ニ上テ居ル、サリナガラ「ニートン」ヨリ内地ニ輸入スルニ臨ンデハ、熱帯地方ヲ經由セバナラヌガ故ニ、變質ヲ來ス虞ガアルノデ、昨年モ失敗ニ終ラノデアル、故ニ暫クハ「ニートン」米ノ輸入ヲ心配スルコトハ考フルニ及バヌト云フコトデアリマスケレドモ、私共ハ圓價ノ回復サレタ場合ヲ想像シテ、政府委員ノ御答辯ダケテ満足スルコトハ出來ナイノデアリマス、如何ニシテモ大陸出來ル米ダケアリ、又科學ノ進歩シテ居ル國ダケアツテ、熱帯地方ヲ越エルダケノ完全ナル設備ハ直ニ

爲シ得ルコトハ想像ニ餘リアルノデアアル、之ヲ考ヘマスト、温帯地方出來ル米ノ生産費ト、我國ノ米ノ生産費ヲ較ベレバ、莫大ノ差ガアル譯デアアル、其差ヲ關稅ニ依リテ調節セズシテ、此備掩テ置ケバ、内地ノ米價ハ壓迫セラル、コトハ火ヲ觀ルヨリ明カナル事實デアリマス(「ヒヤ」)「拍手」此等ノ點ヲ考ヘテ見マスト、米穀ノ問題、米及根ノ關稅引上ノ問題ヲ、米穀法ノ運用ノミニ俟ツトシテ此主張ヲ拋棄スルト云フ譯ニ、私共ハ斷然イカスト思フノデアリマス(「ヒヤ」)「拍手」此點ハ同僚ノ先輩ト考フ異ニスルコトヲ遺憾ニ思フノデアリマスケレドモ、私ハ左様ニ考ヘルノデアリマス、尙ホ私共ハ此關稅ノ引上ト云フコトニ對シテハ、是ハ私獨リデアリマスガ、斯様ナ心配ヲ致シテ居リマス、即チ茲ニハ小麥或ハ小麥粉、烏卵ト云フ如キ問題モ、此場合ニ吾々委員ノ力ヲ信賴セズ、尙ホ調査ノ餘地アリトシテ、寧ろ之ヲ院外ノ諸君ノ信據アル、委員會ニ託シテ、再調ノ上デ來年今一度此案ヲ出セト言フテ、此關稅定率法ヲ未決、所謂否決ヲシテ置クト云フノナラバ、是ハ私ハ餘地ガアツタト思フ、洵ニ面白イ遣方デアルト思ヒマスガ、關稅定率法ハ今ノ儘ニ確定シテ置イテ、而モ工藝品ノ中デ夥シキ議論ガアツタニモ拘ラズ、之ヲ此儘ニ置イテ、唯、米穀法ヲ：：此米穀ニ關係ノアル、即チ農産品中ノ主モノ物トシテ吾々ガ算ヘ來タ所ノ小麥、小麥粉若クハ食料品中ノ鶏卵ト云フモノダケヲ、是ダケノ物ヲ特ニ改正ヲシテ稅盛リヲ變ヘテ、之ヲ國民ノ前ニ出ス、又ハ之ヲ貴族院ニ廻ハスト云フコト自體ガ、吾々ハ消費者階級ノ方ニ對シテ、理性ヲ離レテ感情ノ上ニ如何ニモ何ダカ農村出身ノ代議士ノ橫暴デアルカノ如キ感想ヲ起シハシナイカト云フコトヲ憂フルノデアリマス(「ヒヤ」)「拍手」サナキダニ食糧品ノ問題ニ對シテハ、生産階級ハイヤガ上ニモ安キヲ希望シテ居ル、其場合ニ於テ唯、小麥、小麥粉、烏卵ダケヲ此十五年ノ間抛テ置イテ、千載一遇ノ時機ト考ヘテ居ル關稅定率法ノ改正ニ當リ、殘

餘ヲ原案ノ儘ニ通過スルト云フコトハ、如何ニモ形ノ上ニ於テ私ハ面白クナカッタト思フノデアリマス、ソレガ爲ニ米及小麥ノ關稅定率ガ諸君ノ期待ニ反シテ、米穀法ノ運用ダケデハ、吾々ノ希望ヲ達成スルコトハ出來ナイト思フ、確ニ將來ノ一年ナリ或ハ本年ノミニ付テ考ヘタトキニ於テ、吾々ハ諸君ト力ヲ合セテ米小麥ノ關稅定率法ノ改正ヲヤラウトシテモ、吾々ハ最早諸君ト共ニ一致手ヲ携ヘテ大ナル關稅定率ノ改正ヲ目論ムコトハ出來ナイト思フノデアリマス(「ヒヤ」)「又」人情斷ハヨセト呼フ者アリ)人情斷ハアリアマセヌ、當然ノ歸結デアリマス、米麥ノ關稅改正ハ米穀法ノ運用テイケナイト吾々ハ考ヘテ居ル、若シ諸君ノ中、何物カ大ナル力ニ依リテイケルト考ヘラル、ナラバ、來年米麥ノ關係ノ改正ヲ要求シテモ、ソレハ理論上出來ナイト信シテ居ル、此點ハ人情話デハナイ、眞剣味デ各位ニ申上ダテ居ル、左様ナ譯デ私ハ大體形ノ上ニ於テ委員長ノ報告ニ反對スルノデアリマス、唯、私共ハ先輩ノ前ニ置イテ農産物ノ稅盛リヲ改正シタ、其理由ヲ申上ダルト云フコトハ、海ニ釋迦ニ説法ノ謗ヲ免レマセヌガ、一應吾々ノ考ヘテ居ル所ヲ御聽取リテ願ヒマス、私ハ諸君ト共ニ先刻申上ダマシタ如ク、農村ノ衰微ヲ憂ヒ、食糧問題ノ歸結ヲ憂フル者デアリマスケレドモ、農村問題研究ノ爲メ、又ハ農村其モノヲ直ニ救済センガ爲メ、此食糧問題ノ關稅々盛ノ引上ヲシヤウト考ヘテ居ル者デアリマセヌ、私共ハ委員會ニ於テモ申上ダマシタ通り、第一ノ點ハ掘切君ガ一般論ニ於テ申上ダマシタ通り、近年非常ナル率ヲ以テ輸入シテ參ル所ノ食糧ノ金額ヲ眺メテ、國際貸借ノ平均ヲ得ルコトヲ大藏大臣ノ御心配ノ如ク商工業ノ力ニノミ委シテ置クト云フ譯ニハ參ラヌノデアアル、固ヨリ種々ノ力ガ集テ國民ノ緊張裡ニ產業ノ復興ヲ圖シテ之ヲ防グノ外ハナイケレドモ、而モ國民ノ食糧品ナルモノガ、若シ内地デ自給自給シ得ルト云フ望ガアルノデアアルナラバ、國民ハ、消費者階級ト云ハズ、生

産者階級ト云ハズ、心ヲ一ニシテ内地ノ産額ヲ増加セシメテ、食糧ノ自給自給ヲ圖ルト云フコトハ當然ノ責務デハナイカト考ヘマス、此見地カラ國際貸借ノ食糧品ニ對スル數字ヲ見マスト、諸君御承知ノ通りニ十三年度ニ於テ二億五千四百萬圓、十四年度ニ於テ二億九千五百萬圓、ソレニ砂糖ノ輸出輸入ノ差引勘定ヲ入レマスト、十三年度ニ於テハ四億千七百萬圓、十四年度ニ於テモ四億千三百萬圓、殆ド同一ノ數字ヲ現ハシテ居ル、此恐ルベキ食糧不足ニ基クソノ輸入金額ヲ眺メテ、之ヲ一ツニ商工業者ノ努力ニ依リテ輸出ノ力ヲ増シテ、此食糧品輸入ノ決濟ヲ持シテ置クト云フコトガ穩當デアリマセウカ、私共ノ近時見ル所ニ依リマスト、此貿易ノ狀態ニ付テ、先ヅ力ヲ現ハスベキ餘力アリト認ムベキモノハ、矢張過去ノ統計ニ依リテ綿織物或ハ絹織物、是等ガ即チ大ナルモノデアリマス、即チ纖維工業デアリマスガ、生絲モ今日ハ米國ヲ大ナル得意トシテ非常ナル數字、八億以上ニモ上テ居ルノデアリマスガ、果シテ今後多々益々辨ズルヤウニ、米國ニ於テ之ヲ引受ケル力ガアルノデアリマセウカ、私共ハ此點ニ對スル十二分ノ調査材料ヲ持チマスケレドモ、憲政會ノ諸君ナリ本黨ノ諸君ナリノ御質問ニアリマシタ人造絹絲ノ怖ルベキ力ヲ以テ進ミツツアルノヲ見マシテ、唯、政府委員諸君ノ御説明ノ如ク、人造絹絲ハ綿絲ノ得意ヲ侵蝕シテ行クノデアリカラ、所謂生絲ノ得意ハ侵サレナイト云フ其説明ダケハ満足シテ參ル譯ニ參ラヌノデアリマス、如何ニシテモ此人造絹絲ノ細物ヲ織出ス所ノ力ハ、纏テハ絹織物ノ領分ヲ侵シテ參ルコトハ必然ノ道理ト思ハレマス、サレバ絹織物ハ絹織物ノ輸出ノ力ヲ無限デアルト斷ズルコトハ私ハ不可能デアリナイカト考ヘルノデアリマス、絹織物ノ力モ如何デアリマセウカ、今日ハ支那ナリ或ハ印度ナリ南洋方面ヲ殆ド唯一ノ得意ニシテ居リマス、又我國ノ國產トシテ必ズ自給自給ヲセバナラヌト云フコトヲ官民共ニ唱ヘル、鐵、アノ鐵ノ關稅ニ依ル所ノ自

足自給ノ根本國策、之ヲシモ遠慮セネバナ
ラヌ程ニ重大視シテ居ル印度ノ綿布ノ貿易、
大阪朝日新聞ノ報道スル所ニ、印度ニ於ケル
紡績聯合會長カ說明サレテ言葉ガ書イテ
アリマシタ、ソレハ我國ガ銑鐵ノ輸入ニ對シ
テ官民共ニ是レ程心配シテ、御控へ申上ダテ
居ルニ拘ラズ、日本ノ紡績ハ我が英國ノ纖維
工業者全體ノ敵デアルト云フコトヲ喝破シ
テ居ル「ランカシャー」ノ紡績業者ハ、植民
地ト云ハズ、本國ト云ハズ、カヲ協セテ日
本ノ紡績ヲ敵トシテ戰ハナケレバナラヌト
言フテ居ルデアリマセヌカ、而モ其輸出ノ
力ヲ不正ナル手段ダト申シテ居リマス、安キ
物ヲ外國ニ賣出スト云フ此努力ニ對シテ、
彼等當業者ハ之ヲ敵トシテ戰フト云フテ居
ルノデアリマスカラ、私ハ假令銑鐵關稅引
上テ印度ニ對シテ遠慮ヲ致スコトニ實際出
來上ルトシテモ、綿布一億方圓ノ輸出ガ今後
毎年繼續スルコトガ出來ルデアリマセウ
カ、私ハ此綿布ノ輸出ニ對シテモ將來無限
ノ發展ノ力ガアルト想像スルノハ大ナル早
計デアルト考へネバナラヌト思ヒマス（拍
手）斯様ニ考へマシテ、今日現ハレテ參ル
所ノ國際貸借ト輸出ノ狀態ヲ見マスルト、
毎年增加率ガ大ナル所ノ食糧不足ノ金額、
此食糧不足ニ基ク金額ニ對抗シテ、之ヲ決
濟シ得ル力ヲ纖維工業ノニ委スト云フコ
トハ大ナル失態ヲ來シ、將來ニ於テ必ズヤ
勝ヲ啗ムノ憂ヲ貽スモノト信ジテ疑ヒマセ
ヌ（拍手）是ガ爲ニ内地ニ於テ所謂生産階
級、消費者階級、共ニ國民全體ガ力ヲ協セ
テ食糧ノ自給ヲ圖ルト云フコトガ國家
ノ急務デアリ、國家永遠ノ國策デナケレバ
ナラヌト考へルノデアリマス、此考カラ私
共ハ米穀ノ日本内地ニ於ケル生産力ヲ考へ
テ見マスルト、幸ニシテ歴代内閣ガ力ヲ協
セテ米穀耕作ノ改良、又用排水路幹線ニ對
スル補助獎勵、或ハ耕地整理ノ獎勵、或ハ
開墾地助成法、是等ノ力ニ依リテ官民ノ努
力ガ大ニニ效ヲ奏シテ、今日ニ至ルマデ吾々
ガ有スル所ノ統計ニ依リマス、人口增加
加ノ率ト、日本内地ノ米穀ノ主産增加率ト、

少シモ其間ニ愛フヘキ現象ガナイ、即チ日
本ノ人口ノ増殖ニ伴フタケノ供給ハ、産米
増殖ノ力ニ依リテ補ヒ得ル所ノ統計ヲ持テ
居ルノデアリマス、況ヤ又此統計以外ニ尙
ホ二百万町歩ノ未墾地ヲ有シ、百三十万町
歩ニ餘レル干拓其他改良ノ餘地アル所ノ土
地ヲ持テ居ルノデアリマス、其以上ニ又
政府ノ計畫セラレタ所ノ朝鮮ニ於ケル産米
増殖ノ計畫等ガアルノデアリマスカラ、吾々
ハ是カラ後數十年ノ間ニ互テ日本ノ食
糧ハ日本内地ニ依リテ自給自足シ得、
不足ノ心配ハ毫無イト云フ確信ヲ
持テ居ルノデアリマス、此確信ノ下ニ考
ヘテ見マスルト、既ニ内地テ自給自足ガ出
來ルトシタナラバ、何トカシテ國民ハ相助
ケテ此自給自足ノ途ニ赴カケレバナラヌト
考ヘルノハ當然デアリマス、而モ此自給自
足ヲ圖ルガ上ニ於テ、特ニ注意シナケレバ
ナラヌ問題ガ一ツアリマス、ソレハ日本内
地ニ於ケル國民ノ一箇年ノ消費量ガ、年々
増加シテ參ル關係デアリマス、即チ大正十
一年ニ於テハ、一人當リノ消費量ハ一石二斗、
十二年ニハ一石餘リ、十三年ニハ一石一斗
四升、十三年ニハ殆下一石二斗ニナツテ居
ルト云フヤウナ狀態デ、多少其間ニ増減ガ
アリマスケレドモ、國民ガ消費スル其一人
當リノ關係ガ、甚ダ増大シテ參テ來タト
云フコトデアアル、併ナガラ一石二斗ト云フ
數字ヲ表ハス以上ニ、今後一人當リノ消費
量ガ、過去ニ於ケル増率ノ力ヲ以テ進ンデ
行カウトハ考ヘラレナイ、故ニ吾々ハ此點
ニ對シテノ心配モ、將來左様ニスル必要ハ
ナイト考ヘテ居ルノデアリマス、併ナガラ
此點ニ對シテハ、特ニ注意センケレバナラ
ヌ事ガアル、即チ吾々ガ大切ニシテ居ル所
ノ内地米ノ消費ガ、果シテ吾々ノ純正ナル
生活ノ根本ニシテ使用サレテ居ルカドウ
カ、浪費ヲシテ居リハセヌカト云フ問題デ
アリマス、若シ茲ニ浪費ノ跡ガアルト云フ
コトデアラナラバ、是ハ官民相助ケテ、米
ノ浪費ノミハ防ガネバナラヌト思ヒマス、
即チ昨年ノ請願委員會ニ現ハレマシタ、確
カ是ハ憲政會カ、或ハ無所屬ノ方デアリマ

シタカト思ヒマシタガ、汽車ノ辨當ノアノ
食殘リヲ三ツ四ツ持ッテ御出ニナツテ、サウ
シテ汽車辨當ハ勿體ナイカラ整理セヨト云
フ請願デアリマシタ、極メテ問題ハ卑野ナ
コトデアリマシタケレドモ、其結果ハ重大
ト認メテ、是ハ確ニ採擇シタコトデアッタト
考ヘテ居リマスガ、此問題ハ吾々ハ常ニ言
テ居ルノデアリマスガ、消費者階級ノ方ガ
ドウモ米ヲ浪費スル、洵ニ汽車ノ中ノ辨當
ノ食事ノ後ヲ見マスルト、アノ日本食ノ後
ノ飯ガ、半分以上殘タ儘デ泥土ニナツテ捨
テ、アルノヲ澤山見ル、如何ニモ勿體ナイ、
且ツ殘念ナ事デアルト思ヒマス、ノミナラ
ズ都會ニ於ケル消費者階級ノ方ハ、其臺
所ノ裏ヲ覗イテ見マシテモ、所謂洗ヒ流シ
ト稱スル所ノ米ノ浪費、即チ捨テテリマス、
分ガ非常ニ少クナイト云フコトデアリマス
（拍手）是等ノ問題ハ、特ニ國民ガ力ヲ協シ
タナラバ、私ハ年額百万石乃至二百万石ノ
食延バシマシルト云フコトハ、容易ナ事デ
アルト考ヘテ居ル（拍手）大藏大臣ハ、昨年
モ吾々國民ニ對シテ所謂節約、貯蓄ヲ勸メ
ラレテ、盛ニ知事ノ力ニ依リテ、地方委員
ヲ設ケテ御宣傳ニナル、其力ハ大ナル效果
ヲ表ハシテ、郵便貯金或ハ生命保險等ニ其
姿ガ現ハレテ參ッテ、非常ナ貯金率ヲ表ハ
シ、又ハ奢侈品ノ輸入ガ之ニ依リテ防遏セ
ラレルト云フヤウナ效果ヲ奏シ、此點ニ對
シテハ、一部國民ヨリハ、是ガ不景氣ノ原因
デアルト云フテ、呪フ聲ガアルニ覺テラズ、
吾々ハ此實際ノ力ヲ見テ、深く敬服ヲ致シ
テ居ルモノデアリマス、故ニアノヤウナ努
力ヲサセラレルト云フコトデアラナラバ、一
歩進ンデ此食糧ニ對シテ、浪費ヲスルナト
云フコトヲ深刻ニ御訓示ヲ願フタナラバ、其
效果タル必ズヤ少カラヌモノガアルデアラ
ウト考ヘルノデアリマス（拍手）斯様ニ考へ
マシテ、若シ國民上下共ニ力ヲ協セテ、其
米穀ノ浪費ヲ防イダナラバ、去年ニ於テ五
百万石、其中四百四十万石ノ再輸出ガア
テ、二百四十万石バカリノ内地ノ消費デアリ
マスガ、ソレ等ノモノハ儼ニ此浪費ヲ防グ

コトガ出來ルト考ヘル（ヒヤ）是等ハ大
ニ注意シナケレバナラヌ點ト考ヘルノデア
リマス、斯様ニ考カラ、國民ガモウ少シ食
糧ニ對シテ眞剣味ニナリ、サウシテ國際貸
借ノ「バランス」ヲ得ルト云フコトハ、國民
ノ義務デアアル、將來ニ對シテ此自給自足ヲ
考ヘナカケタナラバ、大ナル恐ルベキ事ヲ
招徠スルト云フコトヲ考ヘタナラバ、假令
關稅引上ニ依リテ、多少ノ負擔ガ重クナリ
マシテモ、是ハ甘シクシテ國民ガ負擔セナケ
レバナラヌ點デアルト考ヘルノデアリマス
（ヒヤ）「拍手」況ヤ米國ノ或學者ハ、今
後三十年經テバ、世界各國ノ所謂食糧ハ、其
國民ノ自給スル以外、輸出ノ力ハ無イコト
ニナル、人口問題ニ論及シテ、此恐ルベキ
力ヲ以テ、人口ガ各國共ニ増殖シタナラバ、
必ズ食糧問題ニ非常ナル衝突ヲ生ズルニ相
違ナイト云フコトヲ戒メテ、殊ニ日本國ノ
如ク、生産力ノ旺盛ナル所ノ國民ハ、速ニ食
糧問題ニ對シテ行詰リヲ生ズラウト云
フコトヲ戒メテ居リマス、是等ニ想到シテ
見ルト、三十年ト云ヘバ、吾々ハ指ヲ屈メ
テ直キデアリマス、サウシテ吾々ガ只今速
ベク點ヲ考ヘテ見ルト、何トシテモ食糧ノ
自給自足ヲ圖ルノガ、當然國民ノ義務ナリ
ト考ヘルノデアリマス、此點カラ第一ニ吾々
ハ、米及麥、其他食糧問題ニ關スル關稅
引上ヲ唱ヘル所以デアリマス、第二ニハ、
此食糧ノ自給自足ヲ圖ルニ付テ、農民ハ現
今此儘ニシテ置イタナラバ、果シテ喜ンデ
農業生産物ヲ多量ニ生産シテ吳レダラウ
カドウカ、ト云フ問題デアリマス（謹聽）
若シ食糧品ノ自給自足ヲ圖ルノガ國策デア
リ、國民ノ義務デアルトシタナラバ、如何
ニシテモ今日ノ農民ノ力ヲ借リテ、今少シ
ク多收穫ヲ得ルコトニセナケレバナラヌ、餘
計ニ收穫ヲ得ル途ヲ考ヘナケレバナラマセ
ヌシ、又今日農民ガ從事シテ居ル所ノ勞賃
ヲ、都會ニ於ケル自由勞働者ノソレニ較ベ
テ見ルト、如何ナル統計ヲ現ス人デモ、自
由勞働者ノ賃銀ノ半額位ニシカ計上スルコ
トヲ許サナイノデアリマス（拍手）今日農村
ノ勞働者ノ勞賃ハ、都會ノ自由勞働者ノ半

額ニシカ當ラヌト云フコトヲ其儘ニ措イテ、是カラ後將來ニ互テ益、努力ヲシテ、食糧ノ充實ヲ圖レト農民ニ號令シタトキニ、農民ハ果シテ今後永ク、寧ろ永久ニ喜ンデ彼等ハ努力スルト考ヘ得ラル、デアリマセウカ(拍手)今日一是ハ想像デナク事實ニ見マシテモ、農業労働者ノ多クヲ占メテ居ル小作人ノ方ニハ、農民組合ヲ造リテ、今自己ノ立テ居ル所ノ其場所ニ目覺メテ居リマス、目覺メルカハ、地主ニ對シテ爭議ヲ起スノミ、自覺ハアリマセヌ、彼等ハ國民ノ食糧ヲ管理シテ居ル重大ナル職業デアルト云フコトニ自覺ヲ致シタノデアリマス(ヒヤ)

ス、其勞賃ニ對スル計算ノ仕方ニ依リテ、米ノ生産費ハ非常ニ高クナリ、或ハ相當ノ位置ヲ保ツノデアアルガ、今日自由労働者ノ半額位ニ計上シ、即チ一圓六十錢位ニ計上シテ見マシテモ、尙ホ四十圓ト云フガ如キ生産費ヲ現シテ居ルノデアリマス、其生産費ヲ現シテ居ル所ノ大ナル力デアアル勞賃、ソレヲ何トカセネバナラヌト云フコトヲ考ヘル時ニ、之ヲ引上ダテ生産費ヲ上ゲルト云フコトハ亂暴デアルト云テ、消費者階級カラ之ヲ阻ム、或ハ輿論多數ノ力ヲ以テ之ヲ壓迫スルト云フコトハ、是ハ道理上當然ノ事デアリマセウカ、私ハ甚ダ其理由ヲ解釋スルニ苦ムノデアリマス(拍手)諸君、常ニ例ニ現レル所ノデアリマスガ、商工業ノ中ニ關稅ノ過去ノ長キ保護ノ下ニ、今日ハ十二分ニ一人立ノ出來、關稅ヲ無稅ニシテ迄モ今ハ構ハヌトマデ進シテ參ツ、ノ紡績業ヲ何ト御覽ニナリマス、今日ハ紡績業ノ隆盛ハ工業中ノ王デアルト云テモ宜イ程ノ旺盛ヲ極メテ居ル、旺盛ヲ極メテ居テ非常ニ大ナル配當ヲ會社ハシテ居ルノデアリマス、非常ニ何割ト云フ配當ヲシテ居リ、重役諸公ノ取ル所ノ「ボーナス」ノ如キモ、吾々ガ聞イテ驚クガ如キ大ナル「ボーナス」ヲ取テ居ルノデアアル、而モ一度彼等ハ綿絲ノ市價ガ理想ノ値段ヨリ下ツタト云フ時ニ當ルト、直ニ聯合會ヲ開イテ彼等ハ何ヲ致シマス、直ニ操業ノ短縮ヲスルデアリマセウカ、操業ノ短縮ヲシテ生産ヲ減少セシメテ、遂ニ其力ニ依テ市價ヲ自己ノ要求スル點マデ引上ゲルデアリマセウカ(拍手)人間ノ大切ナル衣食住ノ中ノ、其衣ト云フ大ナル一ツ、其末綿ノ著物ノ原動力デアアル綿絲、其綿絲ガ儲カラナイナラバ仕方ガナイガ、何割ト云フ配當ヲシ、又從業者ハ大ナル「ボーナス」ヲ取テ居ルノデアアル、而モ尙ホ自己ノ希望スル値段ニ達スルニ至ラナイト、生産ヲ制限シテ希望ノ値段ニ釣上ゲルト云フコトニ對シテ社會之ヲ疑ハズ、政府亦少シモ之ヲ答メヌト云フノヲ見テ、諸君何ト御考ニナルノデアリマ

スカ(拍手)諸君ハ當然ナリト御考ニナリ、消費者階級亦當然ナリト考ヘテ居ルト考ヘマス、然ラバ單リ之ヲ農産物ノミニ應用スルコトノ不可ナル道理ハ無イデアアリマセウカ、若シ此道理ヲ農産物、即チ農業者ガ考ヘテ之ヲ實行スル場合、即チ農業労働者ガ計畫シテ居ル所ノ「農民組合」ノ日本ニ集テ、此集團の勢力ノ下ニ生産ヲ減少シヤウ、即チ來年度ノ所謂作付反別ハ一割乃至二割ヲ減ジテ、其生産ヲ減ジヤウト云フガ如キコトヲシタ場合ニ、由テ數社會問題ヲ惹起スルデアリマセウカ(拍手)先年行ハレマシタ大正七年、八年ノ「米騒動」跡ヲ考ヘテ見マシテモ、食糧問題ニ對シテ生産不足ヲ想像シ、外國ヨリ輸入スベキ外國米ノ産地モ僅僅アル場合ヲ想像スルト、國民ハ此點ヲ甘受シナイ、即チ燒打問題ヲ惹起スデハアリマセウカ、幸ニシテ我が農村ノ方ニハ柔順デアアル、國家ニ對シ國民ニ對シテ、此食糧政策ノ大切ナルコトヲ考ヘテ居リマセウカ、斯ル過激ナル手段ハ將來ニ互テ決シテ實行スル方ニデアリマセウカ、是ハ吾々ハ喜ンデ農村ノ方ニ感謝セナケレバナラヌ點デアリマス、併ナガラ其農民ノ種々ナル國家ニ對スル忠誠ト云フコトヲ吾々ガ考ヘルガ爲ニ、勞賃ノ安キコトヲ將來ニ強ユルト云フ譯ニハ參リマセウカ、彼等ニ忠誠ノ意アルナラバ、ソレニ對シテ國民ハ必ズヤ相當ニ酬ユル所ノ途ガアルノハ當然ト考ヘル(拍手)其關係ニ於テ私共ハ如何ニシマシテモ此勞賃ニ對シテ相當ノ酬ヒヲスルト云フコトハ、吾々國民全體ノ責務デアリナイカト考ヘルノデアリマス、然ラバ如何ニセバ宜シイカ、即チ生産費ヲ大體ニ考慮シテ、相當ナル市價ヲ保ツト云フコトガ極メテ大切ナル事デアアル、幸ニシテ今日相當ナル市價ト云フ希望ノ市價ニハ達成セヌケレドモ、近年稍、平準ヲ得タル市價ニ近イ状態ニナツテ居リマセウカ、之ヲ維持スル所ノ方法トシテ、將來來ルベキ外米ノ壓迫ヲ防グト云フコトハ當然ナル歸結デアアル(拍手)此外米ノ壓迫ヲ防イデ、而シテ内地ノ生産ヲ保護シ、内地ノ

生産ヲ保護シテ其市價ヲ相當ニ維持スルト云フ、此二點ガ即チ食糧政策ノ根本概念デアルト考ヘマシテ、吾々ハ食糧問題ニ對シテ關稅稅盛リノ改正ヲ致シタ所以デアリマス(拍手)更ニ吾々ノ考ヘナケレバナラヌコトハ、國民ハ然ラバ食糧ノ自給自給ニ對シテ限リナキ犧牲ヲ拂フノデアアルカ、ソレデハ堪ヘルコトガ出來ナイ、大概ノ目安ヲ示シテ貰ハナケレバナラヌト云フ論ガ、必ズヤ國民ノ間ニ起ル所ノ點デアリマス、若シ吾等ノ理想ヲ言ハシメタナラバ、政府ハ農林省ノ獨立ヲ實行シタ關係カラ見マシテモ、第一ニ此米若クハ麥、是等ノ問題ニ對シテハ一定ノ年限ヲ限リテ、自給自給ヲ爲シ得ル所ノ數字ヲ示シテ、之ニ對シテ其期間ノ間、是位ノ犧牲ヲ拂フテ貰フタナラバ、安心シテ自給自給ガ出來ルト云フ數字ヲ國民ノ間ニ示スノガ、極メテ適當デアルト考ヘルノデアリマス(拍手)此點ハ私共ガ申サズトモ、流石ニ農林省ノ大官ハ此點ニ御氣付ニナツテ居ルト見エマシテ、鳥卵ニ對シテ委員會ヲ御質問ヲ申上ゲマシタ時ニ、小山農林次官ハ農林省ノ案ナリトシテ吾々ニ御示シ下スツタ所ノ、所謂鳥卵ノ國策トデモ云フベキ、鳥卵ノ自給自給ノ御計畫ヲ御發表ニナツタノデアリマス、吾々ハ此鳥卵ノ自給自給ノ案ヲ農林省ノ大官ガ御示シ下スツタコトヲ、國民ノ前ニ深ク感謝セナケレバナラヌト考ヘテ居リマス、固ヨリ此鳥卵ノ六年計畫ト云フモノハ、官吏ノ力ニ、政府ノ力ノミニ依テ其目的ヲ達成スルモノデアリナイ、即チ官民合セタル力ニ依テ此鳥卵ノ輸入ヲ防ギ、此自給自給ノ目的ヲ達成シヤウト云フ案デアルトハ勿論デアリマス、而モ其案ヲ示サレタル所ノ御考、根本概念ハ私ガ只今申上ゲマシタ通りニ一定ノ期間内國民ニ相當ノ犧牲ヲ拂フテ貰フタナラバ、斯ノ如ク自給自給ノ出來ルト云フコトヲ示スノガ、政府ノ國民ニ對スル義務ナリト云フ根本概念カラ起リタデアリマス(拍手)故ニ私共ハ鳥卵ガ十二年ニ於テハ一千五百萬圓ノ輸入デアリ、十三年ニ於テハ一千三百萬圓ノ輸入ニナツテ居リ

マス、ソレ位ノモノデアリマスカラ大ナル注意ヲ拂フ必要ハナイケレドモ、農林省ノ諸君ガ如何ニ食糧政策ヲ重大視シテ居ラレルカト云フ點ニ對シテ、深く私共ハ感謝シテ居ルノデアリマス、而モ此點ニ對シテ特ニ諸君ニ御注意ヲ願フテ置カネバナラヌ點ガアリマス、此食糧ノ自給自給ヲ説明セラレマシタ中ニ、此六年計畫ノ鶏卵ノ自給自給ノ御計畫ヲ爲サイマシタ中ニ、根本觀念ノ一ツトシテ、鶏卵ノ輸入ニ對シテ：

〔發言スル者多シ〕

○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス

○長田桃藏君(續) 鶏卵ノ輸入ニ對シテ相當ノ關稅ヲ課シ、外國卵ノ壓迫ニ對シテ本邦養鶏ノ健全ナル發達ヲ擁護スルコト、是ガ所謂六年ニ於ケル養鶏自給計畫ノ一ツデアツテ、農林省ノ御考ト雖モ其自給自給ノ根本觀念ニハ、相當ノ關稅ヲ課シテ外國卵ノ壓迫ヲ防グト云フコトガ、其根本觀念ニナツテ居ルノデアリマス(拍手) 然ルニ只今先輩ノ質問ニ對シテ、早速農林大臣ハ米及秬ノ市價ヲ維持スルコト云フ問題ニ對シテ、其市價ヲ維持スルコトガ出來ル、此市價ヲ維持スルコト云フコトハ可能デアアル、斯様ニ言ハレトデアリマス、關稅ニ依ツテノミ食糧品ノ市價ヲ維持スルコト云フコトハ出來ナイト云フ事柄ハ、是ハ聞クコトガ出來マス、併ナガラ他ノカト相俟テ關稅ノ稅率ニ依ツテ之ヲ保護スルコト云フコトガ大切ナル一方法デアアルト云フコトハ、此政府ノ御出シニナツタ鶏卵自給計畫ノ根本觀念ニ自白セラレタ所ニ依ツテモ明カデアアルト思フ(拍手) 何ガ故ニ早速農林大臣ハ鶏卵ノ輸入ニ對シテノミ相當ノ關稅ヲ課シテ、外國卵ノ壓迫ヲ防グト唱ヘテ居リナガラ、他ノ食糧品ニ對シテハ關稅ノ保護ヲ必要デナイト思フノデアリカ、私ハ非常ニ訝カシク考ヘルノデアリマス、斯様ニ考ヘマストト吾々ハ如何ニシテモ其負擔率ガ如何ナル程度マデ及ブカト云フコトヲ考慮シ、國民ガ拂フ所ノ犧牲ハ、吾々ノ修正案ニ依レバ如何ナル

犧牲ヲ拂フノデアアルカト云フコトヲ、如何ニシテモ穿鑿セネバナラヌノデアリマス、吾々ハ内地米ト外米トニ對シテノ關係ヲ調査致シマスルト、其生産費ヲ比較致シマシテ保護關稅ヲ課スルノガ最も完全ナル保護法デアリマス、故ニ内地米ト外米トノ生産費ヲ並ニ對照シテ見マス、内地米ノ最モ安キ二十縣ニ互ル部分ニ對スル調査ニ依テ見マス、之ヲ大都市ノ東京マデノ運賃ヲ八レマシテ三十八圓二十六錢ト云フ數字ヲ現ハシテ居ル、之ニ對シテ溫帯米ノ加州米ノ生産費ガ石二十一圓七十錢ニナツテ居リマス、故ニ是ガ沖渡シ値段マデノ運送賃銀ヲ入レマスト、輸入價格ハ一石平均二十八圓五十九錢トナツテ居リマス、少クトモ之ニ對シテ百斤二圓以上、即チ一石ニ對シテ五圓以上ノ關稅ノ保護ヲセネバ平均ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、又熱帶米トシテ西貢米、ソレガ百斤生産費ガ生産地ニ於テ八圓九十錢、蘭貢米ガ九圓十錢デアリマシテ、何レモ内地沖渡シ値段ガ右二十二圓二十五錢カラ、二十二圓七十五錢トナツテ居リマス、縱シ熱帯米ト内地米トノ趣味ニ於ケル其等差ヲ價格ニ見積リマシテモ、尙且是モ五圓以上ノ引上ヲスルノガ當然デアアル、即チ百斤ニ對シテ二圓以上ノ稅盛リヲスルコトガ當然デアリマス、實ハ先輩ノ本黨ノ諸君トモ協議ヲ致シマシタ結果ガ二圓ト云フガ如キ稅盛リヲ改正スルコトハ、餘リニ消費者階級ヲ脅スコトニナリハセヌカト云フノデ、政治上ノ調節ヲ茲ニ慮ツテ五十餘ノ稅盛リ改正ヲ致シタ、即チ合計一圓五十錢ト云フコトニ致シタノデアリマス、而モ其稅盛リノ改正ノ結果ガ國民ニ及ボス所ノ其負擔率ヲ見マスト、所謂國民ハ一石一斗二升三合食ベテ居ルモノト致シマシテ、月額十一錢六厘ノ負擔デアリマス、一升ニ對シテ僅ニ一錢二厘五毛ノ負擔デアリマスカラ、五十錢ノ稅盛リノ下ニ所謂論議者ノ聲ヲ放ツテ、消費者階級ノ負擔ガ堪ヘラレヌ程大ナルモノデアルト叫ブノハ、餘リニ其聲ノ大ナルコトニ私共ハ驚クノデゴザイ

マス、國民ハ米、秬ニ對シテ關稅一升ニ對シテ一錢二厘五毛位ノ犧牲ヲ拂ヒマシテモ決シテ其負擔ガ多イカラ、國策タル食糧政策ヲ吾々ハ拋棄スルコト云フガ如キコトハ申サヌト考ヘテ居リマス、況ヤ一錢二厘五毛ハ五百萬石ノ外米ニ掛カルニ依ツテ、日本ニ得ラレル所ノ五千七百萬石ノ内地米全體ノ價格ガ騰貴スルコト云フコトモ假定シタ計算デアリマス、ソレデアラバ私共ハ決シテ五十錢位ノ稅率ノ引上ヲ以テ、國民ノ生活ヲ脅カスモノデアルト云フガ如キハ誣ユルモ甚ダシキモノデアルト考ヘル、此米、秬ノ關稅問題ニ對シテハ是デ終ルノデアリマス、私共ハ社會政策ノ問題ヲ此稅盛改正ニ對シテ常ニ唱ヘラレル方々ニ對シテ一言シテ置カケレバナラヌコトハ、今政府ガ計畫シテ居ル所ノ彼ノ朝鮮ノ產米増殖ノ結果ハ、必然的ニ所謂幾十年カノ後ニ於テ、朝鮮民族ガ覺醒シテ日本内地ノ國民ノ如ク、日本内地ノ民族ノ如ク、一年ニ一石二斗ノ米ヲ食ヘルト云フヤウナ時期ニ到達シマシタナラバ、必ズヤ理想的ノ時期ニ達スルコト考ヘマスルケレドモ、今粟ヲ宛行ツテ米ヲ奪ヒ、外國米ヲ宛行ツテ朝鮮米ヲ奪ヒ、諸君ノ最モ忌ンデ居ル社會政策上許スベカラズト考ヘテ居ル所謂大地主トカ、或ハ大富豪トカ、或ハ大商人トカ云フ者者デアリマセヌカ(拍手) 然ラバ是等ノ者ノスル所ニ當然反對ヲサレテ、外米輸入ヲ防グガ爲ニ稅盛リ改正ヲスルコト云フコトハ、是ハ當然ノ事デアラコト考ヘマス(拍手) 此點ニ對シテハ社會政策ヲ高調セラレル所ノ方々ニ、重ネテ之ヲ申シテ置カケレバナラヌト考ヘマス(拍手) 私共ハ此場合ニ一言申上ゲテ置カネバナラヌコトハ、委員長ノ御報告ガ小麥或ハ小麥粉、鳥卵等ニ對シテ、吾々ト同感デアアルコトデアリマス、之ニ對スル說明ハ要サナイノデアリマカ、併ナガラ此點ハ消費者階級ノ方々モ、或ハ此案ガ貴族院ニ廻ハル場合ニ於テ、上院ノ諸君モ此小麥ノ關稅引上ニ反對セラレテ居ル所ノ方々ガ、如何ナル理由デ小麥ノ關

稅引上ヲシタノデアアルカト云フコトヲ、如何ニシテモ之ヲ御諒解ニナラヌト考ヘマス、故ニ小麥ノ關稅引上ノ理由ト同時ニ、小麥粉ノ關稅引上及鳥卵ノ問題等ニ對シテハ、此委員長報告ノ案ニ御賛成ニナル所ノ議員ノ方々カラ、相成ベクハ三輪君ノヤウナ熱心ナ方々カラ、徹底的ニ此關稅ノ引上ヲセネバナラヌ理由ヲ御說明置キ下サルコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ、又國民ノ爲ニ切ニ御願致スノデアリマス(拍手) ヒヤヒヤ不幸ニシテ此說明ヲ完全ニセナイガ爲ニ、上院ニ於テ是ガ否決ノ運命ニナリ、或ハ尚ホ天下驚々反對ノ聲ガアルト云フコトニナルナラバ、吾々ハ爲スベキ事ヲ爲サズ、努ムベキ貴務ヲ盡サナカッタト云フコトノ國民ニ對スル責任ヲ甘受シナケレバナラナイ、故ニ此點ニ對シマシテハ、ドウカ委員長ノ報告ニ御賛成ニナリマス方々カラ、十二分ニ御說明ヲ賜ハラシコトヲ私ハ切望致シテ置キマス(拍手) 其他數字ニ涉ツテノ說明ハ、私共病中デゴザイマスケレドモ敢テ其說明ハ辭シマセヌ、併ナガラ時間ハ益々切迫ヲ致シテ參リマス、唯一言說明ヲ加ヘテ置カネバナラヌ點ガアリマス、御清聽ヲ願ヒマス(謹聽) 此大豆ニ對スル問題ハ、是ハ近年大豆ノ内地生産ガ作付反別ガ少クナイ、又輸入ハ非常ニ殖エテ參ツテ居ルノデアリマス、而モ其生産ノ多ク東北地方ヨリ北海道方面ニ生産サレルノデアリマシテ、此農產物ヲ大ニ多收穫ヲシテ、サウシテ所謂農村ノ餘剩能力ヲ有利ニ導キ、其勞賃ヲ引下ゲテ、農產物ノ價格ヲ引下ゲルト云フ方面カラ考ヘテモ、此農產物ノ裏作ノ問題ニ對スル獎勵ガ極メテ必要ナノデアリマス、殊ニドウシテモ大豆ノ如キモノニ對シテハ、能フ限リ關稅上ノ保護ヲ加ヘテ、有利ニ之ヲ導イテ、少クトモ輸入ヲ防遏スル程度マデ之ヲ保護スル必要ガアルト認メタルデアリマス、併ナガラ是モ政治上ノ所謂調節ヲ以テマシテ、一圓二十錢ト致シマシタノデアリマス、此點ニ對シマシテモ私ハ絮說ヲ俟タズ、各位ニ於カ

マ、ソレ位ノモノデアリマスカラ大ナル注意ヲ拂フ必要ハナイケレドモ、農林省ノ諸君ガ如何ニ食糧政策ヲ重大視シテ居ラレルカト云フ點ニ對シテ、深く私共ハ感謝シテ居ルノデアリマス、而モ此點ニ對シテ特ニ諸君ニ御注意ヲ願フテ置カネバナラヌ點ガアリマス、此食糧ノ自給自給ヲ説明セラレマシタ中ニ、此六年計畫ノ鶏卵ノ自給自給ノ御計畫ヲ爲サイマシタ中ニ、根本觀念ノ一ツトシテ、鶏卵ノ輸入ニ對シテ：

犧牲ヲ拂フノデアアルカト云フコトヲ、如何ニシテモ穿鑿セネバナラヌノデアリマス、吾々ハ内地米ト外米トニ對シテノ關係ヲ調査致シマスルト、其生産費ヲ比較致シマシテ保護關稅ヲ課スルノガ最も完全ナル保護法デアリマス、故ニ内地米ト外米トノ生産費ヲ並ニ對照シテ見マス、内地米ノ最モ安キ二十縣ニ互ル部分ニ對スル調査ニ依テ見マス、之ヲ大都市ノ東京マデノ運賃ヲ八レマシテ三十八圓二十六錢ト云フ數字ヲ現ハシテ居ル、之ニ對シテ溫帯米ノ加州米ノ生産費ガ石二十一圓七十錢ニナツテ居リマス、故ニ是ガ沖渡シ値段マデノ運送賃銀ヲ入レマスト、輸入價格ハ一石平均二十八圓五十九錢トナツテ居リマス、少クトモ之ニ對シテ百斤二圓以上、即チ一石ニ對シテ五圓以上ノ關稅ノ保護ヲセネバ平均ヲ得ルコトガ出來ナイノデアリマス、又熱帶米トシテ西貢米、ソレガ百斤生産費ガ生産地ニ於テ八圓九十錢、蘭貢米ガ九圓十錢デアリマシテ、何レモ内地沖渡シ値段ガ右二十二圓二十五錢カラ、二十二圓七十五錢トナツテ居リマス、縱シ熱帯米ト内地米トノ趣味ニ於ケル其等差ヲ價格ニ見積リマシテモ、尙且是モ五圓以上ノ引上ヲスルノガ當然デアアル、即チ百斤ニ對シテ二圓以上ノ稅盛リヲスルコトガ當然デアリマス、實ハ先輩ノ本黨ノ諸君トモ協議ヲ致シマシタ結果ガ二圓ト云フガ如キ稅盛リヲ改正スルコトハ、餘リニ消費者階級ヲ脅スコトニナリハセヌカト云フノデ、政治上ノ調節ヲ茲ニ慮ツテ五十餘ノ稅盛リ改正ヲ致シタ、即チ合計一圓五十錢ト云フコトニ致シタノデアリマス、而モ其稅盛リノ改正ノ結果ガ國民ニ及ボス所ノ其負擔率ヲ見マスト、所謂國民ハ一石一斗二升三合食ベテ居ルモノト致シマシテ、月額十一錢六厘ノ負擔デアリマス、一升ニ對シテ僅ニ一錢二厘五毛ノ負擔デアリマスカラ、五十錢ノ稅盛リノ下ニ所謂論議者ノ聲ヲ放ツテ、消費者階級ノ負擔ガ堪ヘラレヌ程大ナルモノデアルト叫ブノハ、餘リニ其聲ノ大ナルコトニ私共ハ驚クノデゴザイ

マス、國民ハ米、秬ニ對シテ關稅一升ニ對シテ一錢二厘五毛位ノ犧牲ヲ拂ヒマシテモ決シテ其負擔ガ多イカラ、國策タル食糧政策ヲ吾々ハ拋棄スルコト云フガ如キコトハ申サヌト考ヘテ居リマス、況ヤ一錢二厘五毛ハ五百萬石ノ外米ニ掛カルニ依ツテ、日本ニ得ラレル所ノ五千七百萬石ノ内地米全體ノ價格ガ騰貴スルコト云フコトモ假定シタ計算デアリマス、ソレデアラバ私共ハ決シテ五十錢位ノ稅率ノ引上ヲ以テ、國民ノ生活ヲ脅カスモノデアルト云フガ如キハ誣ユルモ甚ダシキモノデアルト考ヘル、此米、秬ノ關稅問題ニ對シテハ是デ終ルノデアリマス、私共ハ社會政策ノ問題ヲ此稅盛改正ニ對シテ常ニ唱ヘラレル方々ニ對シテ一言シテ置カケレバナラヌコトハ、今政府ガ計畫シテ居ル所ノ彼ノ朝鮮ノ產米増殖ノ結果ハ、必然的ニ所謂幾十年カノ後ニ於テ、朝鮮民族ガ覺醒シテ日本内地ノ國民ノ如ク、日本内地ノ民族ノ如ク、一年ニ一石二斗ノ米ヲ食ヘルト云フヤウナ時期ニ到達シマシタナラバ、必ズヤ理想的ノ時期ニ達スルコト考ヘマスルケレドモ、今粟ヲ宛行ツテ米ヲ奪ヒ、外國米ヲ宛行ツテ朝鮮米ヲ奪ヒ、諸君ノ最モ忌ンデ居ル社會政策上許スベカラズト考ヘテ居ル所謂大地主トカ、或ハ大富豪トカ、或ハ大商人トカ云フ者者デアリマセヌカ(拍手) 然ラバ是等ノ者ノスル所ニ當然反對ヲサレテ、外米輸入ヲ防グガ爲ニ稅盛リ改正ヲスルコト云フコトハ、是ハ當然ノ事デアラコト考ヘマス(拍手) 此點ニ對シテハ社會政策ヲ高調セラレル所ノ方々ニ、重ネテ之ヲ申シテ置カケレバナラヌト考ヘマス(拍手) 私共ハ此場合ニ一言申上ゲテ置カネバナラヌコトハ、委員長ノ御報告ガ小麥或ハ小麥粉、鳥卵等ニ對シテ、吾々ト同感デアアルコトデアリマス、之ニ對スル說明ハ要サナイノデアリマカ、併ナガラ此點ハ消費者階級ノ方々モ、或ハ此案ガ貴族院ニ廻ハル場合ニ於テ、上院ノ諸君モ此小麥ノ關稅引上ニ反對セラレテ居ル所ノ方々ガ、如何ナル理由デ小麥ノ關

稅引上ヲシタノデアアルカト云フコトヲ、如何ニシテモ之ヲ御諒解ニナラヌト考ヘマス、故ニ小麥ノ關稅引上ノ理由ト同時ニ、小麥粉ノ關稅引上及鳥卵ノ問題等ニ對シテハ、此委員長報告ノ案ニ御賛成ニナル所ノ議員ノ方々カラ、相成ベクハ三輪君ノヤウナ熱心ナ方々カラ、徹底的ニ此關稅ノ引上ヲセネバナラヌ理由ヲ御說明置キ下サルコトヲ、私ハ國家ノ爲ニ、又國民ノ爲ニ切ニ御願致スノデアリマス(拍手) ヒヤヒヤ不幸ニシテ此說明ヲ完全ニセナイガ爲ニ、上院ニ於テ是ガ否決ノ運命ニナリ、或ハ尚ホ天下驚々反對ノ聲ガアルト云フコトニナルナラバ、吾々ハ爲スベキ事ヲ爲サズ、努ムベキ貴務ヲ盡サナカッタト云フコトノ國民ニ對スル責任ヲ甘受シナケレバナラナイ、故ニ此點ニ對シマシテハ、ドウカ委員長ノ報告ニ御賛成ニナリマス方々カラ、十二分ニ御說明ヲ賜ハラシコトヲ私ハ切望致シテ置キマス(拍手) 其他數字ニ涉ツテノ說明ハ、私共病中デゴザイマスケレドモ敢テ其說明ハ辭シマセヌ、併ナガラ時間ハ益々切迫ヲ致シテ參リマス、唯一言說明ヲ加ヘテ置カネバナラヌ點ガアリマス、御清聽ヲ願ヒマス(謹聽) 此大豆ニ對スル問題ハ、是ハ近年大豆ノ内地生産ガ作付反別ガ少クナイ、又輸入ハ非常ニ殖エテ參ツテ居ルノデアリマス、而モ其生産ノ多ク東北地方ヨリ北海道方面ニ生産サレルノデアリマシテ、此農產物ヲ大ニ多收穫ヲシテ、サウシテ所謂農村ノ餘剩能力ヲ有利ニ導キ、其勞賃ヲ引下ゲテ、農產物ノ價格ヲ引下ゲルト云フ方面カラ考ヘテモ、此農產物ノ裏作ノ問題ニ對スル獎勵ガ極メテ必要ナノデアリマス、殊ニドウシテモ大豆ノ如キモノニ對シテハ、能フ限リ關稅上ノ保護ヲ加ヘテ、有利ニ之ヲ導イテ、少クトモ輸入ヲ防遏スル程度マデ之ヲ保護スル必要ガアルト認メタルデアリマス、併ナガラ是モ政治上ノ所謂調節ヲ以テマシテ、一圓二十錢ト致シマシタノデアリマス、此點ニ對シマシテモ私ハ絮說ヲ俟タズ、各位ニ於カ

セラレテモ疾ニ御承知ノコト、考ヘマスカラ、説明ヲ簡單ニ致シマス、其他小豆ノ問題、蠶豆ノ如キ或ハ綠豆、豌豆、是等ニ對シテモ其比率ヲ以テ相當ニ關稅ノ稅盛リヲシ、農産物ニ對スル有利ナル價格ヲ維持セシ、農産物ニ對スル有利ナル價格ヲ維持セシ、農産物ノ所謂勞賃カラ之ヲ引イテ、サウシテ主要ナル勞賃ノ成ベク減少スルヤウニト考ヘタガ爲ニ企テテ所ノ稅盛リ改正デアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス、ソレカラ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ヲ二圓ニシ、又「コンスターチ」モ二圓ニ致シタノデアリマス、此「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ノ問題ハ、私ガ説明スルヨリハ、寧ろ憲政會ノ奥村君カラ御説明ヲ請ウタガ適當デアリ、是等ノ如キハ、餘程此點ニ對シテ、所謂調査ヲ十二分ニシテオキデニナルデアリマス、不幸ニシテ此問題ノ結論ヲ異ニスルニ依テ、私カラ説明シマスガ、「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ト、日本ノ甘藷澱粉トガ同一ノ效用ヲ爲シテ居ルノデアリマス、而シテ日本ノ甘藷澱粉、即チ千葉、廣島、九州方面カラ、四國方面ニ於テ他ノ農産物ノ作付ガ出来ナイ、所謂地味ノ荒レタ所ニ於テノミ行ハレル所ノ甘藷栽培、此甘藷ノ栽培ガ、輸入スル所ノ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ノ下ニ其生産ヲ縮小セラレ、其正業ヲ奪ハレテ參ル悲惨ナル状態ニ在ルガ爲ニ、何トカ此稅盛リヲ改正シテ、是等ノ農作物ヲ保護シナケレバナラヌ立場ニ居ルノデアリマス（拍手）是ガ爲ニ私共ハ之ニ對スル調査ノ結果、政府ガ説明シテ居ル「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ノ關稅ヲ寧ろ引下ゲヤウトスルコトハ根本ニ誤リガアル（拍手）即チ「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ハ政府ハ主ニ工業用デアルト考ヘマシテ、工業用デアルト云フ見地カラ輸入關稅ヲ引下ゲテ居ルノデアリマスケレドモ、調査ノ結果ハ、是ハ大ナル部分ガ皆食用デアリマシ

テ、餡ノ原料デアリマシテ食用ニナルノデアリマス、其一部分極メテ僅ナ一割ガ、一割五分ノ部分ダケガ西洋洗濯ノ糊、若クハ諸工場ノ織布ノ糊ニナシテ居ルノデアリマシテ、全然政府ノ説明ハ實際ヲ裏切リテ居ルト云フコトヲ發見致シマシタ（拍手）即チ工業方面ニ對スル、所謂吾々ノ當然爲スベキ義務、或ハ又憐ムヘキ瘠セタ土地ヲ持テ居ル所ノ小農ヲ保護スルコト云フ——甘藷栽培ヲ保護スルコト云フ考デ、如何ニシテモ、之ヲ寧ろ二圓ニスルト云フコトハ當然ナリト考ヘテ、之ヲ改正致シマシタ（拍手）同時ニ此「コンスターチ」ヲ食用ナリト考ヘタノデアリマス、故ニ一圓六十五錢ノ稅盛リヲ四圓五十五錢ニ引上ゲタノデアリマスケレドモ、是モ調査ノ結果ハ非常ナ間違デ、其八割五分ハ所謂織布用ノ糊デアリマス、殊ニ「コンスターチ」ハ紡織ノ方面ニ於テナケレバナラヌ重要ナル糊デアアル、此糊ガナカタナラバ外國輸出ニ對シテ非常ナ缺陷ヲ生ズル程ニ、重大ナル役目ヲ占メテ居ルモノデアリマス、其役目ヲ占メテ居ルモノヲ食料品ナリト誤テ、此大ナル高額ノ關稅引上ゲラヌト云フコトハ根本ニ誤謬ガアル、是亦委員會ニ於ケル空氣ヲ見ルト、何人モ異論ノ無イ點デアッタノデアリマス、故ニ此點ニ對シテハ、等シク他ノ稅ト同ジク、之ヲ稅盛リ改正ヲシテ二圓ニ致シマシタ、而モ之ヲ二圓ニ致シマシタノハ、即チ工業ヲ保護スル所以デアリマス、而モ、一言申上ゲテ置カネバナラヌコトハ、甘藷澱粉ニ對スル所謂「二圓」稅率ハ、北海道ノ所謂馬鈴薯澱粉ト其性質ヲ同ジウスルモノデ、關稅稅盛リデハ「其ノ他」ニナシテ居ル所ノ、所謂「ポテト」ト同ジデアリマスカラ、其稅盛リガ二圓ニナシテ居ルカラ、此

「タビオカ」「マニオカ」「セーゴ」ヲ二圓ニシタト斯様御了解ヲ願フテ置キマス、ソレカラ其他牛肉、豚肉、鯨肉、此問題ニ對シテモ、稅盛リヲ現行法通リト云フコトニ致シマシタノデアリマス、其現行法通リニ致シマシタノハ牛肉ニ對シテモ申上ゲテ置カネケレバナラヌ點ガアリマス、ソレハ所謂畜牛ノ關係デアリマス、先刻申上ゲルコトヲ忘レマシタカラ、茲ニ併セテ申上ゲテ置キマスガ、早速農林大臣ノ言ハレマシタ如クニ、又私ガ之ヲ肯定シタ如クニ、此農家ノ農産物——生産スル農産物ノ此價格ヲ維持スルノハ、關稅ノ力ノミニ依テハ維持スルコトガ出来ナイ、即チ農商務省ガ年々主張シテ居ル所ノ所謂農作ノ改良、或ハ畜牛ノ獎勵其他、副業ノ獎勵等ト相俟テ、此農産物ノ收穫ヲ多クシ、或ハ生産費ヲ少クスル、斯様ニ致サナケレバナラヌデアリマスガ（拍手）其大ナル部分ヲ占メテ居ルノガ、此畜牛ノ關係デアリマシテ（ヒヤヒヤ）人間ノ力ヲ以テ勞賃ノ全部トスルヨリモ、畜牛ノ力ヲ以テ勞賃ヲ減少スルニ代ヘルト云フコトガ、其勞賃ヲ減少スル所以ノ大ナルモノデアリマスルカラ（拍手）何トシテモ畜牛ノ獎勵ヲシナケレバナラヌ、畜牛ノ獎勵ハ、總テ金肥以上ニ堆肥ヲ増シテ、堆肥ハ地力ヲ増加スル、其結果肥料ノ點ニ於テモ、非常ニ減少ヲ生ズル、所謂農産物ノ生産費ヲ少クスルノデアリマスカラ、其點カラ考ヘテモドウシテモ、畜牛ヲ獎勵シナケレバナラヌ、畜牛ヲ獎勵スルト云フコトニナレバ、畜牛ガ役牛トナシテ働イテ、次ニ七歳八歳ニナレバ所謂肉牛ト變ル、肉牛ト變ル場合ニ於テノ其代價、即チ廢牛トナル場合ノ代價ヲ維持シテヤラネバナラヌノガ當然デアアル（拍手）然ルニモ拘ラズ今日迄ノ情勢ヲ見マス、益、外國ノ牛

肉ハ其數量ヲ多ク輸入シテ參ル状態デアリマスカラ、政府案ノ如ク其輸入關稅ヲ低フシテ、益、廢牛ノ代價ヲ安クセシムルト云フガ如キハ、農村振興ノ途ニ背クノミナラズ（拍手）所謂農産物生産費ヲ少クスルト云フ所ノ、原則ニ反スル遺方デアルト考ヘルノデアリマス（拍手）故ニ此點ニ對シテ大ニ慮テ少クトモ、之ヲ現行稅率ニ維持スルノガ當然ト考ヘタ所以デアリマス（拍手）豚肉ニ對シマシテモ是ハ無論諸君ノ御承知ノ通り、吾々ハ豚ヲ飼フト云フ場合ニ新ニ飼料ヲ買フヤウナコトハナイ、所謂農家ニ於テハ其食物ノ餘クテ所ノ殘滓、或ハ又其他ノ棄テ、居ル所ノ塵芥ノ中ニ在ル食物、是等ヲ以テ飼料トシテ養フ所ノモノデアリマシテ、農家ノ廢物利用ノ爲ニハナクテハナラヌモノデアルト同時ニ、此廢物利用ガ即チ農村ノ農産物ノ代價ヲ、安クスル所ノ一ツデアルト考ヘタトキニ、是亦ドウシテモ獎勵ヲシナケレバナラヌモノデアリマス（ヒヤヒヤ）此獎勵ヲスルガ爲ニ豚肉ノ輸入ヲ成ベク防過シテ、内地ノ生産ヲ多クスルト云フコトハ、是亦國策トシテ當然執ラナケレバナラヌ途デアアル（拍手）之ガ爲ニ吾等ハ是亦稅盛リヲ改正シテ、從價三割ヲ四圓ニ値下シヤウト云フノヲ、吾々ハ現行法律ノ通り從價三割ニスルト云フコトガ、最低度ノ保護デアルト考ヘテ斯様ニ改正シタ所以デアリマス（拍手）次ハ鯨肉デアリマス、此鯨肉ニ對シテハ少シク農産物ト懸離レテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、此鯨肉中ノ赤肉ハ、捕鯨會社ノ人ガ日本ノ食用品トシテ此滋養物ヲ勸メルガ爲ニ、多年非常ナ努力ヲ以テ鯨肉ヲ食用ニシタノデアリマス、鯨肉ヲ食用ニ供シタノ努力ヲ考ヘテ見ルト、如何ニシテモ此捕鯨會社ヲ保護スル必要ガアル爲ニ、之ニ對スル關稅ニ從價

三割ヨリ一割五分ニ値下シテ、外國ニ於テハ之ヲ肥料トシテ居ル赤肉ヲ、一定ノ方法ヲ用ヒテ内地ニ輸入シテ來ルガ如キハ、折角日本内地ニ於テ發達シタ所ノ捕鯨會社ヲ、根本ヨリ覆スコトニナリハセヌカト云フ心配ガアルト云フノデ、是亦當然ナルコト、考ヘテ、此從價三割ヲ少クトモ維持スル必要アリト認メテ之ヲ三割ニシタノデア、**「コンデンスミルク」**ニ對シテモ其通りデ、政府ハ之ニ對シテ保護ヲスルノ必要アリト認メテ、稅額ヲ相當ニ引上ゲラレタデアリマス、此稅額ヲ相當ニ引上ゲラレタル所ノ**「コンデンスミルク」**ヲ見マス、每百斤ニ對シテ五圓五十五錢ノモノヲ、三十三圓四十錢ニ引上ゲラレタ所ノ、其増率ノ御精神ハ、聽テ吾々ガ今少シク上ゲヤウト云フ觀念ト、全ク所感ヲ同一ニ致シテ居ル、是亦畜牛方面ニ於テ申上ゲマシタ如クニ、所謂役牛又ハ食牛又ハ乳牛、是等ノモノハ、當然農産物ノ生産費ヲ少クスル上ニ於テ爲サナケレバナラヌ所ノ獎勵デア、其獎勵トシテ近年酪農事業ノ發達ハ著シキモノガアツテ、ソレニ依テ生産スル所ノ**「コンデンスミルク」**或ハ之ニ依テ造ル所ノ粉、粉製品是等ノ如キモノハ、内地ノ生産品ハ外來ノ舶來品ニ比ベテ、其價値ガ優ルトモ劣テ居リマセヌ**「ヒヤ」**「**拍手**」然ルニモ拘ラズ、我國維新以來ノ舶來品尊重ノ誤レル觀念ガ之ニ及ボシテ、今尙ホ效果ノ少シモ變ラヌ、否效果ハ寧ろ劣テ居ル所ノ**「コンデンスミルク」**ノ舶來品ヲ尊重シテ、内國品ヲ貶ス習慣ノアルコトハ、實ニ諸君ト共ニ痛嘆シナケレバナラヌ點デアルト考ヘル**「拍手**」而モ此輸入ヲ與ヘテ見マスト、是亦莫大ナル價額ニ上テ居ルノデ何トシテモ此輸入價額ハ、我が生産ノ價額ヲ凌駕スルヤウナ耻ゾベキ状態ヲ挽回シナケ

レバナラヌト考ヘルノデ、政府ト全ク此點ニ於テ成ジテ同ジクスル所カラ、吾々ハ今少シク稅盛リヲ改正スルト云フ意味デ、從價三割、而シテ乾キタルモノニ對シテハ、從價三割五分ニ改正シテ速ニ國民ニ國產ヲ獎勵シ、又舶來品ガ我國ノ**「コンデンスミルク」**新製品等ニ劣テ居ルコトヲ認識シテ、速ニ外國品ヲ排除シテ我が内國品ノミニ依テ、滋養ヲ充スコトニ致シタイト考ヘテ居リマス**「ヒヤ」**「**拍手**」**「終り」**ト呼フ者アリ)マダ終リマセヌ**「好イ加減ニ引上ゲタラドウデス」**「謹聽々々」ト呼フ者アリ)洵ニ諸君ニ對シテ相濟ミマセヌケレドモ、私ハ病メル體ヲ此議會ニ出テ居リマスノハ、當初以來關稅問題ノミニ終始シテ居ル、此問題ヲ唱ヘンガ爲ニ病ヲ押シテ登院致シテ居ル私ニ此問題說明ノ爲ニ十分ヤ二十分餘計御與ヘ下サルコトハ、必ズヤ諸君ノ**「拍手起リ」**「體モ大事ダヨ」來年ノ議會モアル**「ト呼ヒ發言スル者多シ」**モウ直グデス、次ハ六百ニ二莖莖ヲトソレカラ同ジク切干、同ジク粉、此從價三割五分ニ上ゲタ點デアリマス、是ハ政府案ノ中ノ一番終リニ在リマス所ノ、六百四十七ノ別號ニ掲ゲザル物品ノ中ニ這入シテ居ルノデアリマスケレドモ、是ハ所謂山間僻地ニ居ラル、方ミノ山間ノ小農ノ方ミノ其農産品ヲ保護スル爲ニ、六百七號ノ稅番ヲ設ケテ、之ヲ三割五分ニ修正ヲ致シタクウナ次第デゴザイマス、以上農産品ニ對スル說明ノ概略ヲ申上ゲタデアリマス、定メテ御聽苦シカッタと思ヒマスケレドモ、吾々ノ說明ノ足ラザル所ハ、尙ホ諸君ノ方カラ補足セラル、コトヲ切望致シマス、サウシテ私ハ特ニ此問題ガ國民ノ利害ニ即スル所大ナルコトヲ思ウテ、願クハ政黨關係ヲ離レテ、寧ろ自由問題トシテ、此問題ノ當否ヲ

決定セラレレンコトヲ切ニ各位ニ御願シテ、此壇ヲ引下ラウト考ヘマス**「拍手」**
 ○副議長(小泉又次郎君) 田中隆三君
 (田中隆三君登壇)
 ○田中隆三君 大分時刻モ移リマシタカラシテ、端折ルニ宜イダケ端折ラテ、極ク手短カニ私ハ委員長ノ御報告ニ賛成致シマシテ、他ノ修正案ニ反對スル意味ヲ申上ゲマス、吾々ノ修正案トシテ現レマシタ三種ノモノニ付キマシテハ、政友會ノ諸君モ御同意トアツテ、委員會ニ於テモ起立賛成ノ意ヲ表セラレテ居ルノデアリマス、即チ修正ノ三項目ニ付テハ、別ニ說明ヲ附加ヘル必要ハナイト思ヒマス、其他ノ政友會ノ諸君ノ主張セラル、モノハ、總體デ七十種ゴザイマス、其七十種ノ中ノ三種ハ、只今申上ゲマス如ク御同意デアリマスカラ、後ノ六十七種ト云フモノヲ此際修正ヲスルカ、或ハ其修正ヲ吾々ノ主張スルガ如ク、近ク開設セラルベキ**「一」**設ケラルベキ常設委員會、關稅ノ委員會ノ議ニ付シテ慎重審議ヲスルコトヲ必要トスルヤ否ヤト云フ點ダケガ、議論ノ岐ル、所デアル**「拍手」**ソコデ只今長田君カラモ御熱心ニ主張ゴザイマシタガ、此度ノ修正ヲ此三種ニ限ラテ、長田君等ノ主張セラル、所ノ殘ル六十七種ヲ、此際修正シナイト云フナラバ、寧ろ此三種ヲ止メタガ宜シイト云フ御議論ガ一ツ、所ガ此御議論ハ一應聞エルヤウデアリマスガ、靜ニ考ヘテ見ルト、洵ニ國民ノ爲メ、又我が産業ノ爲ニ不深切ナル議論デア、數字ニ現レテ居ル、此關稅定率法ニ於テ稅率トナシテ現レテ居ルモノハ千六百六十九種アルノデアリマス、千六百六十九種ノ中、諸君ノ主張スル六十七種ヲ除イタ後ノ千六百二種ト云フモノハ、適當ナル改正案トシテ諸君ガ認メラレテ居ルノデア、僅ニ六十七種

ニ不服ナルガ故ニ、國民ノ爲メ最モ必要ナル所ノ千六百二種ヲ此際棄テ、修正ヲシナイト云フ理窟ハ、ドウシテモ分ラナイ**「拍手」**根本問題ヲ措イテ何ヲ言シテ居ルノダト呼ヒ其他發言スル者多シ)
 ○副議長(小泉又次郎君) 靜肅ニ願ヒマス
 ○田中隆三君(續) 寢呆ケテ居ル人ニハ寢言ト聽エルカ知レマセヌ、併ナガラ眞面目ニ御聽キナサイ
 (代辯ハ止メヨ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ)
 ○副議長(小泉又次郎君) 古川サン、御靜肅ニ願ヒマス
 (議長不公平)ト呼フ者アリ)
 ○田中隆三君(續) 只今ハ形式ノ上カラ私ガ申上ゲマシタガ、更ニ進ンテ其七十種ノ一政友會ノ諸君ガ修正ヲ要スルト主張セラル、其七十種ニ付キマシテモ、實際ノ事ヲ申上ゲレバ、マダ調査ガ十分ト云フコトハ私申上ゲ兼ネルト思フノデアリマス、例ヘバ昨日ノ委員會ニ於カレマシテモ、長田君ハ我黨ノ沼田君ヲ指サレテ「キッド」、「ボックス」、其他皮革ニ關スル知識ニ於テ實ニ驚クベキ該博ナル方デアツテ、其所說ハ寸毫モ疑ヲ容ルベキ餘地ガナイ、又同ジク魚介類ニ關シテノ佐々木君ノ說ハ、洵ニ傾聽スベキ値打ガアツテ、而モ之ニ對スル政府委員ノ答辯ハ、何レモシドロモドロデ、其曲直正邪ノ別既ニ明カナリト云フ御說明ガアルカト思ヘバ、政友會諸君ノ御提出ニナツタ所ノ修正案ニ魚介類ノコトモ現レテ居ラズ、皮革ノコトモ何等痕跡ヲ見ナイノデア、口ヲ極メテ調査明瞭ナリト主張セラル、(御前ノ方ハドウダ)ト呼フ者アリ)御聽キ下サイ**「一」**即チ吾々ハ是等ノモノニ付テハ、今少シク慎重ニ、モウ少シ深切丁寧ニ調査ヲシテ、而シテ後ニ適當ナル稅額

ヲ決メルガ宜シイ、何レモ關稅ノコトハ數
字ニ關スルコトデアリマス、而モ其各品目
ニ付テハ、ソレト利害關係ヲ異ニスルモ
ノガアルノデアリマス、單ニ陳情書ガ澤山
來タトカ、誰ニ會シテ斯ウ云フコトヲ聞イ
タト云フコトデ以テ、即斷ノ出來ルモノデ
ハナイノデアリマス(拍手)細カイ事ヲ申上
ゲル餘地ハアリマセヌガ、只今申上ゲマシ
タ如ク、既ニ御自身ガ此說ニ寸毫疑ガ無イ
ト仰シヤル其事柄ガ、己ノ提出スル修正案
ニ現レテ來ナイ位ノコトデアルカラシテ、
其他ノ事柄ニ付テ此上ニ慎重調査ヲ要スル
コトノ必要アリト云フコトハ、御認メニナ
テ居ルニ相違ナイ(拍手)其次ニ最モ力ヲ極
メ、御熱心ニ御說明ニナリマス米穀ノコト
デアリマス、米及粳ノコトデアリマス、假
ニ三種ニ限ル、或ハ種ノ數ニ限ルトシテ
モ、米及粳ト云フモノニ付テハ此際ドウシ
テモ修正ヲシナケレバナラヌト云フコト
ハ、他ノ反對者諸君ノ御主張ト承知致シマ
シタ、其御主張ノ點ニ付テハ私共モ大ニ御
同感ニ存スル點モアルノデアリマスルケレ
ドモ、吾々ハ此米及粳ニ付テハ、先刻來既
ニ御話申上ゲタ方モアリマスガ、所謂此米
穀法ノ運用ニ依テ十分其目的ヲ達スルコ
トガ出來ヤウ、殊ニ米穀法ニ付キマシテ
ハ、最初制定致シマシタ時ハ、數量ノ調節
ノミニ限テ居リマシタケレドモ、昨年諸
君ハ數量ト價格トノ調節ト云フコトヲ以
テ、十分其目的ヲ達スルコトガ出來ルト云
フコトハ、諸君ノ戴イテ居ル先輩ガ、此壇
上ニ於テ保證シタデアリマセヌカ(拍手)
實ヲ申セバ私共甚ダ懸念ニ思ヒ、最初
ハ——ソレ故ニ吾々ガ責任者ノ位置ニア
テ、此法律ヲ制定シタ時ニハ、數量ト云フ
コトニノミ限テ居リ、併ナガラ諸君自ラ
信ズル所アテ、價格ノ調節ヲモ此米穀法

ノ運用ニ依テ出來ルト云フノデ、法律ヲ
御修正ニナシテ居ル(拍手)若シモ其運用ノ
結果ガ諸君ノ思召サレル如キニ至ラナク
ナラバ、法律ガ惡イノデナクテ、運用スル
人ガ惡カッタニ相違ナイ(拍手)殊ニ米穀
法——農民諸君ノ御希望ニナル點ハ、米穀
ニ對スル關稅ヲ増スコトニ依テ、米ノ價
格ヲ引上ゲルコトガ出來ルト云フ信念ニ付
テ、少シ御考へ過ギガアルヤウニ私共考へ
ル(此時發言スル者多シ)
○副議長(小泉又次郎君) 古川君御注意致
シマス
○田中隆三君(續) ソレハサウ云フ御
ガ、或ル部分ニ起ルト云フコトハ、無理ノ
ナイコトデアリマス、抑、關稅ト云フコトハ、
外米ト云フコトハ、國民ノ頭ノ上ニ洵ニ面
白クナイ感ゾヲ起スヤウナ因果ヲ持テ居
ルノデアリマス(此時發言スル者多シ)
○副議長(小泉又次郎君) 靜浦ニ願ヒマス
○田中隆三君(續) 茲ニ調ベ書ヲ持テ居
リマスガ、此關稅ト云フモノヲ是迄度ニ修
正シタコトハゴザイマスルガ、總テ明治四
十四年以來、今日迄九度、外米ノ關稅ヲ引
下ゲ、或ハ廢止シ、撤廢シテ居ルノデアリ
マス、ソレハ明治四十四年以來九度アリマ
ス、所ガ其九度ノ中デ、七度迄ハ關稅ヲ全
部免ジテ居ル、アトノ二度ハ四十錢ト六十
三錢デアリマス、サウ云フ風ニ、一切ノ稅
率ヲ下ゲテ居ル、ソコデ我國ノ食糧關係ニ
於テ、米ノ値段ガ段々ニ上テ來タ、上シタ
ガ爲ニ喜ブ人ガアルニ相違ナイ、其喜ビツ
ツアル時ニ、關稅撤廢或ハ關稅ノ減少、斯
ウ云フコトニナリマスルカラ、外米ト云フ
コト、關稅ト云フコトハ、非常ナ因果ヲ持
テ、此米ノ値段ノ騰貴スルト云フコトヲ希
望スル人ニハ、面白クナキ響キヲ與ヘルノ
デアリマス(拍手)併ナガラ靜ニ考ヘテ見

スルト云フト、我國ノ食糧ハ先程來長田君
ノ御說モアリマシタガ、全ク我國ニ於ケル
食糧ガ——米穀ガ不足ヲスル、不足スルノ
ヲ補充スル爲ニ這入テ來ル、決シテ外米
ガ這入テ來テ、日本デ出來ル米ノ出來高
ガ少ナクナルノデアリマセヌ、六百萬石
足リナケレバ六百萬石這入ル、千方石足リ
ナイ時ニハ千方石這入テ來ル、サウ云フ關
係デ足リナイモノダケガ這入テ來ル、這
入テ來ルモノハ而モドウナルカト申シマ
スレバ、所謂外國米トシテドウモ日本ノ人
ハ日本ノ米ヲ高クテモ力ノ及ブ限リハ喰フ、
此日本米溫帶米ニ執著スルト云フコトハ、
日本民族ノ特性ナノデス、其特性アルガ故
ニ、出來ル限リハ内地米ヲ喰フノデアリマ
ス、併シカノ及バヌ者ハ已ムヲ得ズシテ外
米ヲ喰フ者モゴザイマセウガ、免モ角日本
デ日本米ノ來ル限リハ、其來ト云フモノハ
皆日本人ガ喰フノデアリマス、食糧ノ足リ
ナイモノハ何處カラカ持テ來テ補充スル
ノ外ハナイ

〔小泉副議長議長席ヲ退キ粕谷議長復
席〕
其補充ノ爲ニ這入テ來ルノデアル、先程
來段々ノ御說ヲ伺テ居リマス、是ハ議
論ノ進ル所致方ガナイコトデゴザイマス
ケレドモ、朝鮮カラ來ル米ガ困ルトカ、
臺灣カラ來ル米ガ困ルトカ云フガ、來
テ吳レルコトヲ大ニ歡迎シナケレバナラヌ
ト思フ、無ケラネバ吾々ハ餓死シナケレバ
ナラヌ(拍手)私ハ決シテ諸君ノ御說明ニ付
イテ根本的ニ反對スルト云フ意味デアアリ
マセヌケレドモ、所謂關稅ト云フモノヲ掛
ケレバ、日本ノ米ガ直グ値段デモ上ルヤウ
ニ御宣傳ナサテ、若シモ假ニ此度米ノ稅
ヲ掛ケテ見マシタ所ガ、ナニマダ一寸モ米
ノ——内地米ノ値段ハサウ上ラナイデハナ

イカト云テ、諸君ガ御信用ヲ失フヤウナ
事ガアテハナラヌト思フ心配カラ、此事
ヲ申上ゲルノデアリマス(拍手)殊ニ此關稅
ノ事ニ付キマシテハ、數字ニ屬スルガ故
ニ、特ニ慎重調査ヲ要スルト云フコトヲ先
程來ヨリ申シマシタ、甚ダ先輩ニ對シテ失
禮、敬意ヲ失スルヤウニ當リマスケレド
モ、數字ノ事ヲウツカリ述ベマス、直グ
後カラ間違ノ責任ヲ背負ハナケレバナラ
ヌ、先程堀切君ガ十四年度ノ實績ガ十三年
ノ輸入ヨリ非常ニ増額シテ居ル、三千方圓
乃至四千方圓モ——此度堀切君等ガ御提出
ニナシテ修正案ニ依テ、國家ノ收入ヲ増ス
大ニ手柄トシテ御話アリ、而モ何ノ爲ニ豫
算ノ問題デナイノニ數字ガ澤山出テ來ルコ
トカト思フテ居リマス、之ニ依テ吾々ノ
主張スル地租委讓ノ問題ノ解決ガ出來ル
ト云フヤウナコトデ、死シタ兵ノ齡ヲ算ヘ
ラレルヤウナコトガゴザイマシタ(拍手)御
氣ノ毒ナガラ十四年度ノ計算ハ明カニ間
違テ居ルノデアリマス(拍手)ソレハ十四
年度ノ輸入額ニ於テ二十五億七千方圓ノ數
字ガアリマスケレドモ、其中ニハ三億一千
八百萬圓ト云フ其殖エテ居ルモノハ、棉花
ノ爲ニ殖エテ居ルノデアテ、棉花其物ハ無
稅デアリマス(拍手)輸入總額ハ殖エテ居リ
マスケレドモ、稅額ハ些トモ殖エテ居リマ
セヌ、此數字ノミヲ見テ直グ數モソレニ
從テ殖エルト云フコトヲ速斷スルト、只
今申上ゲルヤウナ間違ガ起ル(拍手)殊ニ
最モ吾々トシテ注意シナケレバナラヌ所
ハ、此米穀ニ付テ如何ニシテ吾國ノ此食糧
ノ自給自足ヲ圖ルカト云フコトニ付テハ、
大體ノ主義トシテ、長田君ノ熱心ナル御議
論ニハ私共共鳴スル者デアリマス、併ナガ
ラ其目的ヲ達スル爲ニハ、只今申上ゲマス
ル如キ米穀法モゴザイマセウ、耕地整理法

モゴザイマセウ、或ハ開墾助成法モゴザイマセウ、或ハ用水排水等ノ施設モゴザイマセウ、何レ當局トシテハ是等ノコトニ付キ、殆ド仕事ノ大部分ヲ舉ゲテ其政策ヲ達成スルニ努メツ、アラレル譯デアアル、是ハ關稅ヲ上ダレバソレデ以テ此自給自足ノ目的ヲ達スルモノデアアルトハ、長田君モ主張セラレルノデハナカラウト思フ、其目的ヲ達スル爲ノ有效方法、而モ其方法ノ中、既ニ吾々ハ認メテ以テ法律ニシテアリマスルモノハ多々アルノデアリマスカラ、吾々ハ力ヲ専ラ之ニ注イデ、其運用ニ依ッテ目的ヲ達シヤウト云フコトヲ主張スル所以デアアル(拍手)繰返シテ申上ダルマデモナク、此關稅ノ調査委員ト云フモノガ出來ルノデアリマスカラ、其委員諸君ノ今後ノ御審議ニ依ッテ、又或ハ米、粳ノ關稅ヲ引上ダルコトヲ必要トスルニ至ルカモ知レマセヌ(拍手)決シテ之ヲ絕對ニ否認スル意味ハ少シモ私共持ッテ居リマセヌ、免モ角モ總理大臣ガ御聲明モアリマスル如ク、此委員ノコトニ付テハ大ニ重キヲ置イテ、而モ其半數以上ハ民間ノ經驗アル方ニ御願ヲシテ、サウシテ慎重審議シテ戴イテ而モ其決スル所ニハ最モ重キヲ置クト云フ御聲明モアリマスル以上ハ、此方法ニ依ッテ、サウシテ此目的ヲ達スルト云フコトハ、最モ順當ナル筋道デアアルト私共ハ思フ、私ハ長イコトヲ申上ダル考ハゴザイマセヌ、大體ハ只今ノ御議論ニ依ッテ盡キテ居リマス、盡キテ居リマスガ、此際最後ニ一言附加ヘテ置キマスルコトハ、鐵ニ關スルコトデアリマス、殊ニ堀切君モ熱心ニ此問題ニ付キ御說明ニナリマシテ、大體ノ御趣旨ニ於テハ私共モ同感デアリマス、併ナガラ此鐵ノコトニ致シマシテハ、既ニソレノ御推察モゴザイマスル如ク、免モ角(推察トハ何ダ)ト呼フ

者アリ)態ト推察ト申シマシタ、秘密會ヲ開イテ皆サング御相談ニナツタコトデアアル、私ハソレヲ推察ト云フ言葉ヲ以テ言ヒ現ハシタノデアリマス、免モ角モ根本義ニ於テハ政府ニ於テモ、吾々ニ於テモ、必ズ此鐵ノ獨立、我國ノ爲ニ鐵業ノ獨立ヲ圖ラナケレバナラス、又今日ノ程度ニ於テ凡ソノ位ノ程度ノ補助ヲスレバ、獨立ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルカト云フ、大體ノ趣旨ニ於テハ意見ハ一致シテ居ルノデアリマス、唯、此際此暫定のニ一暫ク稅ハ此儘トシテ置イテ、別ニ補助ノ方法ニ依ッテ其道ヲ盡シタイ、斯ウ云フコトデアリマス、而シテ其補助ノ金額ハ所謂鐵鐵一噸七圓ト云フ價格ニ當ラヌト云フコトノ御非難モアリマシタガ、此補助法ハ更ニ此議會ニ提出セラレマシテ、諸君ノ御審議ニ待ツノデアリマスルカラ、若モ其補助方法ノ率ガ少イトカ、或ハ補助ノ方法ニ手落ガアルト云フコトデアリマス、十分ニ吾々ノ議員トシテノ力ヲ其議案ノ上ニ伸スベキ機會ガアリマスルカラ、此現ハレザル法案ニ付テ、彼此レノ議論ヲ關ハスコトハ無用ノコトト存ジマス、私ノ意見ハ之ヲ以テ終リト致シマス(拍手)

(堀切善兵衛君登壇)

○堀切善兵衛君 先程修正ノ意味ヲ述ベマシタニ付テ……

(發言スル者多シ)

○議長(納谷義三君) 肅肅ニ願ヒマス——堀切君ノ發言ハ趣旨辯明ノ補足デアリマス、是ハ先例モアルノデアリマスカラ、議長ハ之ヲ許シマシタ

○堀切善兵衛君(續) 只今私ノ敬愛スル田中君ヨリ、私ノ申上ダタ數字ニ付テ、間違ヒガアルト云フ御話デアリマス、私ハ大藏省ヨリ直接ニ取りマシタ此數字ニ付テ申上

ダタノデアリマス、之ニ依リマスルト云フト、大正十三年度輸入總額ハ二十四億五千萬圓、大正十四年度輸入總額ハ二十五億七千萬圓、而シテ有稅品ハ十三年度ハ八億二千七百萬圓、十四年度ハ八億六千二百萬圓ニ増加致シテ居ルノデアリマス、獨リ輸入總額ニ於テノミデハナインデアアル、有稅品ニ於テ——有稅品ニ於テモ無稅品ニ於テモ明ニ十四年度ハ増加致シテ居ル、田中君ハ自分ガ御間違ヒニナツテ居ッテ、人ノ事ヲ間違ヒガアルト云フコトハ飛ンデモナイ無禮ナ話デアアル、モウ一度額デモ御洗ヒニナツテカラ御論ジニナル方ガ宜シイト云フコトヲ申シテ置キマス

(星島二郎君登壇)

○星島二郎君 諸君今回ノ關稅ノ改正案ハ、根本ニ於キマシテ各派ノ思想ハ、即チ大體ニ於キマシテハ一致致シテ居ルノデアリマス、往年ノ英國ノ議會ニ於テアリシ如ク、若シ是ガ自由貿易、保護貿易ト、斯ウ云フ風ナ議論ガ岐レテ居ルナラバ免ニ角、總テ保護スベシト云フ大前提ノ下ニ各派ノ審議ガ行ハレタノデアリマス、唯、其程度如何ニ依リマシテ、意見ガ岐レタノデアリマシタ、唯、一ツ農産物ニ關シマシテハ、多少意見ガ岐レタノデアリマス、私ハ四十餘日ノ間、是ガ委員會ニ於キマシテ審議セラレ、十日ノ間小委員會ガ之ヲ鍊ツタ、而モ本黨ノ方違ハ尙ホ成案ヲ得ルコトガ出來ナイ、十分ニ審議ヲ盡スコトガ出來ナイ、斯ウ云フ理由ノ下ニ之ヲ閉會後ノ常設委員會ニ讓ラル、ト云フ事柄ハ、取りモ直サズ議院自カラ議院ノ權能ヲ輕ジタモノデアアルト謂フテ宜シイノデアリマス(拍手)若シ眞ニ議院ノ權能ヲ重ズルナラバ、宜シク議院法第二十五條ノ繼續委員ニ之ヲ掛ケテ審議スベシト主張サレルノガ當然ト思フノデア

リマス(拍手)尙ホ私ハ此多クノ改正ヲ要スベキカラ、本黨ノ修正案ハタツタ三點デアル、而モ此一ツハ小麥粉デアリマスカラ、是ハ小麥ニ對スル改正案デアリマスカラ、本黨ノ改正ヲ要スル點ハ二點ト謂フテ宜シイノデゴザイマス、本黨ノ人達ガ四十日ノ間、而シテ二十數回ノ各種ノ委員會ヲ開カレマシテ審議サレ、タツタ二點シカ本黨ノ意味ニ於テ修正出來ナイ、後ノ多クノモノハ常設委員會ニ讓ラレルト云フ意味ナラバ、諸君此議案ガ今日ヨリ貴族院ニ回付サレマシテ、最早會期ハ後十五日デアリマス、諸君ガ四十日間研究シテ尙ホ是ガイカナイナラバ、如何ニ貴族院ノ人ガ賢明デアリマシテモ、十五日間デ審議出來マスガ、アナタ方ハ如何ニ貴族院ノ方ノ頭ヲ尊敬サレマシテモ、私ハサウ云フ意味ニ於キマシテ、若シ眞ニ斯ル事ヲ申サル、ナラバ、此論理ニ至ラザルヲ得ナイノデアリマス、私ハ尙ホ本黨ノ修正ノ御意見ノ中ニ、非常ニ論理ノ間違ヒテ居ル點ヲ指摘シマスナラバ、若シ二點ガテ修正サレマシテ、後ハ常設委員會ニ讓ラレルト云フ御意思ナラバ、少クトモ現行法ノ儘ニシテ二點ガテ觸レルト云フノガ論理デアリマセヌカ、諸君若シ二點ガテ觸レテアトノ希望條件ハ尙ホ審査ヲ要スルト云フ御趣旨ナラバ、其希望條件ヲ附セラレタル品目ニ付テハ、少クトモ現行法デ宜イト云フ論理ニナラナケレバナラヌノデアリマス(拍手)實ニ斯ル事ハ若シ諸君ガ委員會ノ速記録ヲ御覽ニナリマスレバ、十日間ニ於ケル所ノ此實ニ暗々ナル空氣ノ爲ニ、單ニ本黨ハ常設委員會ニ名ヲ借りテ、實際ハ解散ヲ恐レテ居ル(拍手)私ハ日本ノ議會ガ最早空論ヲ離レテ、此ヤウナ實際ノ關稅問題デ以テ解散ガアッテ欲シイト思フノデアリマス(拍手)ソレハ實ニ議

會ノ一進歩ト申サナケレバナラヌト思フノ
デアリマス、私ハ本黨ノ修正案ニ對シマシ
テノ批評ハ此程度ニ致シマシテ、我が政友
會ノ修正案ニ對シマシテ、最早時間モ切迫
シテ居リマスシ、論旨ハ盡キテ居リマスカ
ラ、極メテ簡單ニ——若シ必要デアリマス
レバ一時間位ハ喋舌ヲモ宜シイノデアリ
マス、政友會ノ修正案ノ根本ノ精神ハ、私
共國際聯盟ノ根本趣旨デアリマス所ノ、産
業ノ基本原料ハ無稅トスベシ、而シテ速ニ
所謂關稅戰爭ヨリ離レテ、早ク各國ノ關稅
協定ニ依ル精神ニ行カクテハナラナイ、
吾々ノ目的ハ一時保護ヲスルケレドモ、其
保護ハ總テ一二年ナリマスレバ、之ヲ自由
貿易ニスルト云フ精神ニ外ナラナイノデア
リマス(拍手)根本ノ精神ハ即チ理想ハ自由
デナケレバナラヌト思フノデアリマス、故
ニ極メテ簡單ニ私共ノ修正ヲスル動機、其
根本ノ精神ヲ茲ニ條項のニ申上デマシテ、
私ノ總テノ演說ニ代ヘタイト思フノデアリ
マス、即チ第一ハ産業立國ノ根本見地ヨリ
各種産業ノ振興ヲ促シ、生産ノ増大ニ依リ
物價ノ調節ヲ圖ルコト、國際貸借ノ改善ヲ
期スル爲、生産家ノ工業ヲ獎勵シテ、輸入
ヲ防遏シ、進ンデ輸出ノ増進ヲ圖ルコト、
第三ハ農業生産ノ増收ヲ圖リ、以テ食糧ノ
自給自足ヲ期シ、併セテ農村ノ安住及振興
ヲ圖ルコト、此中デ一言皆様ニ簡單ニ、私
ハ時間ヲ省ク爲ニ極メテ條項のニ申スノデ
アリマスガ、唯、一事農村ノ安住ト云フ文
字ニ付キマシテノミ、聊カ説明ヲ試ミタイノ
デアリマス、今回ノ我が黨修正案ノ根本ニ
ハ、思想的背景ガアルコトヲ忘レテハナラ
ナイ、諸君、私共ハ先刻モ申シマシタ如ク、
目指ス目的即チ方向ハ自由デアアル、自由貿
易デアアル、ケレドモ其過渡期ニ於キマシテ
保護シナケレバナラナイ、若シ實例ヲ舉ゲ

テ申シマスレバ、丁度日本ノ紡績業ノヤウ
ニ、完全ノ域ニ達スレバ之ヲ無稅ニシテ解
放スル、自由ニスル、總テノ産業ガ此ヤウ
ニアリタイト云フノガ吾々ノ念願デアリマ
ス(拍手)ケレドモ單リ農産物ニ對シマシテ
ハ、是ト觀念ヲ別ニ致シテ居ルノデアリマ
ス、先程モ長田君ガ詳シク述ベラレマシタ
カラ、多ク私ハ略シマスケレドモ現在ノ日
本ノ國家、吾々ハ軍縮ヲ唱へ、所謂講
ル富國強兵策ニ因ハレズシテ、新ニ日本
立國策ヲ考ヘナケレバナラナイ、ソレニ付
キマシテ最近ノ最モ歐洲大戰後、殊ニ國際
聯盟ノ理想ト致シマシテ吾々ハ考ヘナケレ
バナラナイコトハ、御互ガ單ニ算盤本位、
唯、國ガ富メバ宜イ、國ガ強ケレバ宜イト
云フヤウナ思想ヲ離レテ、眞ニ各地方ニ分
布シタル生活ヲ致シマシテ、而シテ國ノ安
定ヲ期スルト云フコトニナラナケレバナラ
ナイト私ハ思フ(拍手)私ハ佛蘭西ノ田舎ガ
實ニ能ク農業ニ算盤ヲ離レテ熱心デアアル、
或ハ和蘭ヤ丁抹ノ農村ガ實ニ能ク耕サレ、
農民ガ安住シテ居ル所ノ状態、ソコニ人生
ノ樂ミガアル此根本ヲ以テ日本ノ現在ノ農
村ヲ見マスルト、私ハ一時段々畑、——山國
ヲ見マシテ斯ナ所ニ生活スルノハ馬鹿馬
鹿シイ、宜シク「ブラジル」ニ行クベシ、滿
洲ニ行クベシト云フ考ヲ持ッタノデアリマ
スケレドモ、是ハ日本ノ國ヲ眞ニ安定ナラ
シムルニハ間違ッテ居ル、吾々ハ八年ニ七十
万人殖エル人口、全部滿洲ニ行クコトハ出来
ナイ、御互ガ二十年三十年掛テモ、僅カ
ノ人間シカ一年分ノ人口ノ殖エル増率サヘ
海外ニ植民スルコトハ出来ナイノデアリマ
ス、ソコデドウシテモ算盤玉ヲ行ケバ合ハ
ナイケレドモ、此段々畑ヲ十分耕シテ——島
國二十分ノ農村ヲ改良シテ、耕シテサウシ

テ地方ニ分布シタル生活ヲシナケレバ、
日本ノ國ハ安定デナイト云フ所ニ氣ガ
著イタノデアリマス(拍手)サウ云フ精神ガ
近時各國ノ有識者ニ分テ參リマシテ、私ハ
今後日本ノ立國策ノ中ニ、是ハ諸君ガ今日
眞ニ理解シテ居ナイケレドモ、所謂農村振
興ト云フ言葉以外ニ、是ハ眞ニ日本ノ將來
ノ大國策デアアルト思フノデアリマス(拍手)
即チ其思想ハ明治維新以來ノ餘リニ偏シタ
ル中央集權ヲ叩キ壞ハシ、而シテ地方分布
ノ安住生活、是ガ取モ直サズ眞ノ農業立國、
眞ノ農村立國ト自分ハ信ズルノデアリマ
ス、此原理ヨリ推シマスレバ、眞ノ農産物
ノ保護トナリ、或ハ地租ノ委讓論トナリ、
或ハ地方分權論トナル、徹底的ニ申シマス
レバ、維新後ニ於キマシテ家族ガ東京ニ集
中シタル生活ヲシテ居ル、斯ウ云フモノハ地
方分布シテ、再ビ舊習ニ還リマシテ、農事
ノ改良ヲヤル、サウ云フ所マデ實際のニ延
ビナケレバ、徹底シナイト思フノデアリマ
ス(拍手)サウ云フ思想カラ行キマスレバ、
私ハ今迄ノ所謂自由貿易主義、所謂算盤玉
本位ノ精神カラ考ヘマシテ、自分自身ニモ
茲ニ非常ナル思想的ノ變化ヲ持チ來シタノ
デアリマス、私ハ農産物ノ保護、農村ノ振
興ト云フノニ新シイ意味、新シイ思想、根
本ノ概念ヲ加ヘテ、之ニ賛成シタイト思フ
ノデアリマス(拍手)其他我が修正案ニ付キ
マシテハ、殊ニ意ヲ用キマシタノハ、工業
ノ基本原料ヲ無稅トスル、是ハ取モ直サズ
國際聯盟協會ノ主張デアリマス、而シテ半
製品ニ課稅ヲシテ、一時國內ノ勞働ヲ盛ン
ナラシメタコト、殊ニ私が特ニ注意シタイ
ト思ヒマスルノハ、社會政策ニ意ヲ用キル
ト、現内閣ハ殊ニ多クノ言葉ヲ用キテ居ラ
ル、ノデアリマス、然ルニ拘ラズ、此關稅
修正案ニ當リマシテハ聲ヲ大キク爲サッテ

居ル割合ニ、其點ガ極メテ少イノデアリマ
ス(拍手)現ニ毛織物ノ關稅ノ増率ニ付キマ
シテモ、工業ノ獨立ヲ圖ル爲ニ、私共増率
ハ認メテ居リマスケレドモ、其増率ノ仕方
ガ高級品ニ薄クシテ、却テ下級品ニ厚イト
云フヤウナコトハ、取モ直サズ、社會政策
ノ見地ニ反スルト思フノデアリマス、我が
修正案ハ此點ニ付キマシテ、殊更ニ注意ヲ
致シタノデアリマス、其他軍需工業、或ハ
奢侈品、舶來品、嗜好ノ弊習打破、其他生
産消費ノ調和ヲ考慮シテ、社會政策ノ見地
ヨリ一般生活必需品ニ對シマシテハ、殊更
注意ヲ致シタト云フコトガ、私共修正案ニ
對スル基本ノ概念デアリマス、私ハ十分ノ
説明ヲ加ヘナイデ、自分ノ討論ノ徹底セザ
ルコトヲ甚ダ遺憾ト思ヒマスケレドモ、議
會ノ空氣ニ鑑ミテ、此程度ヲ以テ討論ヲ打
切リタイト思ヒマス

○作間耕逸君 討論終結ノ動議ヲ提出致シ
マス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 作間君ノ討論終結ノ
動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(粕谷義三君) 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ討論終局ニ決シマシタ、是ヨリ採
決ニ入りマスガ、採決ノ順序ニ付テ一言致
シテ置キマス、山本衆太郎君外九名御提出
ノ修正案ノ中ニ於テ、委員長報告ヲ修正ト共
通ノ點ガリマス、其共通ノ點ハ委員長ノ報
告ト共ニ採決ヲ致スコトニ致シマス、先ヅ共
通ノ點ヲ除キタル山本君ノ修正案ニ付テ採
決ヲ致シマス、次ニ委員長ノ報告ト山本君
外九名御提出ノ修正ト共通ノ部分ヲ採決致
シマス、最後ニ委員長報告ノ修正ノ箇所ヲ
除キマシタル其他ノ部分ヲ採決致スコトニ
致シマス、先ヅ山本君外九名提出ノ修正案

中、委員長報告ト共通ノ點、即チ別表ノ中ノ十六、二十一、五十九、此三點ヲ除キマシタル他ノ部分ニ付テ採決ヲ致シマス、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

〔贊成者 起立〕
○議長(粕谷義三君) 起立者少數デアリマス

〔多數「少數」異議アリ〕ト呼フ者アリ

○議長(粕谷義三君) 只今ノ宣告ニ對シテ異議ガアリマス——異議ガアリマスニ依テ記名投票ヲ行ヒマス、山本君外九名提出ノ修正案、即チ共通點ヲ除キタルモノデアリマスガ、之ニ賛成ノ諸君ハ白票、反對ノ諸君ハ青票デアリマス——閉鎖——氏名點呼ヲ命ジマス

〔書記官氏名ヲ點呼ス〕
〔發言スル者多ク議場騒然〕

○議長(粕谷義三君) 靜肅ニ願ヒマス——投票ノ濟ミマシタ諸君ハ御着席ヲ願ヒマス投票漏ハアリマセヌカ(拍手)投票漏ナシト認メマス、投票函閉鎖——開匣——開鎖

〔書記官投票ノ數ヲ計算ス〕
○議長(粕谷義三君) 投票ノ結果ヲ書記官長ヨリ報告致サセマス

〔中村書記官長朗讀〕
投票總數 二百九十九

可トスル者 白票 百十
否トスル者 青票 百八十九

○議長(粕谷義三君) 只今ノ結果ニ依リマシテ、委員長報告ト共通ノ點ヲ除キタル山本君外九名提出ノ修正案ハ否決セラレマシタ(拍手)

〔參照〕
委員長報告ト共通ノ點ヲ除キタル山本君外九名提出ノ修正案ヲ否トスル議員ノ氏名左ノ如シ

石塚 三郎君	石黑大次郎君
飯塚春太郎君	井本 常作君
井上 利八君	一柳仲次郎君
原 脩次郎君	濱口 雄幸君
西 英太郎君	本田 恒之君
戸井 嘉作君	戸澤氏十郎君
富田幸次郎君	中馬 興九君
大津淳一郎君	大島 要三君
大里廣次郎君	小野 重行君
岡本賢太郎君	奥村 千藏君
片岡 直温君	川崎 克君
神谷 彌平君	神田 正雄君
神部 爲藏君	加藤政之助君
加藤 鯛一君	加藤 六藏君
加藤十四郎君	河野 曉君
河波荒次郎君	金澤安之助君
金田平兵衛君	横山勝太郎君
横山 一格君	吉原 義雄君
吉田 磯吉君	高木益太郎君
高木 正年君	高橋元四郎君
高田 耘平君	頼母木桂吉君
武内 作平君	武富 濟君
田中 武雄君	建部 遷吾君
谷口宇右衛門君	谷口源十郎君
俵 孫一君	中原德太郎君
中村 貞吉君	中野 寅吉君
中野猪之助君	水井柳太郎君
村松龜一郎君	紫安新九郎君
室木彌次郎君	内ヶ崎作三郎君
野村 嘉六君	黒田重兵衛君
工藤 鐵男君	八並 武治君
山宮 藤吉君	山田 又司君
山田 助作君	山田 道兒君
山口 嘉七君	山本 勝次君
山本 厚三君	山耕 儀重君
松井 郡治君	松本 忠雄君
町田 忠治君	古屋 慶隆君

深井 功君	降旗元太郎君
藤澤幾之輔君	藤井 敬慎君
福田 五郎君	小島 證作君
小寺 謙吉君	小山 松壽君
小池 仁郎君	木槍三四郎君
近藤重三郎君	紺野九右衛門君
寺島 權藏君	手代木隆吉君
淺賀長兵衛君	淺川 浩君
阿由葉勝作君	青木知四郎君
荒川 五郎君	安達 謙藏君
作間 耕逸君	佐藤球三郎君
齋藤 隆夫君	齋藤太兵衛君
齋藤仁太郎君	齋藤 金吾君
柵瀬軍之佐君	木村小左衛門君
由谷 義治君	三木 武吉君
宮崎松次郎君	箕浦 勝人君
斯波 貞吉君	清水留三郎君
信太儀右衛門君	鹽田 團平君
重松 重治君	廣瀬 德藏君
平川松太郎君	平野 光雄君
平井光三郎君	樋口 秀雄君
森田 茂君	栗山 博君
關矢 孫一君	關 俊吉君
鈴置倉次郎君	鈴木富士彌君
杉浦 武雄君	菅原 英伍君
菅村 太事君	井坂 豊光君
岩切 重雄君	禱 苗代君
原田佐之治君	原田 十衛君
本多貞次郎君	星 康平君
堀 喜幸君	床次竹二郎君
東郷 實君	陣 軍吉君
折原巳一郎君	小島 善作君
小川郷太郎君	小野 寅吉君
大藤 唯男君	奥野小四郎君
川原 茂輔君	加藤鍊五郎君
柏田 忠一君	神村 吉郎君
高島 順作君	丹下茂十郎君

田中 隆三君	田口 文次君
谷原 公君	津崎 尚武君
中林 友信君	中村啓次郎君
長峰 與一君	植場 平君
則元 由庸君	能谷五右衛門君
藏園三四郎君	八木 逸郎君
山谷德治郎君	前田房之助君
前田 兼實君	松田 源治君
丸山 浪彌君	福井 甚三君
麓 純義君	小橋 一太君
兒玉 實良君	寺田 市正君
櫻内 幸雄君	佐藤 重遠君
宜保 成晴君	三輪市太郎君
宮島幹之助君	志波安一郎君
志村清右衛門君	清水市太郎君
清水 長郷君	平田民之助君
森田 政義君	森 肇君
千葉 三郎君	鷺野米太郎君
河崎助太郎君	森田 金藏君
堀田義次郎君	太宰 孫九君
高島 兵吉君	
板野 友造君	岩崎 勳君
今里準太郎君	今井 健彦君
石井 三郎君	石坂 豊一君
石原正太郎君	井上敬之助君
井上 孝哉君	井上 虎治君
井口延次郎君	泰 豊助君
濱口吉兵衛君	濱田 精藏君
八田 宗吉君	鳩山 一郎君
西澤 定吉君	西方 利馬君
堀切善兵衛君	星島 二郎君
上井 權大君	大竹 謙治君
大口 喜六君	小川 平吉君
岡田伊太郎君	若尾 璋八君

委員長報告ト共通ノ點ヲ除キタル山本君外九名提出ノ修正案ヲ可トスル議員ノ氏名左ノ如シ

